君）ハ「此法案ニ付テデスカ」村松君「此法案以外ノコトデアリマスガ此際伺ッテ置キタイ」議長「イマセウケレドモ議場ノ便宜上サウ云フ例ヲ開キマスト將來甚ダ宜シクナイト思ヒマスカラ……成規ノ手續ヲ經テ御出シニナルガ相當ト思ヒマス」ト告ケ、三月二日政府提出朝鮮事業公債法案外二件第一讀會ノ續會中日向輝武君ハ「此際ニ於テ朝鮮事業公債ナルモノニ付テ極ク簡單ニ要點ダケヲ述ベテ總理大臣ニ質問ヲ致シタイト思ヒマス總理大臣ハ御出席ガ無イノデアリマスカラ議長ニ於テ御取次ヲ願ヒタイノデアリマス其主意ハ……」ト云ヘルニ議長ハ「チョット御斷リヲ致シテ置キマスガ質問ノ御取次ハ議長ハ甚ダ迷惑ヲ感ジマス質問ヲ總理大臣ニ向ッテナサルナラバヤハリ議院法ノ規定ニ依ッテナサルノガ相當カト思ヒマス」ト告ケタリ

（二）國務大臣若ハ政府委員ヨリ求メタル例

第二十四回議會　明治四十一年三月二十六日林外務大臣ノ爲セル第二辰丸事件ニ關スル報告演說ニ關シ議員小川平吉君トノ間ニ於ケル質疑應答終ルヤ神藤才一君ハ右ハ自己ガ豫テ提出セル質問ニ關聯セリトテ林外務大臣ニ向ッテ質疑ヲ爲ス之ニ對シ同大臣ハ「神藤君ニ御答シマスガ御尋ノトコロハ間島問題ニ付テノ特別ノ御質問デゴザイマス、私ハ今差當ツテ調ベテ居リマセヌカラ、成ルベクナラバ成規ノ通リ御質問書ヲ御出シ下サルヤウニ願ヒマス」ト述ヘタリ

第十三回議會　明治三十一年十二月二十四日明治三十二年度豫算案ノ會議ニ於テ內務省所管ニ付議員田中正造君ノ質疑ニ對シ政府委員內務次官松平正直君ハ「唯今ノ御尋ハ其餘リ要領ヲ得ナカッタヤウデスガ、豫算ノコトニ就イテハ關係ガナイヤウデアリマスカラ、御答ハ致シマスマイト思ヒマス尙ホ又御尋ネナラバ別ニ御質問ニナルコトヲ希望致シマス」ト述ヘタリ

五三二　停會中ト雖既ニ提出セラレタル質問主意書ハ之ヲ政府ニ轉送ス

質問主意書ニシテ停會前ニ提出セラレタルモノアルトキハ停會中ト雖之ヲ政府ニ轉送ス最近ノ事例ヲ擧クレハ第三十回議會（大正二年一月二十日及二十一日）ニ於テ停會前ニ提出ノ質問四件ハ孰レモ停會ノ翌日（二十二日）印刷成レルヲ以テ轉送ノ手續ヲ爲セリ

五三三　質問主意書ハ其ノ全文ヲ印刷配付シ且速記錄ニ揭載ス

議員政府ニ對シ質問ヲ爲サムトスルトキハ主意書ヲ議長ニ差出シ議長ハ直ニ之ヲ政府ニ轉送シ議院ニ對シテハ唯其ノ提出アリタルコトヲ議場ニ報告スルニ止マリシモ第二回議會明治二十四年十二月十二日植木枝盛君ヨリ總テノ質問書ハ之ヲ印刷シテ各員ヘ配付スヘシトノ請求ニ對シ同月十

五日議長（中島信行君）ハ「印刷配付ヲ爲スコトハ容易ニアラザレバ今日ノ所ハ質問主意書ヲ朗讀スルコトト爲ス故速記錄ニ就イテ見ルヘシ」ト告ケ、翌十六日植木枝盛君ハ更ニ朗讀シタルモノトシテ速記錄ニ揭クヘシト請求シタルヲ以テ議長ハ此ノ請求ヲ採用シ朗讀ヲ經サルモ速記錄ニ揭載スルコトトシ質問主意書ハ淨書シテ政府ニ轉送シ印刷配付ハ爲ササリシモ第二十二回議會ヨリ印刷ニ付シ議案類ト同シク各議員ニ配付シ又政府ヘ轉送スルコトトナレリ

參看　一八五號、六一七號

五三四　質問ノ主意書ハ之ヲ追加スルコトヲ得

質問主意書ハ政府ヘ轉送後ハ他ノ議案ノ如ク訂正スルヲ得サルヲ以テ追加トシテ之カ增訂ヲ許シタルコトアリ卽チ第十六回議會ニ於テ（明治二十五年一月二十八日）竹內正志君外二名ヨリ軍人分捕ニ關スル質問主意書ノ追加書ヲ提出シタルニ依リ議長（片岡健吉君）ハ直ニ政府ニ轉送シ二月一日之ヲ議場ニ報告シ其ノ追加事項ヲ速記錄ニ揭載シタリ

五三五　質問ノ撤回ハ議院ノ許可ヲ要セス

質問ハ日程ニ上レルト否トヲ問ハス提出者ヨリ之ヲ撤回スル場合ニハ單ニ議院ニ報告スルニ止マリ議院ノ許可ヲ要セサルヲ例トス最近ノ事例ヲ擧クレハ第四十回議會神谷卓男君提出日米協定ニ關スル質問外一件、第四十一回議會土井權大君提出地方稅制限ニ關スル法律改正ニ關スル質問ノ如キ是ナリ

參看　一八九號、一九一號、一九四號、一九六號、一九八號

五三六　院議ヲ以テ祕密會ノ內容ニ亙レル質問主意書ヲ撤回セシム

第三十九回議會　大正六年七月三日樋口秀雄君提出寺內內閣總理大臣竝本野外務大臣ニ對スル質問ニ對シ鵜澤總明君ヨリ「議員樋口秀雄君ヨリ提出シタル寺內內閣總理大臣竝本野外務大臣ニ對スル質問主意書ハ事祕密會ノ議事ニ亙リ議員ノ信用ヲ傷クルモノト認ム提出者ハ速ニ該質問主意書ヲ撤回スヘシ」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ該動議ヲ可決シタルヲ以テ樋口秀雄君ハ「院議トアレバ多數ニ服センケレバナリマセヌカラ遺憾ナガラ撤回致シマス」ト告ケ右質問ヲ撤回セリ

五三七　質問ノ趣旨辯明ハ火曜日ニ之ヲ爲ス

第二十六回議會以來火曜日ヲ以テ質問日ト定メ其ノ件名ヲ議事日程ノ初位ニ掲載シ日程ニ入ルノ前其ノ趣旨辯明ヲ爲スヲ例トス

參看　二二〇號

五三八　質問緊急ヲ要スルトキハ何時ニテモ議院ノ許可ヲ得テ其ノ趣旨ヲ辯明スルコトヲ得

質問ノ趣旨辯明ハ火曜日ニ爲スヲ例トスルモ緊急ヲ要スルトキハ議院ノ許可ヲ得テ何時ニテモ其ノ趣旨辯明ヲ爲スコトヲ得

第二十六回議會　明治四十三年三月十九日（土曜日）議事日程第三ヲ終リタルトキ　議長（長谷場純孝君）ハ「武藤金吉君カラ緊急事件ニ付テ質問ヲ此場合ニ於テシタイト云フ爰ニ制規ノ贊成ヲ得テ質問書ヲ提出シテアリマス質問ハ火曜日ニ爲ス內規ニナッテ居リマスル併ナガラ緊急ノ事件ト認ムルトキハ此ノ限ニアラズト云フコトノ御相談ニモナッテ居リマスカラ一應御諮リヲ致シマス」ト諮ヒ院議之ヲ許可シ武藤君ハ直ニ質問ノ趣旨ヲ辯明シタリ

第三十五回議會　大正三年十二月十二日（土曜日）議事日程ニ先チ　中村啓次郎君ヨリ「唯今議員カラ、政府ニ對シテ質問スヘキ緊急ノ要件アリトノ申出デアリマスカラ、此場合直ニ趣旨辯明ヲ許可スベシ」トノ動議ヲ提出シ議長（奥繁三郎君）ハ「唯今中村君ヨリ緊急動議ノ質問ガ出マシテゴザイマス、本日質問スルコトニ許可シテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ武藤君ハ同君提出輸出生絲及羽二重ニ關スル件ニ付其ノ趣旨辯明ヲ爲シタリ

第四十回議會　大正七年二月十九日元田肇君提出米國政府ノ輸出入制限令ニ關スル件、同月二十三日望月小太郎君提出露國ノ單獨講和ニ關スル件、三月二日土屋清三郎君提出傳染病研究所ニ於ケル肺ペスト豫防措置ニ關スル件ハ孰レモ院議ヲ經テ趣旨辯明ヲ爲シタリ

第四十二回議會　大正九年二月二十四日（火曜日）質問及議事日程ノ略終了ニ際シ加藤定吉君提出西伯利撤兵ニ關スル緊急質問ハ院議ヲ經テ其ノ趣旨辯明ヲ爲シタリ

第四十三回議會乃至第四十八回議會ニ十一件アリ

五三九　質問ノ趣旨辯明ハ答辯書ノ到達前ナルヲ要ス

質問ノ趣旨辯明前ニ答辯書到達シタルトキハ既ニ質問ノ目的ヲ達シタルモノナルニ依リ假令日程ニ上リタルトキト雖日程ヨリ之ヲ省キテ趣旨辯明ヲ爲サシメサルヲ例トシ尚答辯要領ヲ得サルノ故ヲ以テ更ニ質問セムトスルトキハ再質問若ハ第三質問ヲ提出スルコトナシトセス

第四十四回議會　大正十年二月十二日横山勝太郎君外二名ハ司法權ノ威信ニ關スル質問主意書ヲ提出シ未タ日程ニ上ラサルニ先チ政府ヨリ答辯書ノ到達アリタルヲ以テ同君ハ三月一日再質問ヲ提出シタルニ尚日程掲載前答辯書ノ到達アリタルニ依リ同月十一日更ニ第三質問ヲ提出シタリ

參看　五五八號、五六一號

五四〇　質問ノ趣旨辯明ノ順序ハ便宜議長之ヲ前後シ若ハ提出者間ノ協議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲ得

質問ハ議事日程ニ掲載以來議案ト同シク日程ノ順序ニ從ヒ提出者其ノ趣旨ヲ辯明ス然ルニ提出者議席ニ在ラサルカ又ハ趣旨辯明ニ際シ國務大臣ノ出席ヲ求メ之カ回答ヲ俟ツ爲時間ヲ要スル場合等ニハ議長ハ便宜次ノ日程ニ移リ其ノ順位ヲ前後シ若ハ提出者間ノ協議ニ依リ之ヲ變更スルコトヲナシトセス

第四十三回議會　大正九年七月二十四日ノ議事日程ニ質問一ヨリ十二迄ヲ掲ケ其ノ趣旨辯明ヲ許可スルニ先チ副議長（粕谷義三君）ハ「……質問ノ順序ニ關シマシテ提出者ノ間ニ於テ御協議ノ上ニ、變更ノ申出ノアツタモノガアリマス是ハ先例ニ依リマシテ其通リ取計フコトニ致シタイト思ヒマス」ト告ケ質問一ノ作間耕逸君提出道路ノ管理權ニ關スル質問ハ質問八、三木武吉君提出選擧干渉ニ關スル質問ト順序ヲ變更シタリ

第四十四回議會　大正十年三月二十二日ノ質問日ニ於テ議事日程十四窒素化合物ニ對スル政策ニ關スル質問（大口喜六君提出）ハ提出者不在ニツキ議長（奥繁三郎君）ハ後廻シト爲ス旨ヲ告ケ次ノ質問ノ趣旨辯明ヲ許可シタル後大口君ノ出席ヲ俟ツテ同君ノ趣旨辯明ヲ許可シタリ

五四一　質問ノ趣旨ヲ提出者兩名ニテ辯明ス

第四回議會　明治二十五年十二月五日立川雲平君外四名提出選擧干渉ニ關スル質問ニ付テハ立川君其ノ趣旨ノ辯明ヲ爲シ次テ長谷場純孝君モ亦提出者トシテ登壇辯明ヲ爲シタリ

五四二　質問ノ趣旨辯明ニ際シ院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ質問者ヨリ其ノ出席ヲ希望ス

質問ノ趣旨辯明ニ際シ特ニ議院ノ決議ヲ以テ當該國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ院議ニ依ラスシテ質問ノ提出者ヨリ其ノ出席ヲ希望スルコト尠カラス

(一)　院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シタル例

第三十回議會　大正二年三月四日林毅陸君ハ「本員ノ質問ヲ辯明スルニ先チマシテ總理大臣ノ出席ヲ院議ニ依テ請求致シタイ」トノ動議ヲ提出シ院議多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

(二)　質問者ヨリ國務大臣ノ出席ヲ希望シタル例

第四十七回議會　大正十二年十二月二十三日三木武吉君ハ「私ハ此場合總理大臣ノ御出席ヲ求メテ、火保問題ニ關シテ緊急質問ヲ致シタイト存シマス適當ナル御處置ヲ願ヒマス」ト述ヘ議長(粕谷義三君)ハ「先刻來總理大臣ノ出席ヲ要求シテ居リマスガ只今貴族院ニ出席中デハナイカト思ヒマス、尚ホ催促ヲ致シテ見マス其間暫時休憩ヲ致シマス」ト告ケタリ

五四三　院議ヲ以テ質問ノ趣旨辯明ヲ一時延期セシム

第三十一回議會　大正三年二月二十四日川原茂輔君ハ「今日ノ日程即チ質問ガ一ヨリ十二マデアリマスガ其中ノ大部分ハ答辯濟、又質問セントスル議員ガ此席ニ在ラザルノヲ認メルノデアリマス、ソレデ其先キノ戸籍法第一ヨリ第十二ニ至ル問題ハ是ハ政府案デアリマシテ其中ニハ最モ急グモノモアリマスカラ之ヲ先キニシテ……又モウ一ハ公報第三十一號ノ日程ノ第十三ヨリ十九(延會トナリテ本日ノ日程ニ掲載ナキモノ)マデハ織物消費稅ニ關スル改正法律案、通行稅地租條例改正案、國稅徵收法中改正案、是等ハ總テ減稅ニ關スル問題デアリマスカラ本日ノ日程ニ引續キ第三十一號ノ第十三ヨリ第十九マデヲ續イテ審議セラレンコトヲ望ミマス」トノ動議ヲ提出シ議事日程ノ變更ヲ求メ議長(大岡育造君)ハ之ヲ採決セシニ多數ヲ以テ之ヲ可決シタリ

五四四　國務大臣ノ出席ナキ爲質問ノ趣旨辯明ヲ延期ス

質問ノ趣旨辯明ハ國務大臣ノ出席セルト否トニ拘ラス之ヲ爲スヲ例トスルモ主管ノ國務大臣ノ出席ナキ爲其ノ趣旨辯明ヲ延期シタル例尠カラス

第二十五回議會　明治四十二年一月二十三日議長（長谷場純孝君）ハ花井卓藏君ニ同君提出裁判上軍人ニ授クヘキ權利ニ關スル質問ノ趣旨辯明ヲ許セルニ花井君ハ「兩大臣ガ此席ニ列セラレシ機會ニ於テ私ハ演說ヲシヤウト思フ——陸軍大臣、海軍大臣ノ出席セラレシ時機ニ於テヤリマス」ト述ヘタリ

第三十回議會　大正二年三月四日林毅陸君提出內閣ノ政綱ニ關スル質問ニ付テハ其ノ趣旨辯明ノ際院議ヲ以テ山本內閣總理大臣ノ出席ヲ要求セルニ唯今參內ノ爲出席スルコトヲ得ストノ回答ニ接シ林君ハ「折角ノ院議ヲ汚スノハ殘念デアリマスカラ、ソレデハ總理大臣ノ出席サレルマデ待チマセウ」ト述ヘタリ

第三十五回議會　大正三年十二月十五日議長（奧繁三郎君）ハ人見米次郎君ニ同君提出ノ銀行業取締ニ關スル質問ノ趣旨辯明ヲ許可セルニ人見君ハ「本員ノ質問セント致シマスルノハ、大藏大臣ニ對シテデアリマス、大藏大臣ハ唯今缺席デアリマスカラ、直グニ出席セラルナラバ本員ハ質問致シマスガ直グ出席スルコトガ出來ナケレバ次回ニ於テ致シタイト思ヒマス、大藏大臣ニ御尋ネ下サルヤウニ……」ト請求シ議長ハ「今豫算委員會ニ出席中デアリマス」ト答ヘタルニ同君ハ「ソレデハ次回ニ御廻シ下サルヤウニ」ト述ヘ趣旨辯明ヲ延期シタリ

五四五　質問ノ趣旨辯明ヲ省略ス

質問ノ趣旨ヲ辯明スルハ第一回議會以來ノ慣例ナルモ質問簡易ナルトキ若ハ質問書ニ其ノ要領ヲ悉セルトキ又ハ會期切迫等ノ場合ニハ其ノ辯明ヲ省略スルコト每會期其ノ例尠シトセス

五四六　質問ノ趣旨辯明ヲ省略スルノ申出アルトキハ其ノ答辯書ヲ俟テ主意書ヲ速記錄ニ揭載ス

質問主意書ハ提出者ノ趣旨辯明アリタル際速記錄ニ揭載スルモ豫メ趣旨辯明ヲ省略スルノ申出アルトキハ答辯書ノ提出アリタルトキ合セテ速記錄ニ揭載スルヲ例トス

五四七　會期終了ノ際院議ヲ以テ質問ノ趣旨辯明ヲ許可セス

第三十四回（臨時）議會　大正三年九月九日（會期終了日）議事日程ノ議事宣告後鈴木萬次郎君ハ

「私カラ質問書ガ出シテゴザイマスガ是ハ日程ノ初メニ其趣意ヲ述ベル譯デアリマスガ是ハドウナリマスカ」ト問ヒタルニ對シ議長（奥繁三郎君）ハ「唯今出タノデ既ニ日程ニ入リマシタカラ日程ヲ變更サレマシタナラバ格別サモナイト日程ヲ議了シタル後デアリマス」ト答ヘ日程議了後議長ハ質問主意書ヲ報告セシメ「質問ノ趣旨ヲ演說シタイト云フコトデゴザイマスカラ此場合許ス考デアリマス御異議アリマスマイカ」ト諮ヒ（「無用々々」ト呼ブ者アリ）「無用ト云フ聲ガアリマスカラ決ヲ採リマス」ト告ケ之ヲ採決セシニ少數ナリシヲ以テ「少數デゴザイマスカラ質問演說ハ許シマセヌ」ト告ケ之ヲ許可セサリキ

五四八　特別ノ事由アルトキハ質問主意書若ハ質問ノ參考書ヲ速記錄ニ揭載セス

第三十七回議會　大正五年二月一日乃木問題ニ關スル質問ニ付提出者伊東知也君ハ其ノ趣旨辯明ヲ省略スル旨ノ申出ヲ爲ス此ノトキ福田又一君ヨリ伊東君ノ本問ニ關スル質問主意書ハ普通ノ文書ナレハ速記錄ニ揭載スヘキモノナルモ之ハ佐々木安五郎君ヨリ提出セラレタル乃木問題ニ關スル「日本及日本人」（佐々木安五郎君ヨリ乃木問題ニ關スル質問ノ參考書トシテ提出シタル「日本及日本人」ハ速記錄ニ揭載スヘカラスト議決セリ）ト同一ナルヲ以テ同一ノ趣旨ニ依リ速記錄ニ揭載スヘカラストノ動議ヲ提出シ院議異議ナク此ノ動議ヲ可決シ從テ此ノ質問主意書ヲ速記錄ニ揭載セサリキ

第二十六回議會　明治四十三年三月二十二日高木益太郎君外一名提出日本及日本人三月十五日發行第五百二十九號發賣頒布禁止ニ關スル質問ニ對シ ト部喜太郎君ハ其ノ趣旨辯明中「此ノ論文ノ全部ヲ速記錄ニ載セテ置キマスカラ……」ト述ヘ後議長（長谷場純孝君）ハ「ト部君ガ質問ノ末ニ御發議ニナツタ中ニ新聞紙法ニヨリ發賣頒布ヲ禁止セラレタル言論ハ禁止ノ結果他ニ轉載スルヲ得ザルモノト信ジマス、故ニ速記錄ニ揭載スルコトハドウデアラウカト考ヘマスガ、併シ此事ヲ御諮リスルツモリデアリマスケレドモ發議者ノト部君モ唯今御闕席ノヤウニ見受ケマスカラシテ、明日此事ハ院議ニ問フテ決定ヲシタイト思ヒマス、故ニ今日ノ速記錄ニハ此全文ヲ揭ゲルコトハ見合セ置キマスカラ、左樣御承知ヲ願ヒタイ」ト告ケ翌二十三日議長ハ「昨日ノト部君ノ質問ヲ彼發賣發行ヲ禁止セラレタ「日本及日本人」ト云フ雜誌ノ軍事私議ト云フ項ヲ朗讀ハシテアツタケレドモ其全部ヲ速記錄ニ載セタイト云フコトデアリマシタガ、其事ヲ議場ニ御諮ヒヲ致シテ……」ト諮ヒ採決ノ結果本事件ニ限リ速記錄ニ揭載スヘカラサルコトニ決セリ

第三十七回議會　大正四年十二月十四日佐々木安五郎君ハ同君提出乃木問題ニ關スル質問ノ趣旨

辯明中「朗讀ニ換ユルニ此ノ日本及日本人ノ原稿ヲ以テシマス」ト述ヘ速記錄ニ掲載セムコトヲ求メタルニ對シ五年一月二十五日議長（島田三郎君）ハ「豫テ懸案トナッテ居リマシタ佐々木安五郎君ヨリ請求ニカヽル質問ノ參考書トシテ發賣頒布ヲ禁止セラレタル「日本及日本人」ヲ速記錄ニ掲載スルヤ否ヤノ件——之ヲ議題ト致シタイ」ト諮ヒ院議多數ヲ以テ議題ト爲シタル際政府ヨリ祕密會ノ要求アリ祕密會ニ移リ後議長ハ祕密會ニ於テ速記錄ニ掲載スヘカラスト決シタル旨公開議場ニ於テ宣告セリ

五四九　質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルヲ例トス

第十回議會以來質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許ササルコトト爲レリ

（一）　院議ニ諮ヒタル例

第十四回議會　明治三十三年二月二十二日星松三郎君ノ宗教法案ニ對スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ花井卓藏君ハ質問ニ對スル質疑ハ之ヲ許スヘシトノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルトキ議長（片岡健吉君）ハ之ヲ採決シタルニ少數ニテ否決セラレタリ

第二十八回議會　明治四十五年三月十九日服部綾雄君ノ對米外交ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ日向輝武君ノ質疑中議長（大岡育造君）ハ「御中言デアリマスガ先例ガアリマスカラ之ヲ諮ルマデチョット御待下サイ前例ニ依リマストト質問ノ趣旨辯明ニ對スル質疑ハ之ヲ許サザル例ニナッテ居リマス先キニモ之ヲ議場ニ諮ッタル結果ガ斯ウ云フ風ニ定ッテ居ルノデアリマス今新ニ之ヲ許スノ例ヲ開クヤ否ヤヲ諸君ニ諮ルノデアリマス……議事ノ進行上カラ云ヘバ政府ガ答ヘル場合ニ於テノ疑義ヲ質スコトハ當然デアルケレドモ側面ヨリノ質問ハ許サザル例ヲ守リタイト議長ハ思ヒマスガ如何デゴザイマスカ……御意見ガナケレバ……」日向君「私ハ服部君ノ質問ニ對シテ簡單ナル御辯明ヲ要シタイノデアリマス」議長「ソレデモイケマセヌ既ニ議場ニ諮ッテ先例ヲ守ルコトニ決定致シマシタカラ日向君ノ質問ハ此所ニ止メラレンコトヲ望ミマス」ト告ケタリ

第三十六回議會　大正四年六月八日小林丑三郎君ノ非募債計畫前途ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ田川大吉郎君ハ質疑ヲ爲シタルニ花井卓藏君ヨリ許スヘシトノ新ナル動議ノ出テサル以上先例上之ヲ許スヤ否ヤヲ確メタル後之ヲ爲スヘシト述ヘ横田千之助君ハ質問ノ趣旨辯明ニ對シ質疑ヲ許スヘシトノ動議ヲ提出シ議長（島田三郎君）ハ之ヲ採決シタルニ少數ニテ否決シタリ

（二）　院議ニ諮ハサリシ例

第十回議會　明治三十年三月三日小室重弘君外一名提出紀綱紊亂ニ關スル質問ニ付同君其ノ趣旨辯明ヲ爲シタルトキ工藤行幹君ハ之ニ對シ質疑ヲ爲サムトシタルニ議長（鳩山和夫君）ハ「工藤君ニ申シマスガ質問ノ辯明ニ對シテハ許シマセヌ」ト告ケタリ

第十四回議會　明治三十三年二月十四日星松三郎君外一名提出東京市ニ關スル質問ニ付同君其ノ趣旨ノ辯明ヲ爲シタルトキ松田秀雄君ハ質問ノ論旨ニ對シ質問ノ演說ヲ爲サムトシタルニ議長（片岡健吉君）ハ「質問演說ニ向ッテ質問スルトカソレニ對スル演說トカ云フコトハ總テ許サナイコトニナッテ居リマス（中略）議長ハ是マデ許シテ居リマセヌ併シ議場ニ御諮ヒニナッテ議場ガ許スト云フコトナレバ差支ゴザイマセヌ」ト告ゲシモ松田秀雄君ハ之ヲ請求セサリキ

第三十七回議會　大正五年二月二十五日早川龍介君ノ曆法ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ小西和君ハ質疑ヲ爲サムトシタルニ副議長（早速整爾君）ハ「質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトノ慣例ニナッテ居リマス」ト告ケタルニ小西和君ハ「許サレタ慣例モアルヤウデアリマス」ト述ヘ尙許可ヲ求メタルモ副議長ハ「兎ニ角質問ニ對スル質問ハ許サナイト云フコトガ本式デアラウト考ヘマス」ト告ケ之ヲ許ササリキ

參看　二七九號、二九〇號、二九五號、五六二號

五五〇　質問ノ趣旨辯明ノ一部ニ對シ議員又ハ政府委員ヨリ辯明ス

第十六回議會　明治三十四年十二月十九日菅野善右衞門君ノ東北大演習ニ於ケル日鐵會社ノ一大失行ニ關スル質問ノ趣旨辯明中「尙ホ島田三郎君ニ逢ウテ尋ネテ見タノデゴザイマス會社ヨリモ遞信大臣ヨリモ連日掲載シタケレドモ何等ノ取消モ申込モゴザイマセヌ故ニ事實ナリト認メテ居リマスト云フコトデゴザイマシタ」ト云ヘルニ對シ島田三郎君ハ「唯其事ハ事實相違デアルカラ云々ト云フモノガ參ッタト云フコトヲ答ヘタソレナラバ彼ノ事實ハアッタト信ズルカナイト信ズルカト云フカラ私ハアッタト信ズルト答ヘタ何モ參ラヌト云フ發議ハ少シ其時ノ答ト違ッテ居ル大切ナル事實デゴザイマスカラ」ト述ヘ事實ノ違ヘル點ヲ辯明シタリ

第十三回議會　明治三十一年十二月十日田中正造君ハ其ノ提出ノ「邦內ノ一國ニ比スル土地ノ被害人民ニ對シ憲法ノ保護ナキ儀ニ付質問」ノ趣旨辯明ヲ爲シタルニ對シ同月十二日政府委員中村陸軍次官ハ議場ニ出席シ政府ハ追テ答辯ヲ爲スヘキモ同君ノ演說中「越ケ谷ニ於テ將校ガ憲兵ヲ指揮シテ被害民ノ枕頭ヲ軍馬デ以テ蹂躙シタト云フ卽チ軍馬デ蹴散シタリト云フコトガ見エマスルデゴザイマス是ハ事實無根デゴザリマスカラ是ダケ一言致シテ置キマス」ト述ヘ答辯ニ先チ事實無根ノ點ヲ辯明シタリ

五五一 質問ニ對スル答辯ノ要求ヲ爲ス

質問ニ對スル答辯ナキ爲其ノ答辯ヲ要求セルコト第六回議會以來每會期其ノ事例尠カラス

五五二 質問ニ對シ國務大臣ヨリ答辯スヘキ日時ヲ通知シ若ハ言明ス

第一回議會　明治二十三年十二月十二日青木外務大臣ヨリ新井章吾君外三十二名提出條約改正ノ成行竝之ニ關スル將來內閣ノ方針ニ關スル質問ニ對シ來十二月十七日午後一時本院ニ於テ答辯スル旨、同月十五日新井章吾君外三十二名提出陸海軍ノ方針ニ關スル質問ニ對シ大山陸軍大臣、樺山海軍大臣ヨリ、同教育ノ方針ニ關スル質問ニ對シ芳川文部大臣ヨリ明十六日當議場ニ於テ答辯ヲ爲ス旨、同二十四年三月五日三崎鏡之助君外百五名提出條約改正ノ方針ニ關スル質問ニ對シ本日午前十一時ニ、井上角五郎君外三十三名提出朝鮮關係ノ件ニ關スル質問ニ對シ本日午後一時ニ青木外務大臣ヨリ答辯アル旨通知アリタルニ依リ議長ハ孰レモ之ヲ議場ニ報告シタリ

第二回議會　明治二十四年十二月十五日高梨哲四郎君提出東京米商會所ニ關スル質問ニ對シ陸奥農商務大臣ヨリ明十六日ヲ以テ答辯スル旨通知アリタルニ依リ議長ハ之ヲ議場ニ報告シタリ

第四回議會　明治二十五年十二月八日井上角五郎君提出朝鮮政略ノ方針ニ關スル質問ニ對シ明九日陸奥外務大臣本院ニ出席シテ答辯アル旨通知アリタルニ依リ議長ハ之ヲ議場ニ報告シタリ

第三十回議會　大正二年三月八日山本內閣總理大臣ハ林毅陸君提出滿蒙政綱ニ關スル質問（曩ニ院議ヲ以テ同大臣ノ出席ヲ要求セルモノ）ニ對シ「右ニ關シマシテハ目下熟慮審議中デゴザイマス依テ今ヨリ三日間中ニ御答ヲ致シマスル、左樣御承知置ヲ願ヒタイ」ト述ヘ次回（十一日）ノ會議ニ於テ答辯セリ

五五三 質問ノ答辯モ亦火曜日ヲ以テス但シ緊急又ハ已ムヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

從來質問ノ答辯ハ一定ノ日ヲ限ラサリシモ第二十六回議會明治四十三年二月八日以來質問ノ趣旨辯明ハ每火曜日ト爲シタルニ依リ答辯モ此ノ例ニ從ヘリ卽チ口頭ノ答辯ハ勿論文書ノ答辯ニシテ定日以外ニ到達シタルモノト雖定日ヲ以テ議場ニ報告シ之ヲ朗讀スルヲ例トス

參看　五三七號、六五〇號

五五四　政府ヨリ答辯書ヲ提出セラレタルトキハ之ヲ報告スルモ朗讀ハ省略スルヲ例トス

答辯書浩澣ナルカ又ハ多數ナルトキ亦同シ

質問ニ對スル政府ノ答辯ハ主務大臣議場ニ於テ之ヲ演述シ又ハ文書ヲ以テス其ノ文書ヲ以テシタルモノハ從來議場ニ於テ諸般ノ報告書ト共ニ之ヲ朗讀シタルモ最近之カ朗讀ヲ省略スルヲ例トス答辯書浩澣ナルカ又ハ多數ナルトキ亦同シ但シ院議ニ依リ朗讀シタルコトナシトセス

第三十九回議會　大正六年七月十日小山松壽君提出文部大臣言責ニ關スル質問ニ對スル答辯ハ浩澣ナルヲ以テ件名ノミヲ報告シ朗讀ハ之ヲ省略シタルニ小山松壽君ヨリ朗讀ヲ求メタルモ議長ハ之ヲ許ササリキ

第四十回議會　大正七年三月二十六日（會期終了日）政府ヨリ受領シタル答辯書十八件アリ議長（大岡育造君）ハ「質問ニ對スル答辯書ハ速記錄ニ載セル事ニ致シマスカラ、ソレニ就テ御覽ナサルヤウニ願ヒマス」ト告ケ朗讀ヲ省略セリ

第四十三回議會　大正九年七月二十六日ノ會議ニ於テ岩崎勳君ハ島田三郎君提出ノ高橋大藏大臣、山本農商務大臣、中橋文部大臣瀆職ノ嫌疑ニ關スル質問主意書及之ニ對スル答辯書ノ朗讀ヲ、島田三郎君ハ同答辯書ノ朗讀ヲ要求シ議長（奧繁三郎君）ハ書記官ヲシテ其ノ朗讀ヲ爲サシメタリ

參看　三二二號

五五五　國務大臣又ハ政府委員口頭答辯ヲ爲シ更ニ書面答辯ヲ爲ス

質問ノ趣旨辯明アリタルトキ國務大臣又ハ政府委員先ツ口頭ヲ以テ答辯ヲ爲シタル後更ニ書面ヲ以テ詳細ニ答辯ヲ爲スコト每會期其ノ例尠カラス

第三十九回議會　小山東助君提出言論壓迫ニ關スル質問ニ對シ大正六年七月三日寺內內閣總理大臣ハ口頭ヲ以テ大體ニ付答辯ヲ爲シ同日後藤內務、松室司法兩大臣ハ書面ヲ以テ答辯セリ

第四十回議會　土屋淸三郎君提出傳染病研究所ニ於ケル肺ペスト豫防措置ニ關スル緊急質問ニ對シ大正七年三月二日田所文部次官ハ口頭ヲ以テ大體ニ付答辯ヲ爲シ同月五日後藤內務、岡田文部兩大臣ハ書面ヲ以テ答辯セリ

第四十五回議會　板野友造君提出都市計畫ニ關スル質問ニ對シ大正十一年一月三十一日小橋內務次官ハ口頭ヲ以テ答辯ヲ爲シ三月二十三日床次內務大臣、高橋大藏大臣ハ書面ヲ以テ答辯

ヲ爲セリ

第四十六回議會　軍艦天城ニ關スル疑獄事件ニ付緊急質問ニ對シ大正十二年三月二十日井出海軍次官ハ口頭ヲ以テ答辯ヲ爲シ三月二十六日加藤海軍大臣ハ書面ヲ以テ答辯ヲ爲シタリ

五五六　國務大臣若ハ政府委員文書ヲ以テ答辯スヘキ旨ヲ言明ス

第二十五回議會　明治四十二年二月二日花井卓藏君ハ其ノ提出國務大臣ノ資格及其ノ發言ノ責任ニ關スル件、政府委員ノ發言ノ責任ニ關スル件ノ趣旨辯明ヲ爲セルニ平田內務大臣ハ「唯今花井君ノ御質問ニ對シテ政府ヲ代表致シマシテ一言申上ゲテ置カウト思ヒマス、花井君ノ御質問ハ事殊ニ重大ニ亘ツテ居リマスルニ依ツテ政府ニ置キマシテハ深ク審議考慮ヲ遂ゲマシテ書面ヲ以テ御答致シマセウト思ヒマス」ト述ヘ三月十四日文書ヲ以テ答辯シタリ

第四十回議會　大正七年三月二十五日森田茂君ハ同君外一名ノ提出ニ係ル外國共同居留地內ニ於ケル取引所設置認可ニ關スル質問ノ趣旨辯明ヲ爲セルニ幣原政府委員ハ「本件ハ御承知ノ如ク外務、農商務兩省ニ跨ツテ居ル問題デアリマスカラ追テ兩大臣ヨリ書面ヲ以テ詳シク御答辯ヲ申上ゲルコトニナツテ居リマスカラ左樣御承知ヲ願ヒマス」ト述ヘ同日文書ヲ以テ答辯シタリ

五五七　質問ニ對シ書面ヲ以テ答辯セムコトヲ求ム

質問ノ趣旨辯明アルトキハ國務大臣若ハ政府委員直ニ之ヲ答フルヲ通例トスルモ趣旨辯明者ニシテ豫メ書面ニテ答辯ヲ求ムルコトナシトセス

第四十回議會　大正七年二月十九日樋口秀雄君提出對支外交ニ關スル質問ハ同君趣旨辯明ノ後書面ヲ以テ答辯セラレムコトヲ求メタルニ外務大臣本野一郎君ハ其ノ要求ヲ容レ書面ヲ以テ答辯スヘキ旨ヲ陳述シタリ

第四十二回、第四十四回議會ニ同一事例アリ

五五八　質問ニ對スル答辯要領ヲ得サル爲衆議院規則第百四十二條ニ依リ國務大臣ノ出席ヲ求ム

前項ノ要求ニ對シ再ヒ書面ヲ以テ答辯ス

第三十七回議會　大正五年二月三日小久保喜七君ハ曩ニ提出シタル登極令違反ニ關スル質問ニ對スル大隈內閣總理大臣ノ答辯要領ヲ得サルノ故ヲ以テ衆議院規則百四十二條ニ依リ更ニ精細ノ質問ヲ爲サム爲大隈內閣總理大臣ノ出席ヲ求メ同月十六日同大臣ノ出席アリシトキ再ヒ質問ヲ

爲シタルニ同大臣ハ「只今小久保君ヨリ縷々御質問デアリマシタガ既ニ過日ノ質問ニ對シテ詳細ナル答辯ヲ致シテ置キマシタガ之ニ滿足サレナカッタト存ジマス事ハ頗ル簡單デアリマスガ又頗ル重大ナル問題デアリマスカラ成ルタケ誤解ヲ避ケル爲ニ私ハ充分ナル考慮ヲ致シテ書面デ返答致シマス」ト答ヘ同月二十三日再ヒ書面ヲ以テ答辯セリ此ノ答辯ニ對シ翌二十四日小久保喜七君ハ更ニ百四十二條ニ依リ出席ヲ求メシモ其ノ後出席ナキ爲同月二十八日本質問ニ對スル答辯ニ付意見ヲ述ヘタリ

五五九　國務大臣又ハ政府委員直ニ口頭ヲ以テ答辯ス

質問ニ對スル答辯ニ付テハ一定ノ期日ナキニ依リ其ノ答辯往々數十日ヲ經過シ且其ノ答辯多クハ文書ヲ以テセリ然ルニ第二十二回議會ヨリハ質問提出者ノ趣旨辯明ニ次テ主管國務大臣ヨリ口頭ヲ以テ答辯ヲ爲スノ例ヲ開キタリ

質問ニ對シ政府委員ヨリ答辯ヲ爲ス場合ニハ國務大臣ノ代理タルコトヲ表明シ若代理ニ非サルトキハ答辯ト認メサリシモ第二十六議會ヨリハ提出者ヨリ質問ノ趣旨辯明アルトキハ政府委員トシテ直ニ口頭ヲ以テ答辯スルノ例ヲ開キタリ

（一）　國務大臣ノ代理ニ非サル爲答辯ト認メサリシ例

第四回議會　明治二十五年十二月九日青山朗君提出千島艦沈沒ニ關スル質問ニ對シ政府委員伊藤海軍次官ハ其ノ翌日議院ニ於テ口頭ヲ以テ答辯シタルトキ小西甚之助君ハ國務大臣ノ代理ト云フ名ヲ以テ答辯セラルルヤ否ヲ問ヒタルニ伊藤海軍次官ハ代理ニアラスト答ヘタリ仍テ議長（星亨君）ハ「代理デナイソウデアリマス然ラバ今ノハ答辯デナク諸君カラ出シタ質問書ハ未ダ答ヘラレナイト云フコトニ致シマス何レ正當ノ手續デ答ヘラルルト考ヘマス」ト告ケ政府ハ同月十二日文書ヲ以テ答辯ヲ爲シタリ

（二）　國務大臣ノ代理トシテ答辯シタル例

第二十二回議會　明治三十九年三月十三日福井三郎君外二名提出萬國博覽會開設ニ關スル質問ニ對シ提出者其ノ趣旨ヲ辯明シタルニ政府委員和田農商務次官ハ「唯今ノ福井君ヨリノ質問ニ對シテ農商務大臣ヨリ答辯アル筈デゴザイマスガ今日ハ差支テ出席ニナッテ居リマセヌ殊ニ此質問ノ趣意書ガ前日提出サレマシテ本員ハ大臣ト此答辯ニ付イテ協議致シマシタ故ニ玆ニ代テ答辯致シマス」ト述ヘタリ

（三）　政府委員トシテ答辯シタル例

第二十六回議會　明治四十三年二月十日藤澤元造君外一名提出禁野火藥庫爆發及其ノ善後處分

ニ付當局ノ責任ニ關スル質問ニ付提出者ノ趣旨辯明ニ次テ政府委員石本陸軍次官ハ直ニ答辯ヲ爲シタリ

五六〇　質問ト關係アル議案ノ議事中國務大臣口頭又ハ文書ヲ以テ答辯ス

第二十三回議會　明治四十年三月二十一日（第二號）明治四十年度歳入歳出總豫算追加案（特第二號）明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案ノ會議中奥野市次郎君外五名提出東京大相撲常設館國庫補助ニ關スル質問ニ對シ提出者ヨリ阪谷大藏大臣ニ此ノ際便宜答辯アリタシトノ要求ヲ爲シタルニ同大臣ハ之ニ應シ其ノ答辯ヲ爲シタリ

第三十一回議會　大正三年二月十二日大正三年度豫算案ノ會議中日向輝武君ハ海軍大擴張ノ件ニ關シ質疑ヲ爲シ山本内閣總理大臣ニ説明ヲ求メ議長（大岡育造君）ハ「日向君御著席ニナレバ報告ガアリマス――唯今是ダケノ答辯書ガ私ノ手ニ政府ヨリ送ラレマシタ此中ニ唯今御催促ノ質問モ入ッテ居リマスガ此機會ニ於テ朗讀ヲ必要トセラルヽナラバ朗讀サセマセウ」ト諮ヒ（「朗讀々々」ト呼ブ者アリ）「議事ノ進行ノタメニ暫ク諸君ハ忍ンデ僅カナル時間ヲ朗讀ニ與ヘラレタ方ガ宜カラウト思ヒマス――朗讀ヲ致サセマス」ト告ケ書記ヲシテ竹越與三郎君提出海軍政策ニ關スル質問ニ對スル答辯書ヲ朗讀セシメタリ

同日右豫算案ノ會議中尾崎行雄君ハ發言ニ先チ「陸軍大臣ノ責任ニ關スル質問……答辯ガ參ッテ居リマスカ」ト問ヒ議長（大岡育造君）ハ「唯今取調ベマスト告ケ次テ先ヅ尾崎君ノ先刻ノ御尋ノ陸軍ノ答辯ハ唯今見テ到著シテ居ルコトヲ發見シマシタカラ此事ヲ御報告ニ及ビマス――此ノ場合陸軍ノ答辯ヲ御要求ナラバ朗讀致シマス」ト諮ヒ（「ヤルベシ」ト呼ブ者アリ）「朗讀致サセマス」ト告ケ書記ヲシテ之ヲ朗讀セシメタリ

五六一　質問ノ答辯ニ對シ提出者意見ヲ述フ

質問ニ對シ政府ヨリ答辯アリタルトキ提出者ヨリ其ノ答辯ニ關スル意見ヲ述ヘムコトヲ請求シタル場合ニハ議長ハ概ネ之ヲ許可スルモ當日ノ質問終了後若ハ議事終了後又ハ次ノ質問日ニ之ヲ許スヲ例トス

第八回議會　明治二十八年三月十九日大竹貫一君外四名提出日英條約ニ關スル質問ニ對シ陸奥外務大臣ヨリ書面ヲ以テ答辯ヲ爲シタルトキ大竹貫一君ハ其ノ答辯ニ對シ意見ヲ述ヘムコトヲ求メタルニ議長（楠本正隆君）ハ當局大臣ノ出席スル時ニ質疑スルカ又ハ更ニ書面ヲ以テ質

問スヘシト諭シタルモ同君ハ尚其ノ發言ヲ請求シ議員中之カ許否ニ付議論アリタルニ依リ議長ハ「此質問答辯ガアッタル場合ニ於テ演說ヲ許スト申スコトニ就イテ同意ノ諸君ハ起立」ト告ケ起立者多數ナリシヲ以テ同君ノ發言ヲ許可シ同月二十二日齋藤良輔君提出青森大林區署官吏ニ關スル質問ニ對シ書面答辯アリ之ニ對シ提出者ヨリ發言ヲ求メタルトキ議長ハ院議ニ諮フコトナク直ニ之ヲ許可シタリ

第四回議會以來其ノ事例尠カラス

參看 五三九號

五六二 答辯ニ關聯セル質疑ハ提出者以外ノ者ト雖之ヲ爲スコトヲ得

質問ニ對シ答辯アリタル場合ニ之ニ關聯セル質疑ハ提出者以外ノ者ト雖之ヲ爲スコトヲ得ヘキハ第一回議會以來認メラレタル所ナリ卽チ明治二十三年十二月十七日新井章吾君ノ爲セル條約改正ノ成行竝之ニ關スル將來內閣ノ方針ニ關スル質問ニ對シ靑木外務大臣ノ答辯アリタルトキ三崎龜之助君之ニ對シ發言ヲ求メシニ議長(中島信行君)ハ始メ之ヲ許ササリシカ新井章吾君ヨリ旣ニ此ノ議場ニ於テ質問ヲ爲シ又答辯ヲ爲セル以上ハ此ノ議院ノ問題トナリタルモノナレハ提出者以外ノ者ト雖答辯ニ就キ充分ナル說明ヲ求ムルヲ得ヘキモノナリトノ意見出テ贊成者アリタルヲ以テ三崎君ノ質疑ヲ許可スルコトトセリ爾來之ヲ例トス

第三十一回議會　森田小六郎君提出京都大學紛擾ニ關スル質問ニ對シ大正三年二月三日奧田文部大臣ノ答辯アリタルトキ林毅陸君發言ヲ求メテ同大臣ノ答辯中進退ニ付テ聖斷ヲ仰クノ言アリシカ斯ノ如キハ「累ヲ宮中ニ及ボスヤウナコトニナルカモ知レナイ、是ハ甚ダ重大ナ點ト考ヘマスカラ、文部大臣ノ御說明ヲ願ヒマス」ト述ヘ奧田文部大臣之ニ對シ答辯ヲ爲セリ

第四十回議會　大正七年二月十九日元田肇君提出米國政府ノ輸出入制限令ニ關スル緊急質問ニ對シ本野外務大臣ヨリ答辯アリタルトキ早速整爾君ハ其ノ答辯ニ關シ質疑ヲ爲シ同大臣之ニ應答セリ

然ルニ第三十七回議會大正五年二月十六日小久保喜七君ノ登極令違反ニ關スル再質問ニ對シ大隈內閣總理大臣ハ更ニ書面ヲ以テ答辯スヘキ旨答辯セルトキ廣岡宇一郎君此ニ關聯シテ總理大臣ニ質疑ヲ爲サムトセシニ議長(島田三郎君)ハ「……過日ノ決定ハ此事ニ限ッテ小久保君ノ請ヲ容レルト云フコトニ決シテアリマス」ト告ケ許否ニ付テ廣岡君ト數次ノ應答ヲ重ネ小川平吉君ヨリ廣岡君ニ許可スヘシト發議シタルモ議長ハ規則第百四十二條ニヨリ小久保君ニ許可セルモノナリ是ハ質問ヲ提出セラレタル本人ニ與ヘラレタル特權ナリト告ケ廣岡君ハ小久保君ニ限定セラレタルニ

非ス又先例ヨリ見ルモ之ヲ許スヘシト辯駁シ議長ハ先例ナシ先例ハ第百四十二條ニ依リシモノニ非ス這回カ始テ例ヲナスナリ——疑義ハ議長之ヲ決スト告ケ之ヲ許ササリキ而シテ休憩ノ後廣岡君ハ小久保君ノ質問ハ規則第百四十二條ニ依レルモノナルニ更ニ書面ヲ以テ答辯スルハ本條ノ精神ヲ無視シタルモノニシテ議長亦其ノ精神ヲ解セサルモノト謂フヘク又質問日ニ非ストモ質問ア リタル以上質問日ト解スルヲ相當トス故ニ提出者以外ノ者ト雖質疑ヲ許可セラレムコトヲ希望スル旨ヲ述ヘタルモ遂ニ其ノ事ナクシテ終レリ

【參照】

第四十四回議會大正十年一月二十三日各派協議會ニ於テ本會議ニ於テハ質問ノ答辯ニ對シ質問者以外ノ者ヨリ成ルヘク質疑ヲ爲ササルコトノ申合ヲ爲シタリ

參看 五四九號

第八章　祕密會議

五六三　祕密會議ハ政府ノ要求若ハ議院ノ決議ニ依リ又ハ懲罰事犯ノ會議ノ際之ヲ開ク

祕密會議ヲ開クトキハ直ニ傍聽人ヲ退場セシム

政府ヨリ祕密會議ヲ要求シ又懲罰事犯ノ祕密會議ヲ開ク場合ニハ其ノ事件ヲ議題ニ供スルト同時ニ傍聽人ヲ退場セシム然レトモ議長若ハ議員ヨリ祕密會議ノ發議アリタル場合ニハ先ツ之ヲ開クヤ否ヲ採決シ其ノ議決ヲ俟テ傍聽人ヲ退場セシム

(一)　政府ヨリ祕密會議ノ要求アリタル場合

第四十五回議會　大正十一年三月十八日尾崎行雄君提出二重橋附近ニ起リタル事件ニ關スル緊急質問ノ會議中副議長(粕谷義三君)ハ政府ヨリ祕密會議ノ要求アリタル旨ヲ告ケ直ニ傍聽人ノ退場ヲ命シタリ

(二)　懲罰事犯ノ爲祕密會議ヲ開キタル場合

第四十六回議會　大正十二年三月一日山道襄一君ノ懲罰事犯ニ付議長(粕谷義三君)ハ「懲罰事

犯ノ議事ハ祕密會デアリマスカラ傍聽人ノ退場ヲ命ジマス」ト告ケタリ

（三）議長若ハ議員ヨリ祕密會議ヲ開クノ發議アリタル場合

第三回議會　明治二十五年六月十四日稻垣示君提出動議（賄賂事件ニ關シ調査委員ヲ設クル件）ニ付議長（星亨君）ハ「議長ハ祕密會議ヲ開クコトヲ必要ト認メマスガ……祕密會ヲ開クト云フニ同意ノ方ハ起立ナスッテ下サイ」ト告ケ起立者多數ナルヲ以テ傍聽人ヲ退場セシメ祕密會議ヲ開キタリ

第十三回議會　明治三十一年十二月二十三日明治三十二年度豫算案會議中星亨君ハ全院委員會ヲ開キ之ヲ祕密會トスルノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリタルトキ議長（片岡健吉君）ハ全院委員會ヲ開クコト及祕密會トスルコトニ付採決シ多數ヲ以テ可決シタルニ依リ傍聽人ヲ退場セシメタリ

【參照】

第七回（臨時）議會　明治二十七年十月二十日末廣重恭君ハ伊藤內閣總理大臣ニ對シ外交ニ關スル質疑ヲ爲ス爲祕密議會ヲ開カムコトヲ發議シ之ニ贊成者アリタルトキ議長（楠本正隆君）ハ傍聽人ヲ退場セシメテ祕密會議ヲ開クヤ否ノ採決ヲ爲サムトセシニ星亨君ハ「只今マデノ慣例ハドウデゴザイマセウカ違ツテ居リハシマセヌカ」ト問ヒシニ議長ハ「慣例トテハ別ニ確守スル處ノ慣例ハ覺エマセヌ此議院法ニ依ラザルヲ得ヌ――傍聽人諸君ハ止ムヲ得ザル場合茲ニ御退出ヲ請ヒマス」ト告ケ傍聽人ヲ退場セシメテ之ヲ採決セリ

五六四　祕密會議ニ速記ヲ用ヰタルトキハ之ヲ密封シテ保存ス

祕密會議ハ刊行スルコトヲ得サルカ故ニ從來祕密會議ノ場合ニハ一切速記ヲ用キサリシモ第十三回議會以來速記ヲ用ウルコトトナレリ但シ政府ノ要求アル場合ニハ之ヲ廢セリ而シテ其ノ速記ハ反文淨書ノ上密封シテ之ヲ保存スルコトトセリ爾來之ヲ例トス

（一）速記ヲ用ヰタル例

第十三回議會　明治三十一年十二月十七日門馬尙經君田中正造君ノ懲罰事犯ノ祕密會議ニ於テ始テ速記ヲ用ウルノ新例ヲ開キ次テ同月二十三日明治三十二年度豫算案全院委員會及同三十二年一月十九日（第三號）明治三十一年度豫算追加案（京仁鐵道ノ件）ノ祕密會議ニ於テ亦速記ヲ用ヰタリ

第三十四回（臨時）議會　大正三年九月五日加藤外務大臣ハ外交ニ關スル質疑ニ對シ辯明ヲ爲ス爲祕密會議ヲ要求シ祕密會ヲ開キタル際同大臣ハ速記ヲ廢セムコトヲ要求シ一旦速記ヲ廢シタルモ松田源治君ノ動議ニ依リ更ニ速記ヲ用ウルコトト爲レリ

參看　一五二號

（二）政府ノ要求ニ依リ速記ヲ廢シタル例

第十三回議會　明治三十一年十二月二十三日明治三十二年度豫算案全院委員會ノ祕密會議ニハ速記ヲ用ヰタルモ大岡育造君ノ靑木外務大臣ニ對スル質疑及其ノ說明ニ限リ同大臣ノ要求ニ依リテ速記ヲ廢シタリ

五六五　院議ヲ經テ委員會ニ於ケル祕密會議ノ速記ヲ刊行ス

第二十回（臨時）議會　秋山定輔君ニ關スル調査ノ件委員會ハ祕密會議トシテ速記ヲ付シ同事件ノ結了後卽チ明治三十七年三月二十九日本會議ニ於テ前委員長肥塚龍君ヨリ同速記ヲ公ニセムコトノ請求ヲ爲シタルニ議長（松田正久君）ハ院議ニ諮ヒ之ヲ印刷配付セリ

五六六　祕密會議ハ其ノ會議ニ關係アル國務大臣及政府委員出席ス

祕密會議ノ場合ニ於テハ國務大臣及政府委員ハ其ノ席ニ在ルヲ通例トス

議員ノ懲罰事犯ノ祕密會議ニ於テハ政府ニ全然關係ナキノ故ヲ以テ第二回以來議長ハ書記官ヲシテ政府委員ノ退席ヲ求メシメタリ

五六七　祕密會議ノ結果ハ場合ニ依リ公開議場ニ於テ報告ス

懲罰事犯ニ在リテハ祕密會議ヲ終リタル場合ニ於テ再ヒ議場ヲ公開シ其ノ結果ヲ報告スルハ勿論ナルモ其ノ他ノ祕密會議ニ於テモ尙其ノ結果ヲ公開議場ニ報告シタルコトアリ左ノ如シ

第九回議會　明治二十九年二月一日明治二十九年度豫算案ノ會議中政府ノ要求ニ依リ祕密會議ヲ開キタルトキ

第十三回議會　明治三十一年十二月二十三日明治三十二年度豫算案ノ會議中議員ノ動議ニ依リ祕密會トシテ全院委員會ヲ開キタルトキ

第二十七回議會　明治四十四年二月二十三日犬養毅君外二名提出決議案

第三十七回議會　大正五年一月二十五日佐々木安五郎君ノ要求ニ依ル雜誌「日本及日本人」ヲ速記錄ニ揭載スルヤ否ノ件

第三十八回議會　大正六年一月二十三日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ政府ノ要求ニ依リ祕密會トシタルトキ

第四十八回議會　大正十二年十二月二十七日虎ノ門附近ニ於ケル容易ナラサル不敬事件ノ事實報告ニ付政府ノ要求ニ依リ祕密會議ヲ開キタルトキ

第九章　秩序、懲罰及傍聽

第一節　秩序

五六八　議場ニ於テハ略服ヲ許サス但シ無地又ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ著用ヲ妨ケス

從來議場ニ於ケル服裝ハ略服ヲ禁止セラレタルモ第四十三回議會大正九年七月二日ノ會議ニ於テ議長（奥繁三郎君）ハ「同議會中議場ニ於テ無地若ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ著用ヲ妨ケヌコトニ異議ナキヤ」ヲ院議ニ諮ヒ異議ナカリシヲ以テ同會期中ハ議員其他ハ背廣服ヲ著用入場セリ而シテ同七月二十八日ノ會議ニ於テ衆議院規則ヲ改正シ無地又ハ之ニ準スヘキ折襟背廣服ノ著用ヲ妨ケサルコトト爲セリ但シ縞又ハ無紋ノ羽織ハ許サレサルモノトス

【參照】

第二十九回（臨時）議會　大正元年八月大喪費協贊ノ爲臨時議會ヲ召集セラルルヤ議長（大岡育造君）ハ特ニ注意書ヲ發シ本會期中議員ハ喪服「フロックコート」（チヨツキ、ズボン手袋ハ黒色）「シルクハツト」ヲ著用スルコトトシ兩院共ニ之ヲ實行シタリ第三十二回（臨時）議會（大正三年五月四日）中亦此ノ例ニ據ル

五六九 議場ニ於テハ新聞紙等ノ配付ヲ許サス

第四十四回議會　大正十年三月十七日決議案（南滿洲鐵道會社ニ對スル監督責任ノ件）ノ會議ニ於テ濱田國松君ノ贊成演說中當日ノ新聞夕刊ヲ議席ニ配付シ居レル議員ニ對シ議長（奧繁三郎君）ハ「……議場デハ參考書ノ外新聞等ノ配付ハ許シマセヌ」ト宣告シタリ

第四十六回議會　大正十二年三月八日辯護士法中改正法律案ガ會議中淸水留三郎君ハ「……只今辯護士法中改正法律案ガ討議セラレテ居リマス最中、吾々ノ手許ニ東京辯護士會、東京辯護士協會代表者會長ノ名目ヲ以テ、種々ナ宣傳ガ此處ニ參ッテ居ルノデアリマス、議席ニ宣傳致スト云フコトハ前例ガアルマイト思ヒマス之ニ對シテ議長ハドウ云フ所ノ御考ヲ持ッテ居リマスカ」ト述ベタルニ議長（粕谷義三君）ハ「……只今淸水君ヨリ御尋ノ事ハ議長ニ於テハ之ヲ許シタ覺エハアリマセヌ、何レ能ク取調ベタ上御答致シマス」ト答ヘタリ

五七〇 議員ハ議長ノ許可ヲ得テ給仕ヲ付シ、守衞ニ倚リ又ハ杖ヲ用ヰ議場ニ入ルコトヲ得

疾病又ハ負傷ノ爲歩行不自由ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ給仕ヲ付シ又ハ杖ヲ用ヰ或ハ守衞ニ負ハレテ議場ニ入ルコトヲ得

參看　三六號、四七號

五七一 負傷又ハ疾病ノ議員ハ議長ノ許可ヲ得テ繃帶若ハ襟卷ノ儘議場ニ入ルコトヲ得

議員ニシテ負傷又ハ疾病アルモノハ議長ノ許可ヲ得テ襟卷又ハ繃帶セル儘議場ニ入リ又ハ其ノ儘登壇シ發言スルコトヲ得ルヲ例トス

五七二 議員外ノ者ト雖必要アルトキハ許可ヲ得テ議場ニ入ルコトヲ得

第十三回議會　明治三十二年二月二十八日議長（片岡健吉君）ハ「諸君ニチヨット御諮リシテ置クコトガゴザイマスガ、衞生局カラ此議場ノ空氣ガ惡ルイカモ知レヌカラ空氣ヲ計ツテ見タイト云フコトガ掛合ニナッテ居リマスカラ都合ヲ以テ一名此議場ニ入込ンデ空氣ヲ計リタイト云フコ

トデゴザイマス、御異議ガナケレバ、許スコトニ致シマス」ト告ケ異議ナカリシヲ以テ議長ハ同日其ノ入場ヲ許可シタリ

第四十二回議會　大正八年十二月二十四日議長（大岡育造君）ハ「諸君ニ御斷リヲシテ置クコトガゴザイマス、本議場ノ空氣其ノ他衞生上ノ試驗ヲスル爲ニ衞生試驗所ノ技師ヲ入場ヲ致サセマス」ト告ケタリ

五七三　議長議事若ハ議場整理ニ關シ辯明又ハ注意ス

議事若ハ議場整理ニ關シ議長辯明又ハ注意シタル事例各會期ニ於テ尠ナシトセス

第三十一回議會　大正三年二月十二日（大正三年度豫算案上程セラレタル當日）日程ニ入ルニ先チ議長（大岡育造君）ハ「（前略）**此序デニ**私ハ議場ノ整理ノ爲ニ一言ヲ致シテ置キマス本日ノ議場ノ形勢モ亦甚ダ靜肅ヲ保ツニ困難ナル狀態デアリマス已ムヲ得ザレバ遂ニ警戒ヲ加ヘ注意ヲ與ヘ警戒ヲ加ヘテ尙議場整理ノ妨ヲナス人ノアル場合ニハ據所ナク退場ヲ命ジマス……何卒斯樣ナコトノナイヤウニ十二**分**ニ諸君ハ**此大切**ナル議事ヲ御討論ニナッテ圓滿ニ進行スルヤウニ偏ニ希望致シマス」ト注意セリ

第三十七回議會　大正四年十二月二十七日臨時軍事費豫算追加案外五件ノ質疑終了ノ動議ニ付採決ノ際閉鎖ヲ破リタル者アリトテ懲罰ノ動議出テ之カ少數ニテ否決トナリタルニ對シ異論百出セシカ就中林毅陸君カ議長ハ何ソ速ニ議事ノ進行ヲ圖ラサルノ言ニ對シ議長（島田三郎君）ハ「——議長ハ自己ノ意思ニ依ツテ別ニ考ヘル所ガアッテモ議會ノ**行動**ハ又別デアリマス總テノ事ハ院議ニ從ッテ、總テ側カラ問題ヲ決スル積リデアリマス**其事ヲ決スル爲**ニ順序ヲ立テルノデアルガ、**四方**囂々トシテ**立ツ**能ハザル有樣デアリマス、後略」ト述ヘ暫時休憩ヲ宣告セリ

第四十四回議會　大正十年二月十九日武富時敏君外八名提出決議案（內閣不信任ノ件）ノ會議ニ於テ議長（奧繁三郎君）ハ「……反對黨ノ演說ガ耳ニ逆フコトガアッテモ忍ンデ御聽ニナルコトヲ望ミマス……尙諸君ニ一應注意致シマス、武富君ハ過日來御病氣デアッタヤウデス、敬意ヲ拂ッテ靜ニ御聽下サルコトヲ望ミマス」ト注意セリ

五七四　議長傍聽人ノ件ニ付辯明ス

第四十二回議會　大正九年二月十四日武富時敏君外六名提出衆議院議員選擧法中改正法律案ノ將

ニ會議ニ付セラレムトシタル際高松正道君ハ議事ノ進行ニ關シ發言ヲ求メ「本日國民ノ權利ニ關シマスル普通選擧法案ノ上程セラルヽニ際シマシテ、國民ハ齊シク此重大法案ノ議事ヲ聽カンコトヲ希望シテ、此議院ニ蝟集スルモノデアリマス、然ルニ聞ク所ニ依リマスレバ、本日傍聽席内ニハ、多數ノ私服警官ガ潜伏シテ居ルト云フ風說ヲ聞クノデアリマス、此點ニ就キマシテ私ハ議院法第八十六條ニ依テ、議長ハ之ヲ指揮ヲサレタノデアリマスカ、若ハ議院規則第百八十條乃至第百八十五條ノ條項ニ依リマシテ、之ヲ御許シニナッタノデアリマスカ、果シテ然リト致シマスルナラバ、吾々ハ此議場ノ神聖ヲ保ッ上ニ於テ、此事態ヲ明カニシタイト思フノデアリマス、苟モ我憲法ニ依ッテ保障セラレテ居ル所ノ此議場ハ、至ッテ神聖ナモノデアルニ拘ラズ、此風說ノ如クンバ、吾々ハ警官ノ監視警官ノ壓迫ノ裡ニ此法案ヲ進ムルト云フコトハ、甚ダ心外ナ事デアラトウ思フノデアリマス、此點ニ就キマシテ、明快ナル御答辯ヲ煩シタイト思ヒマス」ト述ヘタルニ議長（大岡育造君）ハ「奇怪ナ事ヲ承ルモノデアリマス、此議場ニハ内外人、官民、苟モ傍聽券ヲ持ッテ居ラヌ者ヲ入レタコトハ無イ筈デアリマシテ、此處ニ潜伏スルモノナドノアル筈ハナイノデアリマス御安心下サイ」ト告ケタリ

參看　六一〇號、六一一號

五七五　議場騷擾ノ爲休憩ス

議場騷擾ノ爲議長一時休憩ヲ宣告スルハ每會期其ノ例尠カラス

五七六　議長議員ノ發言ヲ禁止ス

第三十六回議會　大正四年六月九日岸本賀昌君提出衆議院議員選擧法中改正法律案ノ第一讀會ノ續キノ會議中武藤金吉君ハ本案贊成ノ演說中議長（島田三郎君）ヨリ再度ノ注意ヲ受ケタルモ尚命ニ從ハサルヲ以テ議長ハ「第八十七條ノ明文ニ依テ制止ニ從ハザル議員ノ發言ヲ一日ダケ禁止致シマス」ト宣告シタリ

第四十六回議會　大正十二年二月二十日床次竹二郎君外十一名提出產業組合中央金庫法案第一讀會ノ會議ニ於テ星島二郎君ノ質疑ニ對スル横田千之助君ノ應答中副議長（松田源治君）ハ田淵豐吉君ニ對シ發言ヲ禁止スル旨ヲ宣告セリ

參看　二九九號、三一六號、三一七號

五七七　議長議員ノ發言禁止ヲ解ク

第三十一回議會　大正三年二月十六日政府提出營業稅法中改正法律案外十件ノ會議ニ於テ議長（大岡育造君）ハ黑須龍太郎君ニ對シ警告又ハ注意ヲ與ヘ堀切善兵衞君ノ演說中「黑須君ニ注意致シマス發言ヲ禁止シマス」ト命シ休憩後ノ會議ニ於テ「先刻黑須龍太郎君ノ發言ヲ禁ジマシタガ議事ノ進行上一旦休憩ヲ致シマシタカラ休憩限リヲ以テ解キマス」ト告ケ之ヲ解除シタリ

第四十四回議會　大正十年一月二十六日國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ノ會議ニ於テ橋本喜造君ノ質疑ニ對シ山本農商務大臣ノ答辯中議長（奧繁三郎君）ハ中野寅吉君ニ對シ發言ヲ禁止スル旨ヲ宣告シタル後安藤正純君ノ質疑ニ對シ中橋文部大臣ノ答辯ヲ爲サムトスルニ當リ「中野寅吉君先刻發言ヲ禁止シマシタ、ソレハ前ノ農商務大臣ノ答辯中ノ事デアリマス……」ト告ケタリ

五七八　議長議場ノ喧騷ヲ制止スル爲振鈴ス

議場喧騷シ議長靜肅ヲ注意スルコト數次ニ及フモ尙靜肅ニ至ラス喧騷滋々甚シキトキハ振鈴ス左ノ場合是ナリ

第一回議會　明治二十三年十二月一日衆議院規則起草委員選擧ノ件ニ關スル會議ニ於テ傍聽ヲ許スヤ否ノ討議中、同年二月六日及同月二十一日豫算案ノ會議中

第二回議會　明治二十四年十二月二十二日豫算案歲出經常部海軍省所管ノ會議ニ於テ樺山海軍大臣ノ演說中

第三十一回議會　大正三年二月十四日關直彥君外五名提出營業稅法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ伊藤大八君提出十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スヘシトノ動議ニ對シ川原茂輔君ヨリ討論終局ノ動議出テ其ノ採決ニ付テノ宣告中

第四十二回議會　大正九年二月十四日坂本金彌君提出衆議院議員選擧法案ヲ委員ニ付託シタル後小山松壽君、三木武吉君ヨリ議事ノ進行ニ關シ發言中

第四十五回議會　大正十一年二月十四日早速整爾君提出及大口喜六君提出豫算返付ノ動議採決中（號鈴ヲ鳴ラスコト二回）

振鈴ハ議長躬ラ之ヲ爲スモノトス

第二十五回議會　明治四十二年三月十八日議事日程ノ會議ニ入ルニ先チ松田源治君ハ「ソレデハ號鈴ハ副議長タル肥塚君ガ命ジテ號鈴ヲ振ラシタモノデアルカドウカト云フコトガ質問ノ一デゴザイマスソレカラ若シ第二議長タル職分ヲ行フトコロノ副議長ガ命ジテ號鈴ヲ振ラセル

モノトシタナラバ此號鈴ト云フモノハ書記官ガ代理スルト云フコトガ出來ルカドウカト云フコトガ第二ノ質問デアル」トノ問ニ對シ議長（長谷場純孝君）ハ次ノ會議日ニ於テ「第一問ニ付テハ本職不在中ノ出來事デアリマシタカラ當時ノ狀況ヲ副議長及書記官長ニ質シタルニ副議長ハ振鈴ヲ命ジタル覺ナシトノコトデアリマス、書記官長ノ云フ所ニ依レバ振鈴ハ事實デ津久井書記官ガ鈴ヲ振タト云フコトデアリマス同書記官ノ始末書及上申書ヲ徵シテアリマス之ヲ見マスト津久井書記官ハ全ク副議長ヨリ命令ヲ受ケタルモノト心得テ振鈴シタノデアリマス併シ副議長ハ之ヲ命令セヌトノコトデアリマス第二問ノ振鈴ハ議長自ラ爲スヘキモノナルヤ否ニ付テハ本職ハ議院ノ神聖ヲ保ツ爲ニ議長躬ラ爲スベキモノト信ジマス」ト答ヘ松田源治君ハ答辯ニ滿足シタル旨ヲ述ヘタリ

五七九　議員ノ身上ニ關スル議事中ト雖關係議員ハ退席スルヲ要セス

第二十三回議會　明治四十年三月十九日議員ノ行動カ本院ノ體面ニ關スルモノアリトシ委員ヲ設ケテ之ヲ調査セシメタル件院議ニ付セラレタルニ關係議員ハ孰レモ議席ニ著ケリ（總テ八名內一名ハ病氣缺席）而シテ其ノ表決ニ際シ神崎東藏君ヨリ高梨哲四郎君外七名ノ諸君ハ自己ノ身上ニ關スルモノナルヲ以テ當然此ノ表決ニ加ハラサラムコトヲトノ動議ヲ提出シ贊成者アリ成立シタルモ後神崎君ハ前ノ發言ハ德義上當然退席セラレテ然ルヘシトノ意味ナリ依リテ議長ヨリ更ニ退席ノ勸告アリタシト述ヘタルニ議長（杉田定一君）ハ「德義上自カラ退クノハ兎モ角モ議長カラ退場然ルベシト云フコトハ申サレマセヌ、ソレデ神崎君ノ說ニ付イテハ採決シマセヌ」ト告ケ關係議員ハ退席ヲ爲ササリキ

參看　三八二號ノ一（一九、五九四號）

五八〇　議員自己ノ行動ニ付陳謝ス

第二十七回議會　明治四十四年三月十六日政府提出軍人恩給法中改正法律案ノ會議ニ於テ寺內陸軍大臣ハ發言ニ際シ藏原君ヲ音讀シ次テ訓讀シタルモ藏原君ハ其ノ取消ヲ求メ且議長ノ許可ヲ經ス登壇セルニ依リ議長（長谷場純孝君）ハ著席ヲ命シ之ヲ聽カサリシヲ以テ守衞長ヲシテ退去セシム然ルニ菅原傳君ハ「藏原君ノ行爲ハ謝罪スベキ價ハアルト思ヒマス……願クハ議長ヨリ藏原君ニ謝罪ヲ述ベラレルコトヲ要メラルヤウ……」ト發議シ議長ハ「此場合ニ於テ藏原君ハ相當ノ謝意ヲ御述ベニナ方ガ議長ルモ議院ノ神聖ヲ保ツタメニ……議場ニベニ御述ナル方ガ宜カ

ラウト思フ」ト注意シ菅原君ハ藏原君ノ聲明ニ對シ更ニ議長ニ請求シ議長ハ「藏原君ハ潔ク此議場ノ神聖ニ對シテ一言謝辭ヲ述ベラレルハ相當デアラウト思ヒマスカラ更ニ注意ヲ與ヘマス」ト告ケタルニ藏原君ハ「私ハ謝意ヲ表スルト云フコトヲ諸君ニ聲明スル」ト述ヘタリ

第二十八回議會（明治四十五年二月十二日）第四十四回議會（大正十年二月十二日）同一ノ事例アリ

五八一　院議ヲ以テ引用文書ノ發表ヲ命シ又ハ議員ニ處決ヲ促ス

院議ヲ以テスル場合ハ議員ハ執レモ院議ヲ遵守スルヲ例トスルモ左ノ場合ハ院議ヲ遵守セサル爲懲罰委員ニ付セラル

第三十一回議會　大正三年二月二十一日ノ會議ニ於テ奥繁三郎君提出院議ヲ以テ藏原惟郭君ニ其ノ引用シタル文書發信人ノ氏名住所日附宛名等全部ヲ明カニセシムヘシトノ動議多數ヲ以テ可決セラレ議長（大岡育造君）ハ「……仍テ藏原君ニ院議ヲ以テ……其信書ノ卽チ發信人ノ氏名住所日附宛名ヲ全部明カニスルコトヲ命ジマス」ト宣告セルニ藏原君ハ院議ハ尊重スヘキモ國家ノ爲暫ク保留シ置ク旨ヲ述ヘ議長更ニ之ヲ注意セルニ發表ノ機會ハ之ヲ保留スト云ヒ議長ハ「院議ノ執行ニ此ノ如ク注意ヲ與ヘテモ……再三君ノ爲ニ注意ヲ致シマス——藏原君ハ此ノ如ク懇切ニ注意ヲ與ヘ勸告ヲスルト雖モ尙院議ニ從ハザルモノト見ザルコトヲ得ヌノデ甚ダ私ハ悲シミマスガ現ニ此ノ如キコトハ諸君ノ實見セラルル通リデアリマス」ト告ケ村松恆一郎君ハ發信者ノ氏名發表ヲ當然ト思惟スルノ意見ヲ述ヘ次テ奥繁三郎君ノ動議ニ依リ藏原君ハ議院ノ命令ニ抵抗セルヲ以テ懲罰事犯トシテ懲罰委員ニ付セラレタリ委員會ハ同月二十四日同君ヲ出席停止二週間ニ處スヘキモノト決シ同日ノ本會議ニ於テ委員會報告ノ通議決セリ

第四十三回議會　大正九年七月二十六日ノ議會ニ於テ日程ヲ變更シテ小川平吉君ハ同月二十三日島田三郎君提出高橋大藏大臣、山本農商務大臣、中橋文部大臣瀆職ノ嫌疑ニ關スル質問ハ虛構ノ言說ヲ以テ人ノ名譽ヲ傷ケ議院ノ神聖ヲ汚シタルモノト認ム島田三郎君ハ右質問ニ對シ速ニ引責處決スヘシトノ決議案ノ趣旨ヲ辯明シ翌日ノ會議ニ於テ議長（奥繁三郎君）ハ本案ハ之ヲ可決シタル旨ヲ宣告シタルニ島田君ハ「——本員ハ此不當ノ決議ニ服從シマセヌ」ト述ヘ一時休憩後川原茂輔君ノ動議ニ依リ島田君ハ院議ヲ無視シタルモノトシテ懲罰委員ニ付セラレタリ委員會ハ翌二十八日同君ヲ除名スヘキモノト決シ報告書ヲ議長ニ提出シタルモ會期終了ノ爲本會議未決ニ終レリ

參看　五八九號、五九〇號

五八二　議長ノ制止ニ從ハス議場ノ妨害ヲ爲ス者ハ退場ヲ命セラル

議長ノ制止ニ從ハス議場ノ妨害ヲ爲ス者退場ヲ命セラルルコトハ每會期其ノ事例尠カラス

第三回議會　明治二十五年六月二日議長ノ處置ノ當否ニ關スル採決ノ宣告ニ對シ異議アリタルヲ以テ更ニ氏名點呼ヲ命シタルニ議場益々沸騰シ氏名ヲ點呼スルモ贊否ノ聲ヲ聽取スルコト能ハサルヨリ議長（星亨君）ハ「私ノ今迄爲シタルコトハ好シ孰レデアッテモ諸君ハ議場ノ神聖ヲ欲スルガ故ニ議長ハ退場ヲ命ズル積デアル」ト告ケ氏名點呼ヲ繼續シ尙妨害ヲ爲シタル議員五名ニ退場ヲ命シタリ

第十三回議會　明治三十一年十二月十五日門馬尙經君ハ議長ノ許可ヲ得スシテ發言シ議長ノ制止ニ從ハサリシヲ以テ副議長（元田肇君）ハ同君ニ退場ヲ命シタリ又同月十六日重野謙次郎君議院內面談所ノ傍ニ於テ毆打セラレタルノ報告ニ對シ星亨君ハ「イヅレ反對黨ノヤツ等デセウ」ト云ヒシニ田中正造君ハ「只今ノ星亨君ノ言ハ何デス反對黨トハ何ヲ云フノデアル是ハ一通リ聞イテ置カネバナラナイ」ト云ヒツツ議長席ノ前ニ至リ議長ニ對シ「反對黨トハ何ダ」ト連呼シ議長ノ制止ヲ肯セサリシヲ以テ議長（片岡健吉君）ハ「田中君ニ退場ヲ命ジマス」ト宣告シタリ

第四十六回議會　大正十二年三月二十六日安達謙藏君外四名提出決議案ノ會議ニ於テ議長（粕谷義三君）ハ討論終局ノ動議ヲ採決スヘキ旨宣告ヲ爲セルニ佐々木安五郎君ハ先ニ質疑ノ通告ヲ爲シタリトテ登壇シ議長ハ再三降壇ヲ命シタルモ其ノ命ニ從ハサルニ依リ「佐々木君ニ退場ヲ命ジマス」ト宣告セリ

五八三　退場ヲ命セラレタル議員ハ其ノ事件終了シタルトキ再ヒ入場ヲ許サル

第四十三回議會　大正九年七月二十八日ノ會議ニ於テ小山松壽君身上ニ付テノ發言中三輪市太郎君退場ヲ命セラレタルモ小山君ノ演說終ルヤ議長（奧繁三郎君）ハ「曩ニ三輪君議長ノ命令ニ從ヒマセナンダカラ退場ヲ命ジマシタケレドモ……三輪君ノ入場ヲ許可セリ

第四十四回議會　大正十年一月二十九日政府提出臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ中野正剛君ノ質疑中佐々木安五郎君ニ對シ退場ヲ命シタルモ其ノ後押川方義君提出植民省設置ニ關スル建議案ノ議事ニ入ルニ先チ議長（奧繁三郎君）ハ「……押川君ト同志ノ佐々木安五

郎君ニ退場ヲ命ジマシタガ押川君ノ演説此時ヨリ以後出席ヲ許シマス」ト告ケ入場ヲ許可セリ

五八四　議長退場ノ命ヲ取消シ特ニ注意ヲ爲ス

議長議場ノ靜肅ヲ注意、警告シ議員其ノ制止ニ從ハサルトキハ退場ヲ命セラル然ルニ左ノ場合ニ於テハ同僚ノ保證アルニ依リ特ニ退場ノ命ヲ取消シタリ

第三十一回議會　大正三年二月十日關直彥君外五名提出決議案ノ議事中議長（大岡育造君）ハ本案ハ大切ノ問題ナルニヨリ非常ノ注意ヲ以テ靜肅ヲ保タムコトヲ求メ屢々靜肅ヲ注意セリ然ルニ松田源治君反對ノ演說中議長ハ又靜肅ヲ注意セルモ尙議場騷擾シ終ニ黑須龍太郎君ニ對シ退場ヲ命シタリ其ノ執行中議長ハ「侭テ黑須君ハ屢々其席ヲ離レテ彼ノ通リノ行動ヲ爲サレタニ依ッテ私ハ退場ヲ命ジタノデアリマス併シナガラ名譽アル同志會ノ總務武富時敏君ガ來ッテ以來ハ靜ニサセルト云フコトノ保證ガアリマスカラ暫ク前ノ命令ヲ取消シテ後ノ靜肅ヲ待チマス」ト宣告シ退場ノ命ヲ取消シタリ

五八五　議長ハ退場ヲ命セラレタル議員ニ對シ退席中ノ經過ヲ報告セス

第三回議會　明治二十五年六月二日退場ヲ命セラレタル田中正造君ハ議長ノ許可ヲ得テ入場シタルトキ「唯今闕席中ニドウ云フ結果ニナリマシタ――氏名黙呼ハ――出席人ハ幾人デアッテドウ云フ……聽カナケレバ分ラヌ」ト問ヒタルニ議長（星亨君）ハ、退場ヲ命ジタノデアルカラ其ノ間ニ起ッタコトハ報告ヲスル必要ハナイ書記官ノ所デ御聽ニナッタガ宜イ」ト告ケ之ヲ報告セサリキ

五八六　退場ノ命令ニ從ハサルトキハ守衞之ヲ執行ス

議長ノ制止ニ從ハサル議員ニ退場ヲ命シ議員之ニ從ハサルトキハ守衞ハ議長ノ命ニ依リ强制シテ退場ヲ爲サシム

第三回議會　明治二十五年六月二日議長ノ處置ニ關シ其ノ是非ヲ院議ニ諮ヒタルニ異議申立アリタルニ依リ更ニ氏名點呼ノ際議長（星亨君）ハ尾崎行雄君ニ退場ヲ命シタルニ尾崎君ハ「腕力ヲ以テスルノ外決シテ動カヌ」ト應セサルヨリ議長ハ「宜シイ引出セ」ト守衞ニ命シ退場セシメタリ尙相次テ福田久松君、田中正造君、鈴木萬次郎君ニ退場ヲ命シ孰レモ守衞ヲシテ退

場セシメタリ

第十三回議會　明治三十一年十二月十六日議員重野謙次郎君負傷ノ件ノ報告ニ際シ星亭君ハ「イヅレ反對黨ノヤツ等デセウ」ト言ヒタル言辭ニ對シ田中正造君ハ議長席ニ殺到シテ其ノ發言ノ許否ニ付質疑ヲ爲シタルニ議長（片岡健吉君）ハ「席ヘ御著キナサイ……此處デハ應接ヲシマセヌ」……「田中君ニ退場ヲ命シマス……引摺出セ」トテ守衞ヲシテ退場セシメタリ

第二十八回議會　明治四十五年豫算案ノ會議中遠藤良吉君ハ自席ヲ離レテ他ノ席ニ至リ怒號シ且齋藤宇一郎君ヲ毆打セシカハ議長（大岡育造君）ハ「遠藤君ニ退場ヲ命シマス……守衞長議長ノ命令ヲ執行セヨ」トテ守衞長ヲシテ退場セシメタリ

第三十六回議會　大正四年六月九日武藤金吉君ノ演說中議長（島田三郎君）ハ同君ニ對シ屢々注意ヲ爲シタルモ之ニ應セサリシ爲「演壇ニ於テ數々注意ヲ與ヘテ其命ニ從ハス更ニ禁止スルト云フ命ヲ下セハ禁止セラルル理由ガナイト此處デ拒マレルノデアリマスソレ故第三ノ手續トシテ退場ヲ命ジタノデアリマス――更ニ退場ヲ命シテ守衞ノ執行ヲ拒マルルデアリマスカ」ト告ケタルモ同氏尚退場セス議場騷然タリシヲ以テ暫時休憩ヲ爲シ更ニ開會シテ「先刻議長ノ命ヲ御拒ミニナッタニ付テ懲罰委員ニ付スルコトニ致シマスト宣告シタリ

五八七　院內警察ニ關シ特別調査委員會ヲ設ク

第四十二回議會　大正九年二月十九日會議ノ始ニ於テ議長（大岡育造君）ハ「去ル十四日院內ニ生ジタル警察事項ニ關スル調査ヲ爲シ、將來斯ノ如キ事態ノ發生ヲ避クル途ヲ講ズル爲メ、特別委員ヲ設置スルト云フコトデアリマス、御異議アリマセヌカ」ト諮リ岩崎勳君ノ發議ニ依リ議長指名十八名ノ委員ニ付託スルニ決シタリ

參看　三八二號ノ(一)

第二節　懲罰

五八八　議場、委員會及部會ノ外ニ起リタル事件ハ之ヲ懲罰委員ニ付セス

第四十二回議會　大正九年二月十四日院內廊下ニ於テ起リタル事件ハ議場外ニ生シタルノ故ヲ以テ議長（大岡育造君）ハ之ヲ懲罰委員ニ付スルコトナク特別調査委員會ヲ設置シ同委員ニ付託シテ其ノ審査ヲ命シタリ

第四十五回議會　大正十一年一月二十五日院內喫煙室ニ於テ起リタル事件ニ關シ本田恒之君ヨリ

懲罰委員ニ付スヘシトノ動議ヲ提出シタルニ對シ中西六三郎君ハ「――併ナカラ本會々場ニ非ズ、委員會ニ非ズ、部會ニ非ズ、唯タ公ナル會議ノ席ノ以外ニ於キマシテ、單ニ個人トシテ行動シタル事柄ハ……議院警察ノ支配ヲ受ケル事ガアラウガ、所謂議員ノ本分ニ對スル懲罰事犯トシテ之ヲ懲罰ニ付スル何等ノ規定ヲ見出スコトガ出來ナイ……提案者ハ何ノ規定ニ依ツテ此提案ヲ爲サレタカ」ト質疑シ本田君ハ衆議院規則第二百六條ニ基ツキ提案シタル旨ヲ答ヘタルニ中西君ハ「法規ニ根據ナキ此提案ニハ反對致シマス」ト述ヘ採決ノ結果懲罰委員ニ付スヘカラストノ議決シタリ、

五八九　議長職權ヲ以テ懲罰委員ニ付ス

議員ハ二十人以上ノ贊成アルニ非サレハ懲罰ノ動議ヲ提出スルコトヲ得サルモ議長ハ議事規則又ハ議場ノ秩序ヲ紊ルモノニ對シ警戒シ制止シ又ハ發言ノ取消ヲ命シ之ニ從ハサルトキハ職權ヲ以テ直ニ懲罰委員ニ付スルコトヲ得而シテ之ヲ委員ニ付シタル場合ヲ擧クレハ左ノ如シ

第十三回議會（明治三十一年十二月十五日門馬尚經君）、第三十一回議會（大正三年二月十四日綾部惣兵衞君）、第三十六回議會（大正四年六月九日武藤金吉君）、第三十七回議會（大正四年十二月七日佐々木安五郎君）、第四十四回議會（大正六年七月十三日横山勝太郎君）、第四十九回議會（大正十年一月二十七日鈴木富士彌君）（三月十七日中野寅吉君）（三月十七日三木武吉君）（三月二十四日佐々木千秀君）、第四十五回議會（大正十一年一月二十三日中野寅吉君）（二月二十三日清瀨一郎君）、第四十六回議會（大正十二年二月二十七日樋口伊之助君）（三月二十六日佐々木安五郎君）

五九〇　院議ヲ以テ懲罰委員ニ付ス

議院ノ體面ヲ汚シ、議場ノ騷擾ヲ釀シ、議院ノ命令ニ抵抗シ若ハ無禮ノ言語ヲ用キ又ハ無屆闕席等ノ理由ニ依リ懲罰委員ニ付スルノ動議成立スルトキハ衆議院規則第百九十六條ニ依リ議長ハ討論ヲ用キスシテ議院ノ決ヲ取リ委員ニ付スルヤ否ヲ決ス而シテ院議ヲ以テ之ヲ委員ニ付シタル場合ヲ擧クレハ左ノ如シ

（一）　議院ノ體面ヲ汚シタル者

第五回議會（明治二十六年十二月二日鳩山和夫君外三名提出）（十二月十二日高田早苗君提出）、第十三回議會（明治三十一年十二月十六日井上角五郎君提出）、第二十五回議會（明治四十二年

三月二十四日日向輝武君提出）、第二十八回議會（明治四十五年二月十二日齋藤宇一郎君提出）、第四十二回議會（大正九年二月十四日古島一雄君外一名提出）、第四十三回議會（大正九年七月九日鵜澤總明君提出）、（七月二十四日高見之通君提出）、第四十五回議會（大正十一年二月十六日井上剛一君提出）

（二）議院ノ騷擾ヲ釀シタル者

第五回議會（明治二十六年十二月十二日大岡育造君提出）、第三十六回議會（大正四年六月九日小林勝民君提出）、第三十七回議會（大正四年十二月十八日福田又一君提出）、第四十五回議會（大正十一年二月十六日熊谷直太君外一名提出）

（三）議院ノ命令ニ抵抗セル者

第三十一回議會（大正三年二月二十一日奥繁三郎君提出）、第四十三回議會（大正九年七月二十七日川原茂輔君提出）、第四十五回議會（大正十一年二月十六日清瀬一郎君提出）（二月二十五日渡邊修君外三名提出）

（四）無禮ノ言語ヲ用ヰタル者

第三十九回議會（大正六年七月十二日横田千之助君提出）、第四十回議會（大正七年二月二十三日望月長夫君提出）、第四十四回議會（大正十年一月二十七日龍野周一郎君提出）、第四十六回議會（大正十二年二月二十七日高見之通君提出）

（五）無屆闕席ノ議員

第一回議會（明治二十四年三月一日高梨哲四郎君提出）

五九一　懲罰委員ニ付スルノ動議起ルトキハ發言中又ハ表決中ト雖討論ヲ用ヰスシテ直ニ之ヲ採決ス

第一回議會　明治二十四年二月四日山田東次君提出豫算案ノ表決ニ關スル動議ノ氏名點呼中鹽田奥造君ハ隣席ノ議員ニ代リテ點呼ニ應シタルヲ以テ太田實君ヨリ同君ヲ懲罰委員ニ付スヘシトノ動議ヲ提出シ議長（中島信行君）ハ點呼ヲ終リタル後之ヲ採決スヘシト告ケタルニ異議アリタルニ依リ點呼ヲ中止シ懲罰委員ニ付スルノ動議ニ付テ採決ヲ爲シタリ

爾來議員ノ發言中此ノ動議起ルトキハ其ノ會議又ハ發言ヲ中止シ討論ヲ用ヰスシテ直ニ之ヲ採決ルヲ例トス

五九二　議長懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ保留ス

第三十一回議會　大正三年二月十六日政府提出營業稅法中改正法律案外十件ノ會議ニ於テ武藤金吉君ハ議員藏原惟郭君、鈴木萬次郎君懲罰事犯ノ件ヲ卽今院議ニ付スヘシトノ動議ヲ提出シ議長(大岡育造君)ハ討論ヲ用キス直ニ之ヲ採決セムトセルニ鈴置倉次郎君ハ「昨日此稅法ノ各案ガ議了スルマデハ動議若クハ質問ト云フモノハ禁ジテアル筈ト存ジマス仍テ今武藤君ノ動議ノ出ズベキ筈ハナイト思ヒマス」トノ注意ヲ爲シ武藤君ハ「此營業稅外九件ノ議了スルマデハ議長ノ御手許ニ保留ヲ願ヒマス」ト述ヘ議長ハ本議場ニハ重大ノ問題ノ横ッテ居ルガ爲メニ格別ナル動議ガ提出サレテソレガ決定サレテ居リマスカラシテ御說明ハ聽キマシタケレドモ是ハ今取上グベキ問題ニハナラスト信ジマス」ト宣告セリ翌十七日ノ會議ニ於テ川原茂輔君ハ昨日武藤金吉君ヨリ提出ノ懲罰事犯ノ動議成立セルヤ否ニ付質疑ヲ爲シタルニ議長(大岡育造君)ハ「……議長ノ見解ハ……同ジ意味ニ於テ預ッテ居ルノデアリマス……武藤君ガ動議ヲ出サルルコトニ付テハ勿論權利デアリマスケレドモ之ヲ取上ゲテ議ニ付スルノ時ニアラズト云フ意味ヲ以テ御答ヲシタノデアリマス御承知ニナリマシタカ」ト告ケ又小河源一君ヨリ武藤君ノ緊急動議ハ成立セルモノニアラストノ意見ヲ述ヘシニ議長ハ「ソレハ事實ヲ能ク報告ヲ致シテ置キマスガ昨夜案ヲ具ヘテ持出サレタノデアリマス而シテ其提出者ハ……外二十三名ノ連記贊成ガ表シテアリマス其事實ハ御承知ヲ願ヒマス」ト辯明シ該動議ハ成立シタルモノトシテ議長ニ於テ保留シタリ但シ動議ハ院議ニ付スルニ至ラサリキ

五九三　懲罰委員ニ付スルノ動議ニ對シテハ其ノ議員ノ辯明ヲ許ス

衆議院規則第百十一條ニ依レハ懲罰事犯アリト告ケラレタル議員ハ辯明ノ爲ニ數回ノ發言ヲ爲スコトヲ得トアリ從テ第一回議會以來懲罰委員ニ付スルノ動議提出セラレタルトキハ事犯アリト告ケラレタル議員ハ概ネ辯明ヲ爲セリ而シテ事犯アリト告ケラレタル議員ハ概ネ辯明ヲ爲セリ而シテ事犯アリト告其ノ採決ヲ後日ニ延期シタルコト第四十五回ニ三件アリ然ルニ第一回議會明治二十四年二月四日太田實君ヨリ鹽田奥造君ヲ懲罰委員ニ付スヘシマノ動議ヲ提出セルトキ議員中ヨリ鹽田君及鹽田君ニ關聯セル兩名ヲシテ辯明セシムヘシトシタルニ議長(中島信行君)ハ被告ニ關聯セル本問直君ノ辯明ヲ許シタルモ鹽田奥造君ニ對シテハ「此ノ動議ニ就テ懲罰事犯ナリト認メラレタノデアリマスカラ辯明ヲスル場合デナイ」ト告ケ同君ニ辯明ヲ許ササリキ

五九四　懲罰委員ニ付スルノ動議ヲ採決スル場合ニハ其ノ議員ハ退席スルヲ

要セス

第二十五回議會　明治四十二年三月二十四日藏原惟郭君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議ノ採決ニ際シ鳩山和夫君ヨリ藏原君ノ退席ヲ求メタルニ議長（長谷場純孝君）ハ「唯此場合ニ於テ本人ヲ議場ニ在席セシムルヽセシメヌハ規則ニ依ッテ議長ノ考デ差支ナイト思フ此採決ノ場合ニハ差支ナイト思ヒマス」ト告ケ退席セシメサリキ

參看　五七九號

五九五　守衞ノ公務執行ヲ妨クル者アルトキハ議長之ヲ懲罰委員ニ付ス

議長議員ニ對シ退場ヲ命シタル場合ニ其ノ命ニ從ハサルトキハ守衞ヲシテ之ヲ執行セシム而シテ守衞ノ執行ニ際シ尚之ヲ妨クル者アルトキハ懲罰事犯ト認メ懲罰委員ニ付スルモノトス

第三十一回議會　大正三年二月十二日議長（大岡育造君）ハ「……已ムヲ得ザレバ遂ニ警戒ヲ加ヘ注意ヲ與（警戒ヲ加ヘテ尚議場整理ノ妨ヲナス人ノアル場合ニハ據處ナク退場ヲ命ジマス若シ其退場ノ命ニ應セラレザル場合ニハ更ニ命令ヲ下シテ守衞ヲ差向ケマス此守衞ノ公務ノ執行ヲ妨ゲル人ガアレバ之ヲ一ノ懲罰事犯ヲ認メテ懲罰委員ニ付スルコトニ致シマス……」ト宣告セリ

參看　五八二號、五八六號、五九〇號

五九六　議長懲罰事犯アリト認メ會議ヲ中止ス

第三十一回議會　大正三年二月十四日關直彥君外五名提出營業稅法廢止法律案外十件ノ會議ニ於テ伊藤大八君提出十二時ヲ經過スルモ議事ヲ延長シテ各案ヲ議了スヘシトノ動議ニ對シ川原茂輔君ヨリ討論終局ノ動議ヲ提出シ議長（大岡育造君）其ノ採決ニ付テ宣告中議場騷然、議員議長席ノ前ニ進ミ發言スル者多ク議長ハ「綾部君何ヲスルノデスカ」ト詰問シ（綾部惣兵衞君「壞ハレテ居タノダ怪シカラヌ」ト呼ヒ又「藏原ヲ懲罰ニ付スベシ」ト呼ブ者アリ）……（此時議長振鈴ス）議長ハ靜肅ヲ願ヒマス——各ミ御著席ヲ願ヒマス——唯今此議事ノ進行ノ紛擾ノタメデモアリマスケレドモ現ニ懲罰事犯ガアリマシタ綾部惣兵衞君ガ現ニ投票函ヲ踏蹂ッテ斯ノ如クデアリマス仍チ綾部惣兵衞君ヲ懲罰委員ニ付シマス」ト告ケ會議ヲ中止シテ散會ヲ宣告シタリ

五九七　委員會ニ於テ起リタル懲罰事犯ハ委員長ノ報告ヲ俟テ議長ハ直ニ懲

罰委員ニ付ス

第三十九回議會　大正六年七月十三日議長（大岡育造君）ハ「懲罰委員長ヨリ同委員會ニ於テ委員横山勝太郎君ノ懲罰事犯アリトノ報告ヲ受ケマシタ、議長ハ議院法第九十五條三項ニ依リ横山勝太郎君ヲ懲罰委員ニ付シマス」ト宣告シ同月十五日院議同君ヲ譴責ニ處シタリ

五九八　懲罰委員ノ審査ニ對シ期限ヲ付ス

第二十五回議會　明治四十二年三月二十四日（會期終了日）藏原惟郭君ヲ懲罰委員ニ付スルノ動議可決シ委員ノ審査中大岡育造君ハ「唯今懲罰委員ニ付セラレタル問題ヲ極メタイト思ヒマス六時迄ニ時ヲ限ッテ報告スヘキコトヲ可決シテ議長ヨリ委員會ニ御達シニナルコトヲ希望致シマス」トノ動議ヲ提出シ議長（長谷場純孝君）ハ之ヲ採決セシニ多數ヲ以テ可決シタリ

參看　三二四號

五九九　懲罰ハ其ノ議決ノ宣告ニ因リテ確定ス

懲罰ハ議決ノ宣告ニ因リテ執行セラル

第五回議會　明治二十六年十二月十三日星亨君除名ノ議決ヲ爲シタルトキ副議長（楠本正隆君）ハ「諸君是ヨリ公會ニ相成リマスル祕密ノ議決ノ結果ヲ宣告致シマス、星亨君ノ懲罰ノ件ハ委員長ノ報告ノ通リ星亨君ヲ除名スト決セリ」ト宣告シ卽日失格者タルノ手續ヲ爲セリ

第十三回議會　明治三十一年十二月十七日門馬尚經君、田中正造君懲罰事犯ノ祕密會議ニ於テ門馬尚經君ハ三日間、田中正造君ハ一週間ノ出席ヲ停止スヘキモノトノ議決アリタルトキ議長（片岡健吉君）ハ書記官ヲシテ退場セル兩君ニ其ノ身上ニ關ル議事ノ了レル旨ヲ通知セシメタルニ門馬尚經君ハ其ノ宣告前少時議席ニ著ケリ而シテ再ヒ其ノ議場ヲ退カムトスルトキ議長ハ「祕密會議ノ結果ハ書記官長ヨリ讀上ゲマス」ト宣告シ書記官長（林田龜太郎君）ハ其ノ議決文ヲ朗讀シ以後兩君ハ出席スルコトヲ得ス

第二十五回議會　明治四十二年三月二十四日藏原惟郭君ハ謝意ヲ表スヘキモノトノ決議ヲ爲シタルトキ議長（長谷場純孝君）ハ「藏原君モ著席ニナリマシタカラ前祕密會ニ於テ決定シタ事柄ヲ衆議院規則第二百七條ニ依ッテ宣告ヲ致シマス　此通リニ祕密會議ニ於テ決議ニナリマシタカラ藏原惟郭君ハ演壇ニ立ッテ、サウシテ此通リニ謝辭ヲ演ヘラレンコトヲ求メマス」ト宣告シ同君ヲシテ謝辭ヲ朗讀セシメタリ

第三十九回議會　大正七年七月十四日横山勝太郎君懲罰事犯ノ件ヲ院議ニ付シ委員長報告ヲ可決シタルニ依リ議長（大岡育造君）ハ「議院法第九十六條第一號ニ依リ横山勝太郎君ヲ譴責ス」ト宣告セリ

參看　一一三號

六〇〇　議員譴責セラル

第三十七回議會　大正四年十二月十四日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

議院法第九十六條第一號ニ依リ佐々木安五郎君ヲ譴責ス

第三十九回議會　大正六年七月十四日左ノ委員會報告ヲ可決シ議長宣告ス

議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ横山勝太郎君ヲ譴責ス

第四十二回議會　大正九年二月十九日左ノ少數意見ヲ可決シ副議長宣告ス

議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ赤尾彦作君ヲ譴責ス

第四十四回議會　大正十年三月二十三日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ議員中野寅吉ヲ譴責ス

第四十六回議會　大正十二年三月三日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員樋口伊之助君懲罰事犯ノ件（議長發議）

右ハ本院ニ於テ議院法第九十六條第一項第一號ニ依リ譴責スヘキモノト議決致候此段及報告候也

六〇一　議員ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

第二十五回議會　明治四十二年三月二十四日藏原惟郭君懲罰事犯ノ件ハ左ノ委員會ノ報告ヲ可決シ同君ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

本員ガ先刻「而シテ此内契約ノ成リ立ツ間ニ於テハ二萬五千圓ノ金ガ何者ノ手ニ支出セラレタト云フコトハ我輩ハ知ッテ居ルノデアル名前ヲ云フ必要ハナイ名前ヲ云ハヌデ分ラヌ樣ナ不賢明ナル代議士ハ此處ニナイト信ズル吾々ハ併シナガラ其間ニ立ッタ處仲介者タル其尊敬スベキ政治家ガ其二萬五千圓ノ金ヲ受取ッタガ其一部分ヲ懷ニシタト云フコトハ斷ジテ言ハナイコトヲ諸君記憶セヨ併シナガラ其二萬五千圓ノ金ハ闇カラ闇ニ出デテ何レニカ彷徨シテ居ルト云フコトハ私ハ信ズルコトガ出來ヌカラ何處ニカ二萬五千圓ハ安全ニ歸著シテ居ルダラウト信ズル是ハ如何ナル趣意デアリマスルカ」ト述ヘタルハ本院ノ體面ヲ汚シタル放言ニ

シテ恐縮ニ堪エス茲ニ前言ヲ取消シ謹テ謝意ヲ表ス

第三十一回議會　大正三年二月二十八日綾部惣兵衛君懲罰事犯ノ件ハ左ノ委員長報告ヲ可決シ同君ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

本員ガ大正三年二月十四日ノ營業稅法廢止法律案外九件地租條例中改正法律案ノ討議中議事時間延長ノ討論終結ノ動議ニ付議長ガ其ノ可否ヲ決セムトスル場合議員數十名ト共ニ議長席ニ進ミタルニ偶々演壇ノ下ニ既ニ何人ニカ破壞セラレタル投票函アルヲ認メ幾回モ之ヲ踏蹂リタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ恐縮ニ耐ヘス謹テ茲ニ謝意ヲ表ス

第三十九回議會　大正六年七月十三日齋藤隆夫君懲罰事犯ノ件ハ左ノ委員長報告ヲ可決シ同君ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

本月十二日本會議ニ於ケル決議案提出理由說明中予ガ爲シタル不穩ナル言動ハ議員ノ體面ヲ損シ議會ノ神聖ヲ汚シタルモノニシテ今ニ於テ之ヲ顧レハ洵ニ慚愧ノ至リニ堪ヘス茲ニ誠意ヲ披瀝シテ謹テ謝意ヲ表ス

第四十回議會　大正七年二月二十六日紫安新九郎君懲罰事犯ノ件ハ左ノ委員長報告ヲ可決シ同君ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

大正七年二月二十一日衆議院本會議ニ於テ議員村松恒一郎君ニ對シテ爲シタル言辭ハ無禮ニシテ議會ノ品位ヲ損スルモノナルニ因リ茲ニ謹テ陳謝ス

第四十四回議會　大正十年三月二十五日佐々木千秀君懲罰事犯ノ件ハ左ノ委員長報告ヲ可決シ同君ヲシテ謝辭ヲ述ヘシム

自分儀大正十年三月二十四日ノ會議中議長ノ發言禁止ノ命令ニ從ハス更ニ退場ヲ命セラレタルモ尙之ニ從ハス議場ノ秩序ヲ紊亂シタルハ議院ノ神聖ノ爲ニ恐縮ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭ヲ表ス

六〇二　議員出席ヲ停止セラルル

議院ノ命令ニ抵抗シ又ハ議院ノ騷擾ヲ釀シ若ハ議院ノ體面ヲ汚スヘキ所行アルモノハ就レモ出席ヲ停止セラルル

第五回議會　明治二十六年十二月五日左ノ委員長報告ヲ可決シ副議長宣告ス

衆議院議員星亨君ノ懲罰事犯ハ其情重キモノニ依リ衆議院規則第二百三條及第二百六條ニ依リ一週間ノ出席ヲ停止スヘキモノトス

第十三回議會　明治三十一年十二月十七日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

田中正造君カ本月十六日ノ議場ニ於テ議長ノ命令ヲ遵奉セサリシノミナラス議長ニ對シ暴行ヲ加ヘタルノ所爲ハ議院ノ體面ヲ汚スモノニシテ衆議院規則第二百六條ニ該當ス依テ本日ヨリ一週間同君ノ出席ヲ停止ス

第十三回議會　明治三十一年十二月十七日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

門馬尚經君カ本月十五日ノ議長ノ命令ヲ遵奉セスシテ議院ノ騒擾ヲ釀スニ至リシ所爲ハ衆議院規則第二百六條ニ該當ス依テ本日ヨリ三日間同君ノ出席ヲ停止ス

第三十一回議會　大正三年二月二十四日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

衆議院議員藏原惟郭君ハ大正三年二月二十一日ノ本會議ニ於テ政府ニ對スル質問演説中引證トシテ在官者某々數名ノ收賄ニ關スル嫌疑事實ヲ指摘セル一信書ヲ朗讀シタリ議院ハ其ノ内容ノ容易ナラサルヲ認メ該信書ノ信否ヲ判スル上ニ於テ發信者ノ氏名宛名及年月日ノ發表ヲ必要ト爲シ院議ヲ以テ之ヲ命令シタリ然ルニ同君ハ峻拒シテ之ニ應セス右ハ衆議院規則第二百二條ノ「議院ノ命令ニ抵抗シ」トアルニ該當ス依テ同君ヲ議院法第九十六條ニ照シ二週間其ノ出席ヲ停止ス

第三十六回議會　大正四年六月九日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一齋藤珪次君及藏内次郎作君懲罰事犯（議場ノ秩序紊亂）ノ件

右ハ議院法第九十六條第三號ニヨリ一日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決致候此段及報告候也

一武藤金吉君懲罰事犯（議長ノ命令ヲ遵奉セス）ノ件

右ハ議院法第九十六條第三號ニ依リ一日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決致候此段及報告候也

第三十七回議會　大正四年十二月二十一日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

議院法第九十六條第三號ニ依リ武藤金吉君二週間出席停止、鳩山一郎君及岩本平藏君十日間出席停止、小林源藏君及秦豐助君一週間出席停止ヲ命ス

廣岡宇一郎君ニ對シテハ懲罰スヘキモノニアラスト認ム

第四十三回議會　大正九年七月十四日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員永井柳太郎君懲罰事犯ノ件

右ハ議院法第九十六條第一號ニ依リ五日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決致候此段及報告候也

七月二十四日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員三木武吉君懲罰事犯ノ件

右同文五日間ノ出席停止

第四十四回議會　大正十年二月一日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件

右同文五日間ノ出席停止

二月一日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件

右同文五日間ノ出席停止

三月二十三日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員三木武吉君懲罰事犯ノ件

右同文四日間ノ出席停止

三月二十三日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員横山勝太郎君懲罰事犯ノ件

右同文三日間ノ出席停止

第四十五回議會　大正十一年一月二十五日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員中野寅吉君懲罰事犯ノ件

右同文三日間ノ出席停止

二月十六日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員三木武吉君懲罰事犯ノ件

右同文二週間ノ出席停止

二月十六日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員木檜三四郎君懲罰事犯ノ件

右同文十日間ノ出席停止

二月十六日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員中野寅吉君懲罰事犯ノ件

右同文二週間ノ出席停止

二月二十一日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員春日俊文君懲罰事犯ノ件

右同文三日間ノ出席停止

三月二日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス

一議員中野寅吉君懲罰事犯ノ件

右同文二週間ノ出席停止
三月二日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス
一議員金澤安之助君懲罰事犯ノ件
右同文二週間ノ出席停止
三月二日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス
一議員佐々木安五郎君懲罰事犯ノ件
右同文二週間ノ出席停止
第四十六回議會　大正十二年三月一日左ノ委員長報告ヲ可決シ議長宣告ス
一議員山道襄一君懲罰事犯ノ件
右ハ本院ニ於テ議院法第九十六條第一項第三號及衆議院規則第二百六條同第二百三條ニ依リ十四日間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決致候此段及報告候也

六〇三　出席停止ハ議決宣告ノ日ヨリ起算シ休日ヲモ包含ス

懲罰事犯ニ依リ出席ヲ停止セラルル場合ニハ其ノ停止ノ日限ハ宣告ノ日ヨリ之ヲ起算シ又其ノ日

限内ニハ休日ヲ包含スルモノトス

六〇四　併發セル二個ノ懲罰事犯ニ對シ各出席停止ヲ命セラル

第四十四回議會　大正十年二月一日鈴木富士彌君懲罰事犯ノ件（一ハ發言取消ノ命令ニ服從セサルニ依ル議長發議、一ハ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑中議院ノ體面ヲ瀆シタルモノアリト認ムルニ依ル龍野周一郎君提出）ノ會議ニ於テ二個ノ懲罰事犯ハ同時ニ院議ニ付シ孰レモ五日間ノ出席停止ヲ命スルニ決セラレ而シテ議長（奥繁三郎君）ハ同時ニ此ノ二個ノ議決ノ結果ヲ宣告シタルニ依リ各五日間ノ出席停止ハ共ニ同日ヨリ起算セラレタリ

六〇五　出席停止ヲ命セラレタルモノ委員ナルトキハ解任セラル

第三十七回議會　大正四年十二月二十一日武藤金吉君ハ一週間ノ出席停止ヲ命セラレタルトキ同君ハ第四部選出豫算委員ナリシ爲翌々二十三日議長ハ衆議院規則第二百四條ニ依リ解任セラレタル旨報告シタリ

六〇六　議員除名セラル

第五回議會　明治二十六年十二月十三日星亨君懲罰ノ件（院議ヲ輕侮シ其ノ體面ヲ汚シタルモノ）

ヲ院議ニ付シ左ノ委員會報告第一項ヲ可決シ第二項ハ第一項議決ノ結果採決ニ至ラス

一高田早苗君申告ノ衆議院議員星亨君懲罰事犯ニ付テハ衆議院規則第二百六條ニヨリ同君ヲ除名スヘシ

一大岡育造君申告ノ衆議院議員星亨君懲罰事犯ニ付テハ議院法第九十六條第一項及衆議院規則第二百六條ニヨリ同君ヲ譴責スヘシ

第三節　傍聽

六〇七　開院式勅語奉答文案ノ會議ヨリ傍聽ヲ許ス

第二回議會ヨリ開院式當日奉答文案ノ會議ヨリ傍聽ヲ許スヲ例トス但シ第一回議會ニ於テハ開院式當日ハ勅語ニ對シ奉答スルヤ否ノ會議ヲ開キタルモ傍聽ヲ許ササリシカ其ノ翌日衆議院規則案ノ會議ニ際シ三崎龜之助君ノ動議ニ依リ直ニ傍聽ヲ許可スルコトトナリ議長（中島信行君）ハ議場ニ於テ各議員ニ傍聽券ヲ配付セシメ公衆ノ傍聽ヲ許可シタリ

第十八回議會以來新聞記者ニ限リ召集日ヨリ記者席ニ入場スルコトヲ許スヲ例トス

參看　二四〇號

六〇八　全院委員會ハ傍聽ヲ許ス

常任委員會及特別委員會ハ議員ノ外傍聽ヲ禁スルハ議院法ノ定ムルトコロナルモ全院委員會ニ付テハ何等ノ規定ナキヲ以テ第一回議會以來傍聽ヲ許スヲ例トス

參看　一四九號、一五二號

六〇九　十二歳未滿ノ兒童ハ傍聽ヲ禁止ス

從來傍聽人ノ年齡ニ付テハ何等ノ制限ナカリシ爲孩兒ト共ニ入場ヲ許可シタルモ往々議場竝一般傍聽人ニ妨害ヲ與フルコトアルヲ以テ第二十五回議會（明治四十二年三月一日）ニ於テ議長（長谷

場純孝君）ハ衆議院公報ヲ以テ爾來十二歳未滿ノ兒童ハ總テ議事ノ傍聽ヲ禁止スル旨ヲ示達シ翌二日ノ會議ニ於テ「昨日公報ヲ以テ御通知致シテ置キマシタ通リ十二歳未滿ノ兒童ハ傍聽ヲ禁止スルコトニシマシタカラ諸君ノ御承認ヲ得テ置キマス」ト告ケ兒童ノ傍聽ヲ禁止セリ

衆第一八九條

六一〇　傍聽席ニ在リテハ帶劍スルコトヲ得ス

從來傍聽席ニ在リテハ軍人ノ正裝タルト略裝タルトヲ問ハス均シク帶劍ヲ許ササリシカ第三十六回議會大正四年五月二十一日各派協議會ニ於テ大禮服着用ノ場合ト雖衆議院規則第百八十九條ニ依リ帶劍スルヲ得サルモノト解釋スルコトニ決定セリ

衆第一八三條

六一一　公衆傍聽券ハ召集當日各議員ニ配付ス

第一回議會ニ於テハ一週間乃至十日分ヲ部長ニ配付シ部長ハ之ヲ部員ニ配付シタルモ第二回議會ニ於テ議長（中島信行君）ハ部長ト協議ノ上一會期分ヲ一括シテ事務局ヨリ直ニ各議員ニ配付スルコトトナリ爾來召集日ヲ以テ之ヲ配付シ開會當日空席アルトキハ議員ノ請求ヲ俟テ更ニ臨時ニ交付シタルモ第二十一回議會ニ至リ臨時ニ交付スヘキ分ヲモ併セテ召集日ニ一括配付セリ爾來之ヲ例トス

衆第一三五條

衆第一三六條

衆第一三九條

第十章　議事錄、決議錄及速記錄

六一二　議事錄ハ會議ニ關スル事項ヲ記載ス

議事錄ハ衆議院規則第百三十五條ノ事項ヲ記載シ印刷ニ付ス印刷シタル議事錄ノ內二部ハ議長及書記官長署名シテ議院ニ保存ス

六一三　決議錄ハ議院ノ決議ヲ記載ス

第二回議會　明治二十四年十二月五日植木枝盛君ノ動議ニ依リ衆議院決議錄ヲ作ルコトヲ議決シタルヲ以テ第二回議會以來日々之ヲ調製シ印刷ニ付セス議長及書記官長署名シテ議院ニ保存ス

六一四　速記錄ニハ議場ニ於ケル發言其ノ他議事日程、議長報告、議案等ヲ記載ス

速記錄ハ速記者議場ニ於テ之ヲ速記シ官報附錄トシテ各議員ニ配付ス
第七回(臨時)議會ハ廣島ニ召集セラレ從來ノ慣行ニ從フ能ハサルヲ以テ明治二十七年十月十八日議長(楠木正隆君)ハ院議ニ諮ヒ閉會後一括シテ配付シタリ
第四十六回議會ニ於テ大正十二年三月二十四日ノ會議ニ上程セル帝都制案(鳩山一郎君外九名提出)外十七件ハ孰レモ浩澣ニシテ且同一種類ノ議案ナルニ依リ內容同一ナル案ハ省略シ大同小異ノ案ハ其ノ異ナル部分ノミヲ抄錄シ同日發行ノ速記錄附錄トシテ之ヲ掲載セリ

六一五　速記錄ニハ新聞紙ニ掲載ヲ禁セラレタル事項ニ關スル發言ヲ記載セス

第四十四回議會　大正十二年二月二十五日決議案(朝鮮統治ニ關シ調査委員會設置ノ件)ノ會議ニ於テ提出者中野正剛君ノ趣旨辯明ノ後　議長(奧繁三郎君)ハ「……先刻中野正剛君ノ演說中ニ閔元植氏ニ關スル事柄ヲ陳述サレマシタ、當議場ハ言論ノ自由ノ場所デゴザイマスカラ、固ヨリ發言ハ自由デゴザイマス、併ナガラ御承知ノ如ク　是ハ新聞紙ノ記事差止ニナツテ居ル事項デアリマス……故ニ官報號外ヲ以テ之ヲ世間ニ公布スルコトダケハ避ケタラドウカト思ヒマス」ト告ケ院議起立多數ヲ以テ之ヲ可決シ中野君ノ發言中新聞紙ニ掲載ヲ禁セラレタル事項ニ關スル發言ハ速記錄ニ記載セサリキ

六一六　速記錄ニハ質問主意書、答辯書及請願ヲモ掲載ス

議長ヨリ掲載ノ許可ヲ得タル參考書、辯明書、始末書、往復書類等亦同シ

第一回議會以來質問主意書、答辯書ノ類ハ朗讀ヲ經サルモノヲモ參照ノ爲常ニ速記錄ニ掲載スルヲ例トシ又提出者若ハ委員長ノ請求アルトキハ議長ノ許可ヲ經テ參考書、辯明書等ヲ速記錄ニ掲載セリ其ノ例枚擧ニ遑アラス
然レトモ第十六回議會明治三十五年三月八日提出者菅野善右衞門君ノ請求ニ依レル鐵道列車災害豫防法案ノ參考書ニ付テハ同法案第二讀會ヲ開カサルコトトナレヲ以テ議長(片岡健吉君)ハ院議ニ諮リ之ヲ速記錄ニ掲載スルコトヲ許可セサリキ

參看　三二二號、五二七號、五三三號、五四八號

六一七　議事錄及速記錄ハ召集當日ヨリ之ヲ調製ス

速記錄ハ議事ヲ記載スルモノナルコトハ衆議院規則第百三十九條ノ定ムル所ナレトモ第一回議會明治二十三年十一月二十五日召集ノ當日書記官長（曾禰荒助君）ハ「今日ノ景況竝ニ結果ハ卽チ速記者ヲシテ筆記セシメテ之ヲ報道スルコト別段御異議モ御座リマセネバ其事ヲ可決ト認メテ執行致シマス」ト告ケ當日ヨリ速記セシメタリ第二回議會亦同シ第三回議會明治二十五年五月二日召集ノ當日書記官長（水野遵君）ハ「本日速記者ヲシテ速記ヲ致サセマシテゴザイマスガ此速記ハ第一議會ノトキニハ速記錄號外ト致シマシテ印刷ノ上諸君ニ御配付致シマシタ矢張先例ニ依リマシテ右樣ニ致サウト思ヒマス御異議ガナクバサウ致シマス」ト宣告シ爾來成立ニ關スル集會ニモ速記錄ヲ號外トシテ配付スルコトトナレリ

議事錄モ亦召集ノ當日ヨリ之ヲ調製スルヲ例トス

六一八　議事錄、速記錄ニハ投票者ノ氏名ヲ揭載ス

記名投票ニ於ケル可否兩者ノ氏名ヲ初テ速記錄ニ揭載シタルハ第三回議會明治二十五年五月十二日河野廣中君外八名提出選擧干涉ニ關スル上奏案及同月十四日中村彌六君外一名提出選擧干涉ニ關スル決議案ニシテ以後每會期ニ於テ記名投票ヲ用キタルコト數次ナルニ拘ラス此ノ前例ヲ襲クコトナカリシモ第十二回議會ニ至リ明治三十一年五月三十日鳩山和夫君外十名提出ノ上奏案ニ付記名投票ヲ用キタル場合ニ於テ再ヒ其ノ氏名ヲ速記錄ニ揭載スルコトトナリ爾來此ノ例ニ依レリ第二十五回議會明治四十一年十二月二十六日全院委員長ノ選擧ヲ行ヒタルトキ其ノ投票者ノ氏名ヲ速記錄ニ揭載シタリ爾來無名投票ノ場合ニ於テモ其ノ投票者ノ氏名ヲ速記錄ニ揭載スルノ例トナレリ議事錄亦同シ

【參照】

氏名點呼ヲ以テ採決シタルトキハ曾テ其ノ贊否ノ氏名ヲ速記錄ニ揭載シタルコトナカリシモ第十四回議會明治三十三年一月二十九日政府提出衆議院議員選擧法改正法律案ノ第二讀會ニ於テ氏名點呼ヲ行ヒタルコト二回及同年二月十七日質問趣旨ノ辯明ハ日程議了後ニ爲スヘシトノ動議ニ對シ氏名點呼ヲ行ヒタルトキ孰レモ其ノ贊否ノ氏名ヲ速記錄ニ揭載シタリ

第三編　政府及貴族院トノ關係

第一章　政府トノ關係

第一節　國務大臣及政府委員

六一九　憲法第六十七條ノ費目ノ修正議決ニ對スル政府ノ同意、不同意ノ表明ハ口頭又ハ書面ヲ以テス

議院ニ於テ憲法第六十七條ノ費目ニ對シ修正議決ヲ爲シタル場合ニ於ケル政府ノ同意、不同意ノ表明ハ議場ニ於テシ又ハ書面ヲ以テセリ

(一)　議場ニ於テ同意、不同意ヲ表明シタル例

第一回議會(明治二十四年度豫算案(再修正ノモノ))、第四回議會(明治二十五年度豫算案(再議ノモノ))、第六回議會(明治二十七年五月三十一日)、第九回議會(明治二十九年二月四日)、第十三回議會(明治三十年十二月二十八日)、第十五回議會(明治三十一年十二月二十四日)、第十五

回議會（明治三十四年二月七日）、第十六回議會（明治三十四年十二月二十八日）、第二十一回議會（明治三十七年十二月十七日）、第二十五回議會（明治四十二年二月十三日）、第二十六回議會（明治四十三年二月十二日）、第二十七回議會（明治四十四年二月十四日）、第四十回議會（大正七年二月十二日）ニ於ケル豫算案ニ付テハ修正ニ同意シタリ

第四回議會（明治二十六年一月十六日）明治二十六年度豫算案ニ付テハ內閣總理大臣臨時代理井上內務大臣ハ議院ニ出席シテ本院ノ要求ニ對シテ政府ハ不同意ヲ表明スル旨ヲ演述セリ

（二）書面ヲ以テ不同意ヲ表明シタル例

第一回議會（明治二十四年二月二十三日）明治二十四年度豫算案ニ付テハ不同意ノ覆牒ヲ爲シ、第四回議會（明治二十六年一月十七日）明治二十六年度豫算案ニ付テハ議院ニ於テ政府ノ不同意ノ表明ニ對シ更ニ同意ヲ求メタルヲ以テ不同意ノ覆牒ヲ爲シ又議院ハ豫算修正案ヲ政府ニ送致シ且政府ノ處置ヲ待ツ爲五日間休會ヲ決議セルニ對シ之カ覆牒ヲ爲シタリ

參看 四七七號、附錄一一ノ（一）

六二〇 議院ノ出席要求若ハ希望ニ對シ國務大臣ヨリノ覆牒又ハ回答ヲ受ク

院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ議員ヨリ其ノ出席ヲ希望セルトキハ議長ハ書記官ヲ派シテ之ヲ通告ス而シテ國務大臣ハ此ノ要求、希望ニ應シテ議院ニ出席シ或ハ出席セサルノ覆牒若ハ回答ヲ爲スコトアリ

（一）院議ヲ以テ出席ノ要求、希望ニ對シ出席シタル例

第二十一回議會（明治三十八年二月二十七日）、第二十六回議會（明治四十三年三月二十三日）、第三十一回議會（大正三年一月二十九日）ニ於テ花井卓藏君ノ動議（三月四日可決）ニ依リ出席ヲ要求セルトキ

第二十五回議會（明治四十二年一月三十一日）花井卓藏君ノ動議、第二十七議會（明治四十四年一月二十四日）ニ於テ菅原傳君、第三十一回議會（大正三年二月二十一日）齋藤隆夫君ノ動議ニ依リ出席ヲ希望セルトキ

第四十二回議會（大正八年一月三十一日）小久保喜七君ノ動議ニ依リ出席ヲ希望セルトキ國務大臣ハ之ニ應シテ議院ニ出席シタリ

（二）院議ヲ以テ出席ヲ要求セルトキ出席セサル旨ヲ覆牒シタル例

第一回議會（明治二十三年十二月十七日、同二十四年二月二日）ニ於テ山田東次君、橋本久太郎君、高梨哲四郎君ノ動議、第四回議會（明治二十五年十二月三日）ニ於テ河野廣中君ノ動議、第五

回議會（明治二十六年十二月十五日）長谷場純孝君ノ動議、第六回議會（明治二十七年五月二十八日）ニ於テ鈴木充美君提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對シ司法大臣出席答辯ヲ請フノ建議ニ對シテハ國務大臣ハ已ニ答辯シ盡セリトシ或ハ質問主意書ノ提出ヲ求メ或ハ國務大臣ハ何時ニテモ出席スルノ權能ヲ有スルカ故ニ特ニ請求ヲ煩ハスヲ要セストシ議院ニ覆牒シタリ（附錄第一一號參看）

（三）院議ヲ以テ出席ヲ要求セルトキ出席シ難キ旨ヲ回答シタル例

第三十回議會（大正二年三月四日）ニ於テ林毅陸君ノ動議ニ依リ出席ヲ要求セルニ國務大臣ハ參內ノ爲出席スルコトヲ得ストノ回答ヲ爲セリ

（四）議員ヨリ出席ヲ希望セルトキ

質問ノ趣旨辯明ニ際シ或ハ質疑等ノ爲議員ヨリ國務大臣ノ出席ヲ希望スルコト每會期其ノ例ニ乏シカラス、此ノ場合之ニ應シテ直ニ出席スルカ又ハ公務上ノ都合若ハ委員會或ハ貴族院ニ出席ノ爲或ハ差支ノ爲出席シ得スト回答セルコト亦尠カラス

參看　五四二號、三八二號ノ(二)、附錄一一ノ(二)

六二一　政府ハ政府委員ヲ任命スル每ニ議院ニ通牒ス

政府ハ開院式前ニ於テ政府委員ヲ任命シ議院ニ通牒スルヲ例トシ而シテ政府委員ハ單ニ政府委員若ハ法典ニ關スル政府委員又ハ某省所管事務政府委員トシテ任命セラルルヲ通例トシ或ハ特ニ一省ノ豫算ニ關シ任命セラレタル者アリ又政府提出ノ一議案ニ就キ若クハ貴族院衆議院提出ノ議案ニ付任命セラレタルコトアリ最近ハ內閣ニ直屬セル官廳內ヨリ任命セラルルモノハ單ニ政府委員トシ其ノ他ハ某省所管事務政府委員トス

六二二　政府ハ議院ノ要求アルモ政府委員ヲ更任セス

第一回議會　明治二十四年一月三十一日豫算ニ關スル全院委員會中石田農商務次官カ犬養毅君ノ質疑ニ對シテ說明ヲ拒ミタル爲議長ノ復席ヲ求メ院議ヲ經テ政府委員ノ交換ヲ政府ニ要求シタルニ同年二月二日政府ハ政府委員カ答辯セサルハ其ノ權限內ノ自由ナルニ依リ之ヲ交換スルコト能ハストノ覆牒ヲ受領セリ

參看　附錄一二

六二三　政府ハ概ネ議事日程變更ノ要求ニ同意ス

議員提出議案ヲ政府提出議案ニ先チ會議ニ付セム爲議事日程ノ變更ニ付政府ノ同意ヲ求ムル場合ニハ書記官長若ハ書記官ヲシテ口頭ヲ以テ照會スル而シテ政府ハ概ネ之ニ同意スルヲ例トシ其ノ數枚擧ニ遑アラス其ノ同意セサリシハ左ノ數件ニ過キス

第一回議會　明治二十四年二月二日高梨哲四郎君提出政府委員交換ノ決議ニ對スル政府ノ覆牒ニ關スル件

第二回議會　明治二十四年十二月二十五日豫算案歲出經常部ノ議了後直ニ鈴木昌司君外一名提出地租條例改正案第一讀會ノ續會ヲ開クノ件

第四回議會　明治二十五年十二月七日内閣總理大臣臨時代理井上内務大臣ノ朗讀シタル施政ノ方針ニ關シ河野廣中君ノ意見演說ノ件

第五回議會　明治二十六年十二月十二日高田早苗君提出星亨君ヲ懲罰委員ニ付スルノ件

第十回議會　明治三十年三月二十四日小室重弘君提出請願事件ヲ院議ニ付スルノ件

參看　二二四號及二七四號

六二四　軍隊ニ對スル功勞感謝ノ決議通牒又ハ慰問ニ對シ國務大臣ヨリ回答竝通牒ヲ受ク

軍隊ニ對シ功勞感謝ノ決議ヲ爲ストキハ卽日之ヲ内閣總理大臣若ハ主管ノ國務大臣ニ通牒ス此ノ場合ニ於テハ主管ノ國務大臣ヨリ回答又ハ通牒ヲ受ケタリ

參看　附錄五

第二節　國務大臣及政府委員ノ發言

六二五　内閣總理大臣、大藏大臣、外務大臣ハ每會期ノ始ニ於テ施政ノ方針、財政計畫及外交ニ關スル演說ヲ爲スヲ例トス

年末年始ノ休會明ケノ第一會議日ニ於テ内閣總理大臣ハ施政ノ方針ニ關シ大藏大臣ハ財政計畫ニ關シ外務大臣ハ外交ノ方針竝現況ニ關シ議院ニ出席シテ演說スルヲ例トス

然レトモ第二十四回議會迄ハ内閣總理大臣及大藏大臣ハ共ニ演說ヲ爲スカ或ハ内閣總理大臣若ハ大藏大臣ノミ演說ヲ爲シタルコトアリ第二十五回議會ヨリハ外務大臣ハ外交ノ方針竝現況ニ關シ

演說ヲ爲スノ例トナレリ但シ第三十回議會ニ於テハ二回ノ內閣更迭等ニ依リ外交ニ關スル演說ハアラサリキ又臨時議會ニ在リテハ臨時事件ノ要務ニ關シ國務大臣演說ヲ爲スヲ例トス

第十一回議會ニ於テハ全院委員長選擧ニ先チ日程ヲ變更シ鈴木重遠君提出內閣不信任案ヲ上程シ其ノ趣旨辯明中解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

第十九回議會ニ於テハ開院式勅語ニ對スル奉答書中內閣彈劾ノ文字アリタル爲奉呈ニ先チテ解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

第四十八回議會ニ於テハ三大臣ノ演說ノ通告アリタルモ之ニ先ツテ濱田國松君外三名ヨリ緊急質問ノ請求アリ院議之ヲ許可シタルヲ以テ濱田君趣旨辯明ヲ爲シ小松鐵道大臣ニ次テ淸浦內閣總理大臣之ニ答辯セムト爲シタル際議員ニ非サル者議場ニ闖入シ騷擾シタル爲休憩シ次テ解散セラレタルニ依リ演說ノ機會ナカリキ

每會期ニ於ケル國務大臣ノ演說ヲ列記スレハ左ノ如シ

(一) 施政方針ニ關シ內閣總理大臣、財政計畫ニ關シ大藏大臣、外交ニ關シ外務大臣ノ演說アリタル例

第二十五回乃至第二十八回、第三十一回、第三十四回(臨時)——第三十六回乃至第四十一回、第四十四回、第四十五回、第四十六回議會

(二) 施政方針ニ關シ內閣總理大臣ノミノ演說アルタル例

第二回、第三回、第六回、第八回、第十回及第十二回議會

(三) 財政計畫ニ關シ大藏大臣ノミノ演說アリタル例

第九回、第十四回及第十五回議會

(四) 施政ノ方針ニ關シ內閣總理大臣、財政計畫ニ關シ大藏大臣ノ演說アリタル例

第一回、第四回、第五回、第十三回、第十六回乃至第十八回、第二十一回乃至第二十四回、第三十回第三十三回(臨時)、第四十七回(臨時)議會

(五) 日淸事件又ハ日露事件ニ關シ內閣總理大臣、大藏大臣及外務大臣ノ演說アリタル例

第七回(臨時)、第二十回(臨時)議會

(六) 御大喪ニ關スル豫算案ニ關シ內閣總理大臣及大藏大臣ノ演說アリタル例

第二十九回(臨時)、第三十二回(臨時)議會

(七) 三大臣ノ外海軍大臣、陸軍大臣ノ演說アリタル例

第三十五回議會

(八) 三大臣ノ外陸軍大臣ノ演說アリタル例

第四十二回、第四十三回議會

六二六　國務大臣議院ニ出席シテ特殊ノ事件ニ關シ報告又ハ演說ス

內治外交又ハ軍事上財政上重大ノ出來事アリタルトキハ內閣總理大臣若ハ主管ノ國務大臣議院ニ出席シテ其ノ顚末ヲ報告シ又ハ演述ヲ爲スヲ例トス

第九回議會　明治二十九年一月十日伊藤內閣總理大臣ハ日淸講和始末附遼東半島還附始末ヲ報告ス

第十五回議會　明治三十四年二月九日加藤外務大臣ハ北淸事件ニ關スル外交ノ經過ニ付報告ヲ爲ス

第十六回議會　明治三十四年十二月二十六日桂內閣總理大臣ハ淸國事件ニ關スル償金特別會計法案ニ關シ演說ヲ爲ス

同　三十五年二月十二日小村外務大臣ハ帝國政府ト英國政府トノ間ニ成立シタル協約ノ件ニ關スル顚末ヲ報告ス

第二十回(臨時)議會　明治三十七年三月二十三日小村外務大臣ハ日露交涉ノ開始ヨリ斷絕ニ至ルマテノ經過ヲ報告ス

第二十四回議會　明治四十一年一月二十八日林外務大臣ハ加奈陀移民協商ニ關スル報告ヲ爲ス

同　四十年三月二十六日林外務大臣第二辰丸抑留事件ニ關シ報告ヲ爲ス

第二十六回議會　明治四十三年二月五日桂大藏大臣ハ內國債ノ借款ニ關シ演說ヲ爲ス

第二十七回議會　明治四十四年一月二十四日小村外務大臣ハ帝國ト米國トノ條約締結ニ關シ其ノ概要ヲ演說ス

第三十一回議會　大正三年二月二十一日ノ會議ニ於テ齋藤海軍大臣ハ「シーメンス」事件ニ關スル海軍査問委員會ノ大要ヲ、奧田司法大臣ハ「シーメンス」事件ニ關スル司法官憲ノ取調顚末ヲ報告ス

第三十四回(臨時)議會　大正三年九月九日加藤外務大臣ハ英、佛、露三國間ニ於ケル講和條件ニ關スル協約成立ノ件ニ關シ報告ヲ爲ス

第三十五回議會　大正三年十二月八日岡陸軍大臣ハ山東省ニ於ケル帝國陸軍ノ作戰行動經過大要ニ付、八代海軍大臣ハ開戰以來帝國海軍ノ作戰行動ノ經過大要ニ付各演說ヲ爲ス

第四十回議會　大正七年三月二十六日寺內內閣總理大臣露獨單獨講和ノ結果極東ノ時局進展ニ關スル政府ノ意向ヲ演說ス

第四十一回議會　大正八年三月二十六日田中陸軍大臣ハ最近ニ於ケル西伯利ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲ス

第四十二回議會　大正九年一月二十二日田中陸軍大臣ハ西伯利出征軍隊ノ概況ニ關シ演說ヲ爲ス

第四十五回議會　大正十一年二月七日日程ニ入ルニ先チ元田鐵道大臣ハ北信方面鐵道乘客雪崩遭難事件ニ關シ報告ヲ爲ス

同　大正十一年三月十八日尾崎行雄君ノ二重橋附近ニ起リタル事件ニ關スル緊急質問ニ對シ床次內務大臣ヨリ事實ノ眞相、犯人ノ身分ニ關スル報告アリタル後政府ノ要求ニ依リ祕密會ヲ開キ政府委員ハ本人ノ所持セシ上奏文ヲ朗讀ス

第四十八回議會　大正十二年十二月二十七日（開院式當日）虎ノ門附近ニ於ケル容易ナラサル不敬事件ニ關スル事實ノ顚末ニ付直ニ政府ノ報告ヲ求ムルノ動議ヲ可決シ山本內閣總理大臣ヨリ事件ニ關スル一應ノ報告アリタル後政府ノ要求ニ依リ祕密會議ヲ開キ平沼司法大臣ハ事實ノ顚末ヲ報告ス

六二七　委員付託、討論終局ノ動議成立若ハ可決ノ後又ハ表決ニ際シ國務大臣又ハ政府委員發言ス

國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ發言スルコトヲ得ルハ憲法ノ規定スル所ナルニ依リ國務大臣及政府委員ハ左ノ場合ニ於テ發言ヲ爲シタリ

（一）討論終局ノ動議可決後發言シタル例

第一回議會　明治二十四年二月九日明治二十四年度豫算案外務省所管ニ對シ討論終局後政府委員岡部外務次官發言ヲ求メタルニ之カ許否ニ關シ議論ヲ生シ末松謙澄君ハ討論終局ノ後發言ヲ許可スルトキハ終結ノ決議ハ消滅スルヲ以テ外國議院法ノ原則ト爲スカ故ニ政府委員ノ發言ヲ許シ其ノ場合ニ依リ更ニ討論ヲ開始シ或ハ終結スヘシト述ヘ植木枝盛君ハ討論終結ノ實行ヲ延期シテ政府委員ノ發言ヲ許可シ更ニ其ノ時ニ於テ討論終結ヲ實行スヘキヤ否ヲ決スヘシトノ動議ヲ提出シタルモ共ニ議院ノ容ルル所トナラス政府委員岡部外務次官ハ「本員ハ憲法第五十四條ニ國務大臣及政府委員ハ何時タリトモ各議院ニ出席シ及發言スルコトヲ得ト言フ明文ニ依リマシテドコマデモ發言ヲ致ス權ヲ十分ニ認メテ居リマス」ト述ヘ議論益沸騰シタルヲ以テ議長（中島信行君）ハ延會ヲ命シ翌十日山縣內閣總理大臣ハ憲法第六十七條ノ解釋ニ付政府ノ意見ヲ演述シ續テ「終ニ臨ミマシテ因ニ一言申置キマスルガ、憲法五十四條ニ國務大臣竝ニ政府委員ハ何時タリトモ發言ヲスルノ權ヲ與ヘラレテ居リマスル然ルニ昨日政府委員ノ發言ニ於キマシテ偶然ニモ論議ガアリマシテ御座リマス　蓋シ是ハ偶然ナル事情ヨリ起ッ

タコトト存ジマス政府ハ勿論議院ノ權利ヲ貴重スルト同時ニ憲法及法律上與ヘラレタル所ノ政府ノ權利ヲ拋棄スルコトハ出來マセヌト存ジマス恰モ是ハ議院ニ於キマシテ議院ノ權利ヲ固守爲サルト一般ト存ジマス故諸君ニ於キマシテハ充分ニ審議ヲ盡サレンコトヲ望ミマス」ト述ヘ政府委員岡部外務次官ハ昨日本員ガ當場ニ於テ發言セムトシタル事柄ハ先刻山縣內閣總理大臣ヨリ演說セラレ最早演說ヲ爲ス必要ナキ旨ヲ述ヘシニ依リ前日ノ紛議ハ玆ニ其ノ局ヲ結ヘリ

第四回議會　明治三十五年十二月八日稻垣示君ヨリ現內閣信任ノ動議ヲ提出シ其ノ討論終局後後藤農商務大臣發言ヲ求メタルニ議長（星亨君）ハ「發言ヲ許シマス」ト告ケ清水文二郎君ノ「討論終結ノ後ニ何ンダイ」ト云ヘルニ對シ「討論終局シタケレドモ又討論ヲ開クノ外ハナイト思ヒマス政府ハ何時ニ於テモト云フコトガアリマスカラ卽チ討論ハ許ス卽チ第二ノ討論ガ復タ開イタモノト見ルガ宜シイ——諸君ハ討論スルガ宜シイ」ト告ケ同大臣ニ其ノ發言ヲ許シタリ

第二十六回議會　明治四十三年三月十日（追第二號）豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ノ會議ニ於テ討論終局ノ動議可決シタル後後藤遞信大臣ハ發言ヲ求メ本案ノ修正ニ同意スル能ハサル旨ヲ述ヘタリ

第四十回議會　大正七年二月十二日大正七年度豫算案會議ニ於テ討論終局後勝田大藏大臣ハ「唯今ノハ政府ハ同意ヲ致シマス」ト述ヘタリ

（二）討論終局ノ動議成立後發言シタル例

重要法案ニ對シテハ討論終局ノ動議提出セラレタル際政府ハ其ノ意見ヲ陳フルコト勘カラス左ノ場合ノ如キ是ナリ

第四十二回議會　大正九年二月十三日大正九年度豫算案會議ニ於テ討論終局ノ動議成立後原內閣總理大臣ハ發言シタリ

（三）委員付託ノ動議可決後發言シタル例

第九回議會　明治二十九年三月二十三日井上角五郎君外三名提出廣島縣下郡界變更法律案ニ對シ委員付託ノ動議可決後政府委員發言シタリ

第三十一回議會　大正三年三月十三日花井卓藏君外二名提出陸軍治罪法中改正法律案外一件ノ會議ニ於テ兩案トモ委員ニ付託後楠瀨陸軍大臣ハ兩案ニ對シ政府ノ意見ヲ述ヘタリ

（四）委員付託ノ動議成立後發言シタル例

議案ヲ委員ニ付託スルノ動議提出セラレタル際其ノ議案ニ對シ政府委員發言ヲ爲シタルコトナシトセス左ノ場合ノ如キ是ナリ

第二十七回議會　明治四十四年二月十八日島田三郎君外三名提出織物消費稅法廢止法律案外ニ

件ニ對シ委員付託ノ動議成立後政府委員發言シタリ

(五) 表決ニ際シ發言シタル例

第二回議會　明治二十四年十二月十六日東尾平太郎君ヨリ田畑地價特別修正法案ヲ議スル爲議事日程ヲ變更スルノ動議ヲ提出シ之ニ贊成者アリ其ノ採決ニ際シ陸奥農商務大臣ハ高梨哲四郎君ノ質問ニ對シ答辯ノ演說ヲ爲シタリ

第二十三回議會　明治四十年三月十四日政府提出貴族院送付刑法改正案ノ第二讀會中其ノ第二章第七十七條ニ對シ議長(杉田定一君)ハ「委員長ノ報告通リ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒタル際政府委員倉富檢事ハ同條第一號ニ對スル委員會ノ修正案ニ反對ノ意見ヲ述ヘタリ

第二十六回議會　明治四十三年三月十八日政府提出鐵道營業法中改正法律案ノ第二讀會ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ高木益太郎君提出ノ修正動議ヲ採決セル際後藤遞信大臣ハ發言ヲ求メ高木君ノ發議ニ對シテ辯明シタリ

參看　二九三號

六二八　院議若ハ議員ノ希望ニヨリ國務大臣又ハ政府委員ノ出席要求中ハ其ノ議事ヲ續行シ若ハ一時延期ス

會議中院議ヲ以テ國務大臣ノ出席ヲ要求シ又ハ議員ヨリ國務大臣若ハ政府委員ノ出席ヲ希望スルトキ議長ヨリ之ヲ通告スル場合ニハ其ノ議事ヲ續行シ若ハ一時延期シテ次ノ日程ニ移リ又ハ議事日程ヲ變更シテ他ノ議案ヲ議シタルコトアリ

(一) 議事ヲ**續行**シタル例

第二十八回議會　明治四十五年二月十日齋藤宇一郎君外六名提出所得稅法中改正法律案外一件ノ第一讀會ノ續會中守屋此助君ヨリ大藏大臣出席ノ希望ニ對シ議長(大岡育造君)ハ「守屋此助君ノ御希望ハ通ジテ置キマスガソレヲ通ズル爲メニ此議事ノ進行ヲ延スコトハ出來マセヌカラ此議事ハ進行致シマス」ト告ケタリ

(二) 議事ヲ一時延期シタル例

第三十回議會　大正二年三月四日林毅陸君提出內閣ノ政綱ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ際シ院議ヲ以テ內閣總理大臣ノ出席ヲ要求スルニ決セルトキ議長(大岡育造君)ハ「直チニ內閣ニ向ッテ其儀ヲ傳ヘマス、出席ノアル迄待ツト云フコトモ時間ヲ無用ニ潰ス譯デアリマスカラ姑ク次ノ質問ニ移リマス」ト告ケタリ

同　大正二年三月二十四日日程第一政府提出刑事略式手續法案ニ付政府委員小山司法次官趣旨

ヲ辯明セルニ議員ヨリ本案ハ重大ノ案件ナルヲ以テ國務大臣出席シテ說明セムコトヲ希望シ次テ本日司法大臣ノ出席アル迄議事ヲ延ハスヘシトノ動議出テ議長（大岡育造君）ハ「アト廻シニスルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ」ト諮ヒシニ異議ナカリシニ依リテ當日司法大臣ノ出席ヲ俟ツテ更ニ院議ニ付シ同大臣ノ趣旨辯明及質疑應答アリタリ

第三十五回議會　大正三年十二月十七日兒玉亮太郎君外三名提出航空事業國庫補助ニ關スル建議案ノ會議ニ於テ委員長ノ報告ヲ了リタルトキ小山完吾君ハ「本案ニ關聯致シテ軍事當局者、殊ニ陸軍大臣ニ簡單ナル質問ヲ此ノ席ヨリ致シタイノデアリマス、若シ豫算會議ノ御都合ガ付クナラバ御出席ヲ願ヒタイ」ト請求シ議長（奥繁三郎君）ハ「今陸軍大臣ニ照會ヲシテ見マス」ト告ケ尚「其時間モ多少アリマスルカラ、次ノ日程ニ移リマス」ト宣告セルモ中村啓次郎君ノ動議ニ依リ議事日程ヲ變更シテ他ノ一議案ヲ議了セリ

六二九　議員提出議案ノ趣旨辯明ニ先チ政府委員發言ス

議員提出議案ニ對シ提出者ノ趣旨辯明前政府委員ノ發言シタルコトアリ

第四回議會　明治二十五年十二月三日杉田定一君外二名提出地租條例改正案ノ趣旨辯明ニ先チ政府委員田尻大藏次官ハ政府ノ意見ヲ述ヘ、同月五日工藤行幹君外二名提出郡制改正法律案ニ付テモ提出者ノ趣旨辯明前政府委員渡邊内務次官ハ政府ノ意見ヲ述ヘタリ

憲第五四條　議第四二條　衆第一〇六條

六三〇　上奏案、建議案、決議案ニ對シ國務大臣及政府委員發言ス

上奏案、建議案及決議案ノ會議ニ於テ國務大臣又ハ政府委員其ノ議案ニ對スル政府ノ意見ヲ表明シタルコト尠カラス

參看　五〇六號、五〇九號、五一二號

六三一　國務大臣及政府委員ハ議長ノ許可ナクシテ演壇ニ登ルコトヲ得ス

第六回議會　明治二十七年五月十六日伊藤内閣總理大臣ノ施政ノ方針ニ關スル演說ニ對シ議員中ヨリ說明ヲ求メタルトキ井上文部大臣ハ質問ト說明ハ異名同物ナルニ依リ成規ノ手續ヲ經ヘキ旨ヲ述ヘ尚長谷場純孝君ヨリノ說明要求ニ對シ「最早御答ヲスルニ及バナイト思ヒマス」引取マ

ス」ト述ヘタルニ議長（楠本正隆君）ハ「御待チナサイアナタノ演説ハ演壇ニ出ヌト議場ニ聞エマセヌ」井上文部大臣「議長ニ申シマスガ本大臣ハ議場ニ進退スル場合ニ於テ議長ノ命令ヲ待ツベキモノデナイ」議長「演壇ニ出テ御述ヘナサイ」井上文部大臣演壇ニ登リ「ソレデハ一言致シマセウ本員ハ答辯ノ必要ガナイト存ジマスカラ答辯ヲ致シマセヌ」ト述ヘタリ

同　二十七年五月三十一日（特別報告第二號）地租引當米過剰金下戻ノ請願委員長ノ報告ニ先チ議長ハ「本日ハ重大ノ事件多キヲ以テ質問等ハ成ルベク他日決議ノ時ニ讓ルベシ」トノ旨ヲ宣告シ委員長ノ報告ニ次テ政府委員松岡内務次官登壇シ右ノ報告ニ對シテ演説中議長ハ「政府委員ニ申スガ議院法第四十二條ニ依ツテ發言ノ請求ガアレバ發言ヲ許サヌ譯ニハイカヌニ依ッテ、議長ハ發言ヲ許シマシタ、許シタ以上ハ發言ヲ御停メ申ス譯デハナイガ先刻議場ニモ注意シタ通リ質問モ止メテ討論ノ時ニ方リテ十分ノ質問ヲ許スト云フコトヲ宣告シマシタカラ、政府委員ハ宜シク此ノ德義ヲ保タレンコトヲ注意ヲ致シマス」ト告ケ注意再三ニ及ヒ政府委員松岡内務次官ハ其ノ旨ヲ領シ將ニ演壇ヲ退カントスルニ際シ内務大臣臨時代理芳川司法大臣ハ「政府委員ヤリ給ヘ」ト呼ヒタルニ國務大臣ノ發言權ニ關シ議論百出シ井上文部大臣ハ「憲法及議院法ニ於テハ政府委員ハ人ノ演説ヲ中止セサル以上ハ何時タリトモ演説スルコトヲ得ルト云フコトハ……問題ノ内外ヲ問ハヌト云フコトデアル、故ニ甲ノ問題ノ時ニ乙ノ演説ヲスルコトハ無論内閣大臣政府委員ニ於テハ憲法ノ委任シタル所ノ自由ノ權利デアル……ソレ故ニ今日ハ報告ノ場合デアルトカ、議論ノ場合デナイトカ云フテモ政府委員ハ此ノ事ニ就イテ議論スルノ權利ハ無論アルコトデアル」トノ旨ヲ述ヘ星亨君「政府ハ何時ニテモ發言ハ出來ルニハ違ヒナイ併シナガラ甲ノ問題ヲ論シテ居ル間ニ於テ乙ノ問題ノコトヲ話シテモ出來ルノデアルト云フコトハ決シテ是ハ出來ナイト議院ハ極メナクテハナラヌ又國務大臣及政府委員席ト云フモノハ是レハ治外法權ノ席ト思フ此ノ演壇ハ決シテ政府ノ席ニアラズ衆議院ノ席ナリト云ハナケレバナラヌ故ニ若シ政府ニ於テ此ノ演壇ニ登ラントスルニ方テハ議長ノ許可ヲ得ナケレバナラヌ卽チ議長ノ命ニ從ハナカッタナラバ、此ノ席ヨリ追出スト云フコトハ相當ナリト考ヘマス」ト云ヘルニ對シ井上文部大臣ハ「星君ノ此ノ政府委員ノ席ハ卽チ治外法權デアル併シ演壇ニ於ケルハ議長ノ許可ニ依ラナケレバナラヌト云フタノハ卽チ本大臣モ認ムル所ノモノデアルソコデ此ノ問題ハ共ニ爭フ必要ハナイ、溯ッテ今一ツ甲ト乙トノ問題デアル、是ハ星君ノ申サルル所ガ違ッテ居ル、勿論本大臣モ卽チ議院法ニアル通リ他人ノ演説ヲ中止スル權利ハ内閣員ニモ之ナシト云フコトハ是認シテ居ル、今議員ノ演説中ニ内閣大臣ガ飛出シテ演説スルト云フコトハ出來ナイ、ソレ故ニ先刻神鞭君ノ登壇ノ際ニハ本大臣發言ヲ求メタリト雖モ敢テ神鞭君ヲ押除ケテ演説ハシナカッタノデアル斯ノ如ク秩序ヲ守ッテ居ル併ナガラ問題ノ外ノコトハ内閣タリトモ臨時演説スルコト

ガナラナイト云フコトハ大變違ッテ居ル其ノ證據ハ卽チ斯ノ如シ、此ノ問題ト云フモノハ日々議事日程ニ依ッテ極マルモノデアル、議事日程ニ於テ極マルモノデアルニ拘ハラズ、內閣大臣ハ何時デモ或ハ政治上ノ大體ナリ、或ハ臨時必要ナル演說ヲスルジヤアリマセヌカ、例令政治上ノ方針ト雖モ其ノ日ノ日程ヨリ見レバ事ニ大小ノ差コソアレ、問題ノ外デアル、然ルニ政府ハ何時タリトモ演說スルデハアリマセヌカ、卽チ議院法ノ許ス所デアル、故ニ決シテ內閣大臣ハ問題ノ甲乙ニ拘ハル筈ノモノデハナイ、唯他人ノ演說ヲ中止スルコトハ出來ナイ」ト述ヘ星亨君ノ發議ニ付テハ議長ハ「決議ヲスルト云フコトニナルトキニハ議事日程ヲ變更センケレバナラヌ、一ノ話ト致シテ諸君ガ腦裡ニ判定ヲ下シテ置カレルト云フコトデ止メルヲ相當ト考ヘマス」ト告ケ採決ヲ爲ササリキ

六三二　國務大臣不穩當ト認メタル言語ヲ取消ス

第二十七回議會　明治四十四年三月十六日政府提出軍人恩給法中改正法律案ノ會議ニ於テ寺內陸軍大臣ハ發言ニ際シ藏原君ヲ音讀シタル爲藏原惟郭君ハ之ヲ無禮ナリトシ取消ヲ求メタルニ同大臣ハ「唯今ハ大分議場ニ混雜ヲ起サセテ不都合デアリマシタ、私ハ誤ッテザウ原君ト申シマシタガ改メテ藏原君ト申シマス、若シソレガ失禮デアッタト云フコトデアレバ更ニ改メテ申上ゲマスカラ左樣御承知ヲ願ヒマス」ト述ヘタリ

第三十五回議會　大正三年十二月九日ノ會議ニ於テ加藤外務大臣松田源治君ノ質疑ニ對シ應答セル際相島勘次郎君ハ「今ノ外務大臣ノ御辭ノ內デ外務大臣ハ取消シテハドウカト思フコトガアリマス……ソレハ　陛下ノ信任ヲ受ケテ居ル云々……何故ニ外務大臣ノ言辭ヲ信ゼヌカト云フコトニ御改メナスッタラ如何ト思フ」ト注意セルニ同外務大臣ハ「其方ガ穩カデアルト云フ思召デアルナラバ私ハ喜ンデ取消シマス」ト述ヘ之ヲ取消シタリ

第三十九回議會　大正六年七月三日森田茂君ハ議事進行ニ關スル緊急動議ヲ提出シテ「大正六年六月三十日……決議案ノ討論ニ當リ後藤內務大臣ノ演說ノ一齣……ハ國務大臣タルノ威信ヲ傷クルノミナラズ議場ノ神聖ヲ汚シ秩序ヲ紊ルモノタルコトヲ認メマス故ニ院議ヲ以テ此ノ言葉ヲ取消スベキコトヲ後藤內務大臣ニ向ッテ　要求致シタイト云フノガ卽チ此緊急動議ヲ提出シタル趣旨デアリマス」ト述ベ、贊成アリテ此ノ動議成立シタルトキ後藤內務大臣ハ「……發言ノ一部ヲ取消ノ要求ガアリマシタ、私ハ其當時カラ之ヲ取消シテ居ルノデアル、……悅ンデ其御勸告ヲ容レマス」ト述ヘタルニ依リ議長(大岡育造君)ハ此ノ動議ノ要求ハ既ニ目的ヲ達シタルニヨリ採決ノ要ナキヤヲ諮ヒタルニ森田君ハ「後藤內務大臣ハ恭シク取消ヲ爲シタルモノト認メ動

議ヲ撤回ス」ト述ヘタリ

參看　三〇四號、三一九號

六三三　政府委員ノ發言ニ關シ議長注意ヲ爲ス

第二十八回議會　明治四十五年二月六日中川虎之助君外十三名提出砂糖消費稅法中改正法律案ノ第一讀會ニ於テ菅原大藏省主稅局長ハ「曩ニ委員ニ御付託ニナリマシタ酒造稅法中ノ改正法律案ト今討議中ニ係リマス砂糖消費稅法中ノ改正法律案ノ此二案ニ對シテ政府ハ反對ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲマス」ト述ヘタルニ議長（大岡育造君）ハ「ソレハ委員會デ……」ト注意シ菅原政府委員ハ「左樣デスカ何時デモ意見ヲ述ベテ然ルベキコトニ承知シテ居リマスガチヨツト機會ヲ失シマシタノデアリマシテ……簡單ニ申シマスカラ……」ト引續キ發言セルヲ以テ議長ハ更ニ「政府ハ何時ニテモ發言スルコトヲ得ルノハ勿論デアリマスケレドモ問題ニアラザル場所ニ於テ言フベキモノトハ議長ハ思ハヌノデアリマス併ナガラ是迄ノ例ガアルト云フニ依ッテ政府委員モ此所ニ出テ言ハレルノデアリマセウガ玆ニ私ノ考フルトコロニ依レバ此案ハ委員ニ付託セラレテ居リマスカラ委員會ニ於テ說明シ尙委員會ノ經過及結果ハ本會ニ之ヲ報告スルノデアリマス

カラシテ政府ノ意見ヲ諸君ニ明瞭ニスル機會ハ幾ラモアルト信ジマス此場合ハ唯今ノ砂糖消費稅ニ關スル議題ダケノ說明ヲ政府ガスルノガ穩當ト思フノデアリマス」ト注意スルトコロアリ菅原政府委員ハ「ソレデハ砂糖消費稅法中ノ改正法律案ニ對シテノミ反對ノ意見ヲ述ベテ置キマス」ト言ヒ議長ノ注意ニ應シタリ

第四十回議會　大正七年二月二十八日　共通法案ノ會議ニ於テ政府委員有松英義君答辯中「松田源治ヨリ」ト云ヒ直ニ其ノ失言ヲ謝シタルモ尙議長（大岡育造君）ヨリ「御改メナサイ」ト注意シ同政府委員ハ直ニ失言ヲ訂正シタリ

第四十七回（臨時）議會　大正十二年十二月十四日政府提出保險會社ニ對スル貸付金ニ關スル法律案ノ會議ニ於テ志賀和多利君ノ質疑ニ對シ政府委員松本蒸治君答辯ヲ爲スニ當リ「只今ノ御質問ノ御趣旨ハ甚ダ私ニハ了解出來マセヌガ……」ト述ヘ議員ヨリ其ノ失言ヲ詰ルモノアリ副議長（松田源治君）ハ同政府委員ニ注意ヲ與ヘ之ガ取消ヲ促シタルニ同政府委員ハ直ニ右失言ヲ取消シタリ

六三四　國務大臣及政府委員自席ヨリ發言ヲ爲ス

國務大臣及政府委員ニシテ議員ノ質疑ニ對シテ答辯スルハ通常登壇シテ之ヲ爲スヲ例トスルモ答辯簡單ナルカ又ハ足痛等ノ爲其ノ席ヨリ辯明ヲ爲シタルコトナシトセス

六三五　國務大臣其ノ資格ニ付テ辯明ス

第三十七回議會　大正四年十二月七日國務大臣ノ演說ニ對シ元田肇君質疑ヲ爲シ一木內務大臣ノ答辯アリタルトキ元田君ハ「唯今ノ御演說ハ內務大臣ノ御答辯テアリマスカ」ト質シタルニ一木內務大臣ハ「國務大臣ノ答辯テアリマス……續テ齋藤珪次君ハ「先刻一木內務大臣ガ其所ニ登壇セラルル時ニ於テ本大臣ハ總理大臣ニ代ッテ答辯ヲ致ス、斯樣ニ申サレマシタヤウニ思ヒマス……總理大臣ニ代ツテト云フ一言ハ抑々代理ヲ意味スルノカ、或ハ便宜上唯國務大臣トシテ出タカ、遂ニ代ッテト云フ餘計ナ辭ヲ附ケテ言フタノデアルカ其邊ヲ一應議長ニ確メマス、若シ代理ノ意味ナリトセバ議會ニ於テハ國務大臣ハ代理ヲ爲スコトハ許サヌコトデアル……」ト述ヘタルニ一木內務大臣ハ「先刻私ガ代ッテト云フ言葉ヲ使ッタノハ、或ハ穩カデナカッタカモ知レマセヌガ、趣旨ハ總理大臣カ直接御答スヘキ所デアルケレドモ、私ガ此場合ニ於キマシテ、總理大臣ガ居ラレヌカラシテ此事ニ就テ御答ヲスル、斯ウ云フ意味テアッタ」ト答辯シ齋藤君ヨリ「單ニ國務大臣トシテデスナ」ト質シ一木內務大臣ハ「無論デス」ト答ヘ齋藤君更ニ「ソレナラバ宜シイ」ト述ヘタリ

第四十回議會　大正七年二月七日野村嘉六君ハ「內閣總理大臣ハ此重要ナル議會ニ於キマシテ連日缺席ニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ本日ハ廢減稅ノ最モ重大ナル案件ノアルニ拘ラズ御出席ノ無イノハ如何デアリマセウカ、若シモ御病氣デアッタナラバ——總理大臣故障ノ時ハ、他ノ大臣ヲシテ事務ヲ代理サセルノガ當然ダト信ジマス、未ダニ其手續カ出來テ居ラヌヤウニ見受ケマス、此點ニ對シテハ政府ハ如何ナル手續ヲ執ッテ居ラレルノデアリマスカ承リタウ御座イマス」ト質シタルニ後藤內務大臣ハ「事務上ニ差支ハ無イヤウニ致シテアリマス、又總理大臣ハ近日回復スル見込デアリマス、何等其間ニ事務ニ差支ハナイコトデアリマス」ト答ヘタリ

越ヘテ同十二日齋藤隆夫君ヨリ「總理大臣寺內伯爵ノ病氣御缺席ノ事ニ付キマシテ、去ル九日ノ豫算總會ニ於テ此十二日ノ豫算本會ニハ御出席ガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ質シマシタ所ガ、御病氣ハ追々宜シイ方デアルニ依テ、十二日ノ本會ニハ必ズ御出席ガ出來ルモノト思フ、若シ御出席ガ出來ナイヤウナコトガアッタナラバ、其時ニ至ッテ相當ナ取計ヲ爲スベシト云フ國務大臣ノ御答辯ガ有ッタノデアリマス、所ガ今日モマダ御病氣御缺席デアルト云フコトハ、洵ニ御同情ニ堪ヘザルト共ニ議會ノ爲ニ遺憾千萬ノ次第デアリマス、斯ル場合ニ處スルガ爲ニ、內閣官

制ノ第八條ニ於キマシテハ「內閣總理大臣ノ故障アルトキハ他ノ大臣臨時命ヲ承ケ其ノ事務ヲ代理スヘシ」ト云フ規定ガ有ルノデアリマス、而シテ先例ニ據リマシテモ曾テ伊藤公爵ノ御病氣ノ時ニハ井上侯爵ガ此官制ノ規定ニ依テ臨時ニ總理大臣ヲ代理セラレタコトガアルノデアリマス、又前內閣ノ當時ノ首相タル大隈侯爵ガ、烈シキ足痛ノ爲ニ一兩日豫算總會ヲ缺席セラレタコトガアリマス、其時ニ於キマシテハ政友會ノ元田肇君ノ如キハ、內閣ノ首腦者タル總理大臣ノ出席ガ無クシテ、何故豫算總會ヲ開クコトガ出來ルカト云ウテ、案ヲ叩イテ豫算總會ニ於テ一ノ大騷動ヲ起シタコトガアルノデアル、然ルニ寺內首相ハ、確カ豫算總會ノ初メ三日間ハ出席ヲセラレマシタガ、其後ノ總會及ビ分科會、引續イテ今日ノ本會ニ至ルマデ出席ガ無イノデアリマス、私ハ強イテ之ニ付テ出席ヲ強要スル者デハナイ、斯ル場合ニ處スルガ爲メ、內閣官制第八條ハ何ガ故ニ運用セラレタノデアリマス、當期議會ノ最モ此重大問題タル所ノ一國ノ財政計畫ヲ論ズルニ方リ——責任ノ首腦者タル所ノ總理大臣ノ出席ガナイト云フコトハ、洵ニ議會ヲ尊重スル所以デハナイト私ハ思フ、過日ノ質問ニ對シテハ十二日迄ニ出席ガ出來ヌナラバ、相當ノ取計ヒヲスルト云フコトデアッタ、相當ノ取計ヒ果シテセラレタノデアルヤ否ヤ、政府ニ於キマシテモ相當ナ御辯解ガアルト信ジマスガ、此際ニ於テ承ッテ置キタイノデアリマス」ト質シタルニ後藤內務大臣ハ「此事ハ總理大臣ガ連日缺席デ出席容易ニ出來ナイト云フ場合ニ於テハ臨時總理大臣ヲ置クト云フコトニモアリマスノデ、總理大臣ハ全ク一時ノコトデアリマシテ、本日ハ出席シヤウト云フコトヲ希望シテ居リマシタガ、臨時ニ尙ホ工合ガ惡イト云フノデ出席ガ出來ナクテ、今日ハ出席シマセヌ併ナガラ此總理大臣缺席ノ時ニ於テ、其職務ヲ代理スルコトニ付テハ閣議ノ上ニ其相當ノ處置ヲ執ル方法モ極ッテ居リマス、又臨時必要ノ場合ニ、其命ヲ受ケテ事ヲ處スルコトニナッテ居ルノデアリマス左樣ニ御承知下サイ」ト答辯シタリ然ルニ齋藤君ハ「唯今內務大臣ノ御答辯ニ依リマスルト云フト、閣議ニ依テ總理大臣ノ臨時代理ヲ勤ムルト云フヤウナコトヲ福談シタト云フコトデアル、總理大臣ノ臨時代理ハ閣議ニ於テ決定スベキモノデアリマスカ、官制ノ第八條ニハ勅令ヲ承ケナケレバ、正式ナル所ノ代理ハ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス其官制ヲ無視シテ國務大臣ガ勝手ニ總理大臣臨時代理ト云フコトガ出來ルノデアリマスカ」ト重ネテ質疑シ後藤內務大臣ハ「內閣官制第八條ノコトハ齋藤君カラ御說明ニナッテ居リマスカラ、ソレニ反對シテ閣議ニ依テ決議ヲシタト申シタ譯デハアリマセヌ、此臨時代理ヲ致スコトニ付テハ、命ヲ受ケテ居ルノデアリマス左樣ニ御承知下サイ」ト答辯セリ之ニ關シ三木武吉君ヨリ「本員ハ政府ニ對シテ臨時總理大臣ノ任命ハ何時アリシヤ、及ビ何人ニ對シテ下命セラレタルモノナルヤヲ御尋致シタイノデアリマス先刻我黨ノ齋藤隆夫君カラ內務大臣ニ對シテ爲シタル質問ノ答辯ニ、其第一回ノ答辯ト致シマシテハ、內務大臣ハ閣議ニ於テ總理大臣ニ代ルベキ

者ヲ定メテ此席ニ出テ居ルノデアルカラ、差支ナイト云フ御答辯ニナッタノデアル齋藤君ノ追究ニ依ッテ第二ニ答辯セラレタ、其答辯ノ要旨ハ命ヲ受ケテ總理大臣ノ事務ヲ代理スルノデアルト答辯サレタノデアリマス、第二ノ答辯ハ卽チ內閣官制ニ認メラレザル所ノ、不法ノ代理決議デアルト私ハ信ジマス內務大臣ノ答辯ガ前後ニ於テ矛盾ヲ爲シタル以上ハ其孰レガ眞ナリヤヲ確メルノ必要ガアルノデ御座イマス」ト質シ之ニ對シ後藤內務大臣ハ「齋藤君ハ內閣官制ノ正條ヲ引イテ御話デアリマシタ、其事ハ承知致シテ居リマスト斯ウ言ツタ、ソレカラ命ヲ受ケテ居ルカト言フカラ、命ハ受ケテ居リマス、併ナガラ今三木君ノ御尋ハ、齋藤君ノ命ヲ受ケテ居ルト云フ意義ヤヲ、混同シテ御尋ニナッタヤウデアリマス、此國務大臣ハ總理大臣ノ不在ノ時ニハ其首席ノ大臣、若ハ其差支ガアル後ニハ其次ノ大臣ガ、此或職務ニ就テ總理大臣ヲ代表シタ一部ノ事ヲ爲スト云フコトニ付テハ、命ヲ受ケテ居ル事ヲ申シタノデアリマス、而シテ又官報ニ出ストカ出ヌトカ言ヒマスガ、是ハ卽チ副署ヲシタリスルヤウナコトデ、卽チ臨時總理大臣トシテ全部ヲ代表スル場合デアル、其事ハ承知致シテ居ルト先刻言ッタノデアリマス其通リデアリマスカラシテ先刻誰方カ此席デ代理ヲスル者ハ誰デアルト云フ御尋ガアリマシタガ、別ニ申上ゲマセヌデシタ、ソレハ卽チ首席ノ大臣ガ其代表ヲ致シマス、ソレハ或事務ヲ其國務大臣タル者ガ代理ヲ致シマスノデアリマス」ト答辯セリ

六三六　政府委員其ノ資格ニ付テ辯明ス

第二十八回議會　明治四十五年三月二十五日請願委員長提出寺院境內地下戻ニ關スル法律案ノ第一讀會ニ於テ政府委員上山農商務省山林局長ノ意見ニ對シ鵜澤總明君ハ「政府委員ハ政府ノ全體ヲ代表シテ御答ヲナスッタノデアリマセウカ、或ハ單ニ農商務省ヲ代表シテノ御答デアリマセウカ、本案ハ……單純ナル山林局ノ問題デナイト思フノデアリマス、宗教ニ關スル大問題デアリマスカラ、若シ政府委員ガ政府全體ヲ代表シテノ御答辯デアルト云フコトナラバ其趣旨ヲ尙明白ニシテ置イテ戴キタイト思ヒマス」ト問ヒタルニ上山政府委員ハ「私ハ農商務省ノ政府委員デアリマスカラ農商務省ニ關係スルコトノ意見ヲ述ベル、尤モ農商務省ノコトニ關係ヲシタ政府全體ノ勿論意見デアリマス」ト答ヘタリ

六三七　議員ノ發言ニ關シテ政府委員ヨリ議長ニ其ノ處分ヲ求ム

第四回議會　明治二十五年十二月二十三日長谷川泰君ノ質問ノ趣旨辯明後政府委員久保田讓君ハ「只今長谷川君ノ發言中ニ文部ノ官吏ハ違勅ノ罪人ダト云フコトヲ私ノ耳ニハ這入リマシタ尚文部省ハ化物屋敷デアルト云フコトヲ申シマシタコレハ議院法ノ第九十二條ニアル無禮ノ語デハアリマセヌカ如何デアリマスカト云フコトヲ議長ニ御問ヒ申シマス」ニ對シ議長（星亨君）ハ「議長ハ無禮ナ言葉トハ認メマセヌ何故ト云ヘバ卽チ一個ノ人ガ此ウ斯ウ云フモノデアラウト云フテ自ラノ說ヲ吐クノデ斷言ヲシタモノトハ認メナイソウスレバソレハ無禮ナ言葉トハ認メナイ」ト告ケタリ

第六回議會　明治二十七年六月一日請願委員會ノ特別報告ニ係ル地租引當米過剩金下戻ノ請願ノ會議ノトキ政府委員兒玉陸軍次官ノ「本員ニ於テハ議長ニ望ミマスル宜シク齋藤珪次君ヲシテ我陸軍ノ蒙ムリマシタ處ノ汚名ノ不當ナルコトヲ謝セラレンコトヲ希望シマス」ニ對シ議長（楠本正隆君）ハ「議長ハ齋藤君ニハ命令ヲ下シマセヌ」ト告ケタリ

六三八　政府委員ハ一箇人ノ資格ヲ以テ演說スルコトヲ得ス

第六回議會　明治二十七年五月二十四日政府提出（戊）鐵道比較線路決定ニ關スル法律案ノ第二讀會ニ於テ加藤平四郎君ノ演說ニ對シ政府委員兒玉陸軍次官ハ「唯今ノ加藤君ノ御演說ニ對シマシテハ少シク辯ゼナケレバナラヌト考ヘマス此ノ鐵道ノコトニ就イテ請願者諸君ニハ澤山御目ニ懸リマシタ或ハ加藤君ニモ御目ニ懸ッタコトガアルカ知レマセヌ然ルニ其ノ御方ニ向ッテ御話スル時分ニ每々御斷ヲ申シマス私ハ此場合ニハ一箇人ノ考ヲ以テ御話致シマス」ト述ヘタルニ議長（楠本正隆君）ハ「公私ノ別ヲ明カニシテ御述ベナサイ一箇人ニ關スルコトハイケマセヌ」ト告ケ政府委員兒玉陸軍次官ハ「ソレデハ止メニシマセウ」ト云ヒ其ノ發言ヲ止メタリ

第二章　貴族院トノ關係

六三九　貴族院ヨリ回付シタル議案ニ對シ同意不同意ヲ表ス

本院送付若ハ提出ニ係ル議案ニ對シ貴族院ニ於テ修正ヲ加ヘ回付シタル場合ニハ本院此ノ修正ニ同意シタルトキハ之ヲ奏上スルト同時ニ其ノ旨ヲ貴族院ニ通知シ若同意セサルトキハ兩院協議會ヲ開クコトヲ求ムヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ結果ヲ議場ニ報告スル而シテ兩院協議會ニ於テ成案ヲ得タルトキハ其ノ成案ニ對シテ可否ヲ決スルモノトス

（一）回付案ニ同意シタル例

第四回議會　明治二十五年十二月九日今井磯一郎君提出度量衡法追加案ヲ可決シ貴族院ヘ提出シタルニ同院ハ修正ヲ加ヘ之ヲ回付セリ本院ハ同二十六年二月十五日之ヲ議事ニ付シ其ノ修正ニ同意シタリ

其ノ他同會期ニ於テ二件、第六回議會ニ一件、第八回議會ニ四件、第九回議會ニ二件、第十回議會ニ四件、第十二回議會ニ一件、第十三回議會ニ十件、第十四回議會ニ十件、第十五回議會ニ四件、第十六回議會ニ八件、第十八回議會ニ二件、第二十回議會ニ一件、第二十一回議會ニ二件、第二十

二回議會ニ一件、第二十三回議會ニ二件、第二十五回議會ニ七件、第二十六回、第二十七回、第三十回議會ニ各一件、第三十一回議會ニ二件、第三十六回議會ニ一件、第三十七回議會ニ五件、第三十九回、第四十回議會ニ各一件、第四十一回、第四十三回議會ニ各四件、第四十四回議會ニ八件、第四十五回議會ニ三件、第四十六回議會ニ六件ハ孰レモ貴族院ノ修正ニ同意セリ

（ニ）回付案ニ同意セサリシ例

（イ）兩院協議會ノ成案ヲ得タル場合

本會議ニテ可決シタルモノ

第四回議會　明治二十五年十二月十二日伊藤大八君外二名提出集會及政社法改正案ヲ修正シテ貴族院ヘ提出同院ハ修正ヲ加ヘテ回付セリ本院ハ同二十六年二月十四日回付案ニ同意セス兩院協議會ヲ開キ同月二十三日其ノ成案ヲ可決シタリ

其ノ他同會期ニ於テ一件、第十三回議會ニ五件、第十四回、第十五回、第二十二回、第二十四回、第二十五回、第二十六回議會ニ各一件、第二十七回議會ニ二件、第三十七回議會、第三十八回、第四十回議會ニ各一件同一ノ事例アリ

本會議ニテ否決シタルモノ

第四回議會　明治二十五年十二月十五日箕浦勝人君外二名提出新聞紙條例改正案ヲ可決シ貴族院ヘ提出同院ハ修正ヲ加ヘテ回付セリ本院ハ同二十六年一月十六日回付案ニ同意セス兩院協議會ヲ開キ成案ヲ得タルモ二月二十八日其ノ成案ヲ否決シタリ

其ノ他第八回、第九回、第十三回、第十六回、第二十五回、第二十六回、第二十七回、第二十八回、第三十一回議會ニ各一件同一ノ事例アリ

（ロ）兩院協議會ニ於テ成案ヲ得サリシ場合

第十三回議會　明治三十二年二月二十三日政府提出衆議院議員選擧法改正法律案ヲ修正シテ貴族院ヘ送付シタルニ同院ハ三月九日修正ヲ加ヘテ回付セリ本院ハ同日之ニ同意セス兩院協議會ヲ開キタルモ協議成ラス貴族院ノ修正ヲ否決シタル爲全ク成案ヲ得サリキ

【參照】

本院ハ貴族院ノ修正ヲ否決スルトキハ當然ニ本院送付案ノ通成案ヲ得タルモノト認メ本會議ニ於テ之ヲ可決シ貴族院ニ送付シタルモ同院ハ之ヲ否認シタリ

（ハ）兩院協議會ヲ開クニ至ラサリシ場合

第九回議會　明治二十九年三月十九日政府提出香川縣下郡廢置法律案ヲ修正シテ貴族院ヘ送付シタルニ同院ハ三月二十六日修正ヲ加ヘテ回付セリ本院ハ同月二十八日回付案ニ同意セサルニ決シタルモ本會期終了ノ爲遂ニ兩院協議會ヲ開クニ至ラス

其ノ他第十回議會ニ一件、第十二回議會ニ二件同一ノ事例アリ

(三) 回付案議決ニ至ラサリシ例

第三十一回議會　大正三年三月二十三日白川友一君外三名提出輕便鐵道補助法中改正法律案ヲ可決シ貴族院ヘ提出貴族院ハ三月二十三日修正ヲ加ヘテ回付セルニ同日議會停會トナリ次テ會期終了ノ爲議決ニ至ラサリキ

其ノ他第四十五回議會ニ一件同一ノ事例アリ

參看　一八〇號、附錄一二ノ(五)

六四〇　兩院協議委員ヲ議場ニ於テ選擧ス

兩院協議委員ノ選擧ハ議長指名、各部選擧若ハ議場選擧ニ依レルモ近時議場選擧ニ依ルノ傾向トナレリ而シテ其ノ數ハ十名トスルヲ例トス

第三十九回議會　大正六年七月十二日政府提出貴族院回付製鐵業奬勵法案ノ會議ニ於テ院議貴族院修正ニ不同意ト決シ議院法第五十五條ニ依リ兩院協議委員ノ選擧ヲ議題トシタルトキ元田肇君ハ「此際十名ノ委員ヲ當議場ニ於テ選擧致シマシテ、貴族院ニ此協議會ヲ開クコトヲ求メタイト思ヒマス」トノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタルヲ以テ十名連記投票ニ依リ選擧シタリ

參看　一六〇號

六四一　兩院協議委員ノ補闕選擧ハ議長指名ノ方法ニ依ル

第三十一回議會　大正三年三月十七日大正三年度歲入歲出總豫算案ニ付議場ニ於テ選擧セラレタル兩院協議委員奧繁三郎君其ノ委員ヲ辭任セルニ付同月十九日中村啓次郎君ノ動議ニ依リ議事日程ヲ變更シテ右補闕選擧ノ件ヲ院議ニ付シ中村啓次郎君ハ右補闕選擧ハ議長ノ指名ヲ以テスヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ニ異議ナカリシヲ以テ議長(奧繁三郎君)ハ直ニ佐竹作太郎君ヲ指名セリ

參看　一四四號

六四二　兩院協議會ノ成案成立セサリシトキ本院議決案ヲ成案トシテ貴族院

ニ送付ス

第十三回議會　明治三十二年三月九日衆議院議員選擧法改正法律案ノ兩院協議會ニ於テ協議會ノ請求ニ應シタル貴族院ノ議決案ハ否決スヘキモノト議決シ而シテ請求シタル本院ノ議決案ハ修正トシテ提出セラレサリシヲ以テ形式上成案ナカリキ然ルニ同日ノ本會議ニ於テ協議會委員星亨君ハ協議會議長ニ代リ兩院協議會ノ經過ヲ述ヘ次テ「遂ニハ此案ガ否決スベキモノデアルト云フコトガ協議會ニ於テ決定シタノデアル其案ハ否決スベキモノデアルト云フ案ハ何デアルカト云ヘバ貴族院ガ衆議院ノ案ヲ修正致シマシタ所ノ案ハ卽チ今日ノ協議會ノ原案デゴザイマス　カラ是ハ否決スベシト云フコトニナッタノデアル……サレバ吾々ノ貴族院ノ案ニアラズシテ衆議院ノ案ガ可決スベキモノトナッテ貴族院ノ案ハ否決スベキモノトナッタノデゴザイマス卽チ成案ガ玆ニ成立タナイノデゴザイマスカラシテ宜シク諸君ニ於テハ彼ノ貴族院ノ案ハ否決ト定メ而シテ衆議院ノ案ハ可決ト御定メニナルコトヲ希望致シマスノデゴザイマス」ト報告シ議長（片岡健吉君）ハ「今兩院協議會ノ議長ニ代ッテ星亨君カラ報道ニナリマシタ此報道ニ付テハ御異議アリマスマイカ」ト諮ヒタルニ異議ナク之ヲ可決シ貴族院ヘ送付シタリ卽チ左ノ如シ

衆議院議員選擧法改正法律案

右本院ニ於テハ衆議院議決案ヲ成案トシテ可決セリ因テ議院法第五十六條ニ依リ及送付候也

貴族院ニ於テハ衆議院カ兩院協議會ニ於テ採決セサル議決案ヲ成案トシテ議決シ送付シタルハ違法ノ議決ト思料スルニ依リ本案ノ可否ヲ決スルニ及ハス衆議院ノ議決ヲ否認シ衆議院ヨリ送付セシ成案ハ自然否決シタルモノト看做スコトニ議決セリ

六四三　豫算協贊權ニ關スル貴衆兩院ノ爭議及決裁

第三回議會　明治二十五年度豫算追加案ハ明治二十五年五月七日本院ニ提出セラレ本院ハ同月三十一日之ヲ修正議決シ翌六月一日貴族院ニ送付シタルニ貴族院ハ之ヲ修正シ更ニ本院カ削除シタル歳出臨時部海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ挿入シ同月六日本院ニ回付シタルヲ以テ本院ハ同月九日山田東次君ノ動議ニ依リ左ノ議決ヲ爲シ直ニ之ヲ貴族院ニ返付シタリ

明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ニ對シ貴族院ニ於テ海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ更ニ挿入シタルハ不合法ノ議決ト認ムルヲ以テ本院ハ之カ回付ヲ受クヘキモノニアラス

貴族院ハ翌十日更ニ左ノ議決書ヲ添ヘ豫算追加案ニ對シ本院ニ於テ海軍省所管第一款及文部省所管第二明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ニ對シ本院ニ於テ海軍省所管第一款及文部省所管第二款ヲ更ニ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ衆議院ハ之カ回付ヲ受クヘキモノニアラスト

衆議院ニ於テ議決ヲ爲シタルモ本院ニ於テハ合法ノモノト確定ス依テ其ノ通牒ヲ受領セス
是ニ於テ議長(星亨君)ハ即日左ノ書面ヲ附シテ再ヒ貴族院ニ送付シタル後之ヲ議場ニ報道シタリ
本日貴院ヨリ更ニ御回付ノ明治二十五年度豫算追加案ハ既ニ昨九日本院ニ於テ其ノ回付ヲ受
クヘキモノニアラスト決議シタルモノニ付直ニ及返送候也
貴族院ハ翌十一日此ノ事件ヲ　陛下ニ上奏シテ勅裁ヲ仰キタリ上奏ニ曰ク
貴族院議長臣茂韶　誠恐誠惶貴族院ノ決議ヲ以テ恭ク
叡聖文武　天皇陛下ニ上奏ス
本院ハ政府ヨリ提出シ衆議院ヨリ送付サレタル明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ヲ議スル
ニ當リ衆議院ノ削除シタル海軍省所管第一款軍艦製造費及文部省所管第二款震災豫防調査會設
備費ノ兩款ヲ急要ノ歳出ナリト認メ憲法ニ依リテ與ヘラレタル協賛ノ權ニ依リ政府ノ原案ニ基
キ衆議院ノ修正案ヲ修正シ議院法第五十五條ニ依リ衆議院ニ移シタリ抑豫算案ハ前ニ衆議院ニ
提出セラルルノ外憲法上豫算ニ對スル協賛ノ職權ニ於テ兩院ノ間ニ輕重スル所ナキヲ信シ又此
職權ニ依テ修正ヲ行フニ當リ政府ノ提出セル原案ノ款項ヲ復スルニ付テハ法律上何等ノ制限ナ
キヲ信ス是ヲ以テ本院ハ憲法ノ命スル職務ヲ盡シ且議院法ノ手續ヲ履ミ以テ衆議院ノ同意ヲ求
メタリ然ルニ衆議院ハ更ニ之ヲ挿入シタルハ不合法ノ議決ナルヲ以テ回付ヲ受クヘキモノニア

ラストシテ返付セリ本院ニ於テハ本院ノ議決ヲ合法ノモノト確信スルヲ以テ更ニ之ヲ衆議院ニ
回付シタルニ衆議院ヨリ再應返付シ兩院ノ所見遂ニ相合フ能ハサルニ至レリ今憲法上ノ疑義ニ
關シ兩院ノ所見互ニ相合ハス從テ憲法ノ進行ヲ現在及將來ニ妨クルノ懼アルニ於テ本院ハ謹テ
狀ヲ具ヘ上奏シ仰テ
聖明ノ親裁ヲ待ツアルノミ恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ上奏ス
越ヘテ十三日貴族院ハ本院ニ左ノ通牒ヲ爲シタリ
明治二十五年度歳入歳出總豫算追加案ニ對スル貴院ノ通牒ニ關シ本院ニ於テ上奏候處別紙寫ノ
通本日内閣總理大臣ヨリ
勅諭傳達相成候間該案更ニ及回付候也
(別紙)
其院六月十一日附ノ上奏ノ件ハ憲法上ノ疑義ニ屬スルヲ以テ朕ハ之ヲ樞密顧問ニ諮詢シタリ
樞密顧問ハ憲法第五十六條ニ依リ議決シテ上奏スルコト左ノ如シ
憲法上豫算ニ對スル貴族院及衆議院ノ協賛權ハ我帝國憲法第六十五條ニ依リ衆議院ハ貴族
院ニ先チテ政府ヨリ豫算案ノ提出ヲ承クルノ外兩院ノ間ニ軒輊スル所ナキ者ナリ
故ニ後議ノ議院ハ前議ノ議院ニ對シテ何等羈束セラルルコトナク從テ前議ノ議院ニ於テ削

除セル款項ヲ存留スルハ素ヨリ後議ノ議院ノ修正權内ニ屬スヘキモノトス但シ後議ノ議院ハ前議ノ議院ニ對シ議院法ノ命スル所ニ依リ同意ヲ求ムルヲ以テ唯一ノ手續トスルノミ朕ハ此ノ樞密顧問ノ議決ヲ採納シテ其院ノ上奏ニ答ヘ之ヲ領知セシム

明治二十五年六月十三日

御名御璽

内閣總理大臣　伯爵　松方正義

本院ハ右ノ通牒ヲ受領シタルヲ以テ同月十四日再ヒ豫算追加案ノ會議ヲ開キ兩院ノ交涉ニ係ル二款ヲ議題ト爲シ前議決ノ如ク共ニ之ヲ否決シ議院法ノ命スル所ニ從ヒ直ニ協議會ヲ貴族院ニ請求シタリ

六四四　年末年始ノ休會期間ハ兩院同一ナルヲ例トス

第一回議會以來貴衆兩院ハ年末年始ノ爲休會スルノ慣例ニシテ其ノ期間ハ概ネ同一ナリトス

參看　二五五號、附錄一五ノ（八）

六四五　本院議員ノ演說ニ對スル貴族院ノ決議及本院議長ノ宣告

第十六回議會　明治三十五年三月五日根本正君ノ貴族院令改正ニ關スル質問ノ趣旨辯明ニ對シ貴族院ハ同月七日左ノ決議ヲ爲シタリ

明治三十五年三月五日衆議院ニ於テ同院議員根本某ノ爲シタル貴族院令改正ニ關スル演說ハ貴族院ヲ侮辱シタルモノナリ本院ハ衆議院カ此ノ如キ演說ヲ寬容シタルハ不當ナリト認メ玆ニ之ヲ決議ス

翌八日議長（片岡健吉君）ハ開議ノ始メニ於テ右決議文ヲ朗讀シタル上議長ハ貴衆兩院ハ互ニ敬禮ヲ以テ相對スルト同時ニ各自其ノ權域ヲ恪守スヘキモノニシテ他院ノ言動ヲ監督スルノ權利ナキモノト信スル旨ヲ宣告シタリ

第四編　議院ノ法規及典禮

第一章　議院法規ノ議定及改正

六四六　衆議院規則ヲ議定ス

明治二十三年十月十日勅令第二百二十號ヲ以テ兩議院ノ成立規則ヲ公布セラル

朕帝國議會初度ノ召集ニ際シ議院時ニ及テ自ラ其ノ規則ヲ定ムルノ困難ナルヲ顧念シ茲ニ必要ヲ認メ兩議院ノ爲メニ假ニ成立規則ヲ公布セシメ成立ノ際各議院ヲシテ遵依スル處アラシムトアリテ集會ノ日時ヨリ議長副議長候補者選擧議席部屬及部長理事ノ互選竝成立通牒等ノ手續ヲ定メラル議院ハ開院式擧行ノ翌々日即チ二十三年十二月一日議院規則起草委員九名ヲ選擧シ委員ハ即日其ノ原案ヲ報告シ院議之ヲ可決シタリ此ノ第一回議會ニ議定シタル議院規則ハ常置規則トナレリ

第二回議會　明治二十四年十一月二十一日召集ノ當日議長（中島信行君）ハ議席部屬ヲ定ムルニ當リ「即チ議院規則ノ第十五條ノ手續ヲ行ヒマス依テ昨年ノ例ニ依ッテ施行致シマス異議ガナ

クバ其通リ」ト宣告シタリ

第三回議會　明治二十五年五月二日召集ノ當日書記官長（水野遵君）ハ「本日ノ選擧ニ就キマシテハ第一議會ノトキニ極リマシタ衆議院規則ノ中ニ記載シテゴザイマスル選擧手續ヲ御意見ガゴザイマセンケレバ夫ニ依ッテ選擧ヲ致シマス、モウ一ツハ選擧ノ手續及投票點檢ノ心得等モ此頃印刷ノ上デ皆樣ニ御配布致シマシタル如ク卽チ第一回ノ議會ノ時ノ先例デゴザイマスル故ニ御意見ガナケレバ右ノ先例ニ依ッテ投票ヲ行ヒタイト思ヒマス」ト諮ヒタルニ異議ナカリキ又議長就職ノ後議長（星亨君）ハ特ニ議場ニ諮問スルコトナク前規則ヲ施行シ爾後當然之ヲ適用シタリ

此ノ常置規則ニ對シテハ第一回議會以來多少改正ヲ爲シタリ附錄中ニ輯錄セリ

參看　附錄一四ノ（一）

六四七　兩院協議會規定ヲ設ク

第一回議會　明治二十三年十二月十一日青木匡君ノ動議ニ依リ貴衆兩院交涉事務ノ規程草案ヲ調査セシムル爲委員ヲ選擧シ議院法第六十一條ニ依リ本院委員ト協議セラレ度旨ヲ貴族院ニ照會シ其ノ後貴族院ノ通牒ニ依リ本院ノ委員貴族院委員會ニ出席シテ兩院協議會規程ヲ協議決定シ兩院ニ於テ之ヲ可決シタリ

參看　附錄一四ノ（五）

六四八　法律ノ制定ニ關スル請願取扱規則ヲ設ク

第二十二回議會　明治三十九年三月十九日竹越與三郎君外二名ヨリ請願ニ關シ決議案ヲ提出シ院議之ヲ委員ニ付託シ同月二十二日委員會ノ修正案ヲ可決シタリ

參看　附錄一四ノ（二）

六四九　投票ニ關スル規則ヲ設ク

第二十六回議會　明治四十二年十二月二十五日全院委員長ノ選擧ニ際シ鳩山和夫君外八名ヨリ投票ニ關スル規則ヲ提出シ院議選擧ニ先チ之ヲ可決シタリ

參看　附錄一四ノ（三）

六五〇 質問ニ關スル規程ヲ定ム

第二十六回議會　明治三十二年二月一日議長ノ提案ニ係ル質問ニ關スル規程ハ各派協議會ニ於テ協議ノ結果二月五日ヨリ試ニ之ヲ實行スルニ決シ爾來此ノ規程ヲ遵行セリ

參看　二二〇號、五三七號、附錄一四ノ四）

第二章　議院ノ典禮

第一節　天機伺

六五一 院議ニ依リ議長　天機竝御機嫌ヲ奉伺ス

第一回議會　明治二十四年一月二十日末松謙澄君ハ議場燒失御近火ニ付議長ヲシテ參內　天機伺ヲ爲サシムヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ議長（中島信行君）ハ卽日參內　天機ヲ奉伺シタリ

第十回議會　明治三十年一月十一日議長（鳩山和夫君）ハ會議ニ先チ　皇室ニ關シ報道スヘキコトアリト告ケ敬意ヲ表スル爲總議員ノ起立ヲ求メ「今朝午前一時三十分ニ其筋カラシテ　皇太后陛下ハ去ル八日ヨリ肺炎ニ罹ラセラレ御重症ニ渉ラセラルル趣ノ通牒ニ接シマシタ議長ハ取敢ヘズ直ニ青山御所ニ伺候致シマシテ　天機ヲ伺ヒ奉リマシタ然ルニ頗ル痛心ニ堪ヘザルモノデゴザイマス尙ホ　兩陛下ニ於カセラレマシテモ御心ヲ惱マサセラレ給フ由ヲ拜承致シマシテ實ニ恐懼ノ至ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス」ト報告シタルニ大東義徹君ハ本院ハ恐懼ノ意ヲ表スル爲本日ハ休會シ議長ハ本院ヲ代表シテ青山御所竝宮中ニ參內シ　天機ヲ奉伺スヘシトノ動議

ヲ提出シ本院ハ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ卽日參內　天機ヲ奉伺シタリ

第十二回議會　明治三十一年五月三十一日星松三郎君ヨリ伊勢大廟御屋根燒損ニ付議長ヲシテ天機伺ヲ爲サシムヘシトノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シ議長(片岡健吉君)ハ翌日參內　天機ヲ奉伺シタリ

第十三回議會　明治三十二年一月十三日副議長(元田肇君)ハ昨十二日官報號外ヲ以テ　貞宮多喜子內親王殿下去ル十一日午後十一時五十分薨去遊ハサレタル旨公布アリタルニ依リ玆ニ協議會ヲ開ク旨ヲ宣告シ第一本院ハ弔意ヲ表スル爲議長ヲシテ參內ノ上　天機ヲ伺ハシムルコト第二御葬儀ノ當日本院ハ特ニ休會ヲ爲シ哀悼ノ意ヲ表シ議長ヲシテ本院ヲ代表シ靈柩ヲ奉送セシムルコトノ二件ニ付先ツ第一ヲ協議ニ付シ第二ハ本會議ニ於テ議決スヘキ旨ヲ以テシタルモ恒松隆慶君ノ動議ニ依リ本會議トシテ此ノ二件ヲ可決シ副議長ハ翌日參內　天機ヲ奉伺シタリ

第二十九回(臨時)議會　大正元年八月二十四日議長(大岡育造君)ハ會議ニ先チ「皇太后陛下ニ對シ奉ッテ國民哀悼ノ至誠ヲ捧ゲルタメニ本院ノ決議ヲ以テ議長ヨリ　天機奉伺ヲ申上ゲタイノデアリマス御贊成ノ諸君ノ起立ヲ希望致シマス」ト發議セルニ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ卽日參內　天機ヲ奉伺シタリ

第四十七回(臨時)議會　大正十二年十二月十二日議長(粕谷義三君)ハ日程ニ入ルニ先チ「去ヌル九月一日ノ震災ハ洵ニ前古未曾有ノ慘事デアリマシテ畏クモ　兩陛下ニ於カセラレマシテハ深ク御心ヲ惱マサセラレ　攝政殿下亦御憂慮遊バサレマシタコトハ洵ニ恐懼シ奉ル所デアリマス此度ノ震災ニ依リマシテ、宮城ノ一部ハ破損致シタル趣ヲ承リ、宮家ニ於カセラレテハ蕨去遊バサレタル御方々モアラセラレマス、重ネ々々恐懼ニ堪ヘザル次第デアリマス、當時議長ハ取敢ヘズ　天機竝御機嫌ヲ奉伺致シマシタガ更ニ院議ヲ以テ　天機ヲ奉伺シ、且ツ　皇后陛下竝　攝政殿下ニ對シ奉リ御機嫌ヲ奉伺致シタイト存ジマス、御贊成ノ諸君ハ御起立ヲ願ヒマス」ト發議セルニ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ卽日參內　天機竝皇后陛下　攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺シタリ

第四十八回議會　大正十二年十二月二十七日議長(粕谷義三君)ハ「諸君申スモ長多イ事デゴザイマスルガ、本日　攝政殿下開院式ニ行啓アラセラレマスル際ニ、虎ノ門附近ニ於テ容易ナラザル不敬ノ行動ヲ爲シタル者ガゴザイマシタサウデアリマス、洵ニ恐懼措ク能ハザル次第デアリマス、議長ハ議院ヲ代表致シマシテ、直ニ參內シテ　天機ヲ奉伺シ、　皇后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺シタク存ジマス、御異議ゴザイマセヌケレバ、諸君ノ御起立ヲ願ヒマス」ト發議シタルニ全會一致ヲ以テ之ヲ可決シ議長ハ卽日參內　天機竝皇后陛下ノ御機嫌ヲ奉伺シ更ニ赤坂離宮ニ參殿　攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺シタリ

六五二 議長副議長及議員 天機竝御機嫌ヲ奉伺ス

明治四十五年七月二十日 聖上陛下御違例ノ趣發表セラレ議長(大岡育造君)ハ卽日參內シテ 天機ヲ奉伺シ其ノ後御重態ノ報ヲ 拜受シ二十六日、二十九日午前午後兩度參內シ 副議長(肥塚龍君)ハ二十九日參內シ 天機ヲ奉伺セリ又議員ハ各自參內シテ 天機ヲ奉伺セリ

大正三年四月九日 皇太后陛下御重患ニ渉ラセラレタルニ付議長(奥繁三郎君)ハ參內シテ 天機ヲ奉伺シ十日沼津御用邸ヘ御見舞トシテ參候セリ

第四十三回議會 大正九年七月二十六日 聖上陛下御不例ニ渉ラセラルニ付議長(奥繁三郎君)衆議院ヲ代表シテ 天機ヲ奉伺シ當日ノ會議ニ入ルニ先チ其ノ旨及御容態ニ付議場ニ報告セリ

大正十年十一月二十六日 皇太子殿下攝政御就任ニ付議長(奥繁三郎君)ハ衆議院ヲ代表シテ參內 天機ヲ奉伺シ次テ 皇后陛下竝東宮殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)

尙當日ヨリ三日間ニ於テ在京議員ハ 天機竝 皇后陛下 皇太子殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ

第四十六回議會 大正十二年二月四日 伏見宮貞愛親王殿下薨去ニ付同月六日副議長(粕谷義三君)ハ衆議院ヲ代表シテ 天機竝皇后陛下 攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ(各派協議會ノ決議ニ依ル)

第四十八回議會 大正十三年一月十五日副議長(松田源治君)ハ同日早朝强震アリタルヲ爲衆議院ヲ代表シ參內 天機竝皇后陛下 攝政殿下ノ御機嫌ヲ奉伺セリ

參看 附錄三ノ(七)

第二節 皇室ニ對スル慶賀及敬禮

六五三 卽位ノ大禮ニ付賀表ヲ捧呈ス

第三十一回議會 大正三年三月十三日會議ノ始メ日程ヲ變更シテ奥繁三郎君ハ卽位ノ大禮ニ付賀表捧呈ノ決議案(議長ハ卽位ノ大禮御擧行ノ際本院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈スヘシ)ヲ提出シテ其ノ趣旨辯明ヲ爲シ議長(長谷場純孝君)ハ院議ニ諮ヒ之ヲ採決セシニ全員起立シテ贊成ノ意ヲ表シ可決シタリ而シテ卽位ノ大禮ハ大正三年秋季ニ擧ケサセラルル筈ナリシモ諒闇中ノ故ヲ以テ中止セラレ更ニ大正四年十一月十日御擧行ニ付衆議院ニ於テハ閉會中ナリシモ右議決ニ基キ賀表捧呈ノ爲起草委員ヲ設クルコトトナリ各派協議會ヲ開キ委員ヲ設ケテ賀表ヲ起草シ議長(島田三郎君)ハ四年十一月九日京都御所ニ於テ之ヲ捧呈セリ

參看 附錄三ノ(三)

六五四　皇太子殿下御結婚御成約竝御結婚ニ付奉賀

第十四回議會　明治三十三年二月十一日田中宮内大臣ヨリ　皇太子殿下（嘉仁親王）御結婚御成約アラセラレタル旨ノ通牒ヲ受領シタルニ付翌十二日議院ハ全會一致ヲ以テ議長起草ノ賀表案ヲ可決シタリ而シテ　兩陛下ニ捧呈スヘキ賀表ハ議長（片岡健吉君）同日參内德大寺侍從長ヲ經テ之ヲ捧呈シタリ

又　皇太子殿下ニ捧呈スヘキ賀表ハ副議長（元田肇君）葉山御用邸ニ伺候シ之ヲ捧呈スヘキノ處流行感冒ノ爲前日迄引籠ラレタルニ付御遠慮申上ケ院議ヲ以テ全院委員長（長谷場純孝君）ニ委託シ同君ハ十三日參殿黒田東宮武官長ヲ經テ之ヲ捧呈シタルニ左ノ御言葉ヲ賜ハリタリ

衆議院議員等ノ敬意ヲ滿足ニ思フ

又明治三十三年五月十日　皇太子殿下（嘉仁親王）御結婚ノ大典ヲ擧ケサセラルルヤ議會閉會中ナリシモ議長（片岡健吉君）ハ議院ヲ代表シテ賀表ヲ捧呈シタリ

尙議長副議長議員及本院高等官ハ奉祝ノ意ヲ表スル爲鐵打出シ金銀象嵌花瓶壹對ヲ獻納シタリ

大正十一年九月二十八日　皇太子殿下（裕仁親王）御結婚御成約ニ付議長（奥繁三郎君）ハ議院ヲ代表シテ參内宮内大臣ヲ經テ賀表ヲ捧呈シ又同日東宮假御所ニ參殿　皇太子殿下ニ拜謁ノ上賀表ヲ捧呈シタルニ左ノ御言葉ヲ賜ハリタリ

衆議院ノ敬意ヲ謝ス

第四十八回議會　大正十三年一月十六日　皇太子殿下（裕仁親王）御結婚御日取御治定ニ付副議長（松田源治君）ハ衆議院ヲ代表シテ參内　天皇皇后兩陛下竝　皇太子殿下ニ御祝詞ヲ言上シ更ニ久邇宮邸ニ參殿御祝詞ヲ言上セリ

同　一月二十二日議長（粕谷義三君）ハ來ル一月二十六日　皇太子殿下（裕仁親王）御結婚ノ禮ヲ行ハセラルルニ付奉祝ノ誠意ヲ表スル爲賀表及賀牋ヲ捧呈スヘシトノ發議ヲ爲シ議長ノ起草セル案文ヲ滿場一致可決セリ而シテ　兩陛下ニ捧呈スヘキ賀表ハ同月二十六日議長參内シテ之ヲ捧呈シ又　皇太子殿下ニ捧呈スヘキ賀牋ハ東宮假御所ニ參殿シテ之ヲ捧呈セリ尙御結婚奉祝ノ爲本院議員一同ヨリ獻上ヲ願出タル銀製花盛器一箇ハ珍田東宮大夫ヨリ御採納成ヘキ旨ノ通牒ヲ受領シタルモ現品未完成ニ付副議長（松田源治君）ハ同月二十五日東宮假御所ニ參殿シテ其ノ目錄ヲ捧呈シ四月八日本院書記官東宮假御所ニ參殿同所獻品取扱主任事務官ノ手ヲ經テ獻納ヲ了シタリ

參看　附錄三ノ(一)、(二)、(六)

六五五　立太子式ニ付賀表ヲ捧呈ス

大正五年十一月三日　裕仁親王殿下立太子ノ禮ヲ行ハセラルルヤ議會閉會中ナリシモ議長（島田三郎君）ハ議院ヲ代表シテ參內賀表ヲ捧呈シ又東宮御所ニ參殿シ賀表ヲ捧呈シタリ

六五六　皇太子殿下御成年式ニ　兩陛下竝皇太子殿下ニ賀表及賀牋ヲ捧呈ス

第四十一回議會　大正八年三月二十五日開會劈頭議長（大岡育造君）ハ「御諮リ申ス事ガアリマス、來ル四月二十九日　皇太子殿下　御成年式ヲ擧ゲサセラルヤニ拜聞致シマス、就テハ此際　兩陛下竝ニ　皇太子殿下ニ賀表ヲ捧呈致シタイト存ジマス、其賀表及捧呈ハ議長ニ御一任アラムコトヲ望ミマス」ト告ゲ全會一致ヲ以テ可決シ五月七日議長ハ賀表及賀牋ヲ捧呈シタリ

六五七　皇子、皇孫御降誕ニ付參賀

第五回議會　明治二十六年十一月三十日　皇子（滿宮輝仁親王殿下）御降誕ニ付副議長（楠本正隆君）ハ本院ノ議決（十二月二日）ニ依リ同年十二月四日宮內大臣ヲ經テ祝賀ヲ言上シタリ

第二十一回議會　明治三十八年一月三日官報號外ヲ以テ　皇孫光宮宣仁親王殿下御降誕アラセラレタル旨公布アリタルニ依リ同月五日議長（松田正久君）ハ議院ヲ代表シ宮城竝東宮御所ニ參賀シタリ

第三十七回議會　大正四年十二月七日議長（島田三郎君）ハ「去ル二日皇子（澄宮崇仁親王殿下）御降誕アラセラレマシタ就キマシテハ議長ハ本院ヲ代表シテ　皇室ニ御祝賀ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、御異議ガナケレバ起立ヲ望ミマス」ト告ケ總員起立ノ上全會一致可決シタルヲ以テ議長ハ十二月八日參內祝賀ヲ言上シタリ

六五八　皇太子殿下海外御巡遊ニ付參殿及奉送迎

第四十四回議會　大正十年二月十五日會議ノ始ニ於テ議長（奧繁三郎君）ハ「……皇太子殿下海外御巡遊ノ儀發表サレマシタ、就テハ議長ハ本院ヲ代表シテ東宮御所ニ參殿シ、一路御平安ヲ祈リ奉ル旨ヲ言上致シマシテ、御奉送申上ゲタイト思ヒマス……」ト發議シ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ超エテ二月十七日ノ會議ニ於テ下ノ如ク報告ヲ爲セリ「……昨日午前十一時三十分東宮御所ニ參殿致シマシテ、親シク　皇太子殿下ニ拜謁ノ上、本院決議ノ次第ヲ言上致シマシタ、

殿下ヨリ左ノ御詞ヲ賜リマシタ

深ク衆議院ノ厚意ヲ謝ス

超テ三月三日議長ハ横濱迄殿下ノ御發程ヲ奉送セリ

大正十年九月三日　東宮殿下御歸朝ニ付議長（奥繁三郎君）ハ衆議院ヲ代表シ横濱ニ奉迎シ又　兩陛下及東宮殿下ニ御祝詞ヲ言上セリ（各派協議會ノ決議ニ依ル）

尚副議長（粕谷義三君）及在京議員ハ東京驛ニ奉迎セリ

六五九　詔勅、勅諭、勅語、勅問ニ對スル敬禮

凡ソ　詔勅、勅諭、勅語、勅問ノ捧讀ニ　際シテハ　滿場起立シテ敬禮ヲ表スルヲ　例トシ第一回議會以來常ニ渝ハルコトナシ

六六〇　奉答文ノ議決ノ際ニ於ケル敬禮

奉答文案議決ノ際ハ敬意ヲ表スル爲起立シテ贊成ノ意ヲ表ス但シ第十九回議會マテハ奉答文案朗讀ノ際モ起立シタリ

六六一　皇太子殿下議院ニ台臨ニ付敬禮

第十二回議會　明治三十一年六月七日政府提出商法修正案第一讀會ノ續會中　皇太子殿下皇族傍聽席ニ台臨遊ハサレタルトキ副議長（元田肇君）ハ「皇太子殿下ガ御臨場ニナリマシタ」ト告ケタルニ總議員起立シテ敬禮ヲ行ヒ　殿下御退場遊ハセラルルトキ亦起立シテ敬意ヲ表セリ

六六二　卽位ノ大禮ニ付議長副議長及議員參列被仰付

大正四年十一月十日ヨリ十七日ニ至ル間京都ニ於テ卽位ノ大禮ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ左ノ儀ニ參列仰付ケラレタリ

卽位禮當日賢所大前ノ儀　十一月十日（水曜）

卽位禮當日紫宸殿ノ儀

卽位禮後一日賢所御神樂ノ儀　十一月十一日（木曜）

卽位禮及大嘗祭後大饗夜宴ノ儀　十一月十七日(水曜)
尙議長、副議長ニ在リテハ前記ノ外ニ大嘗宮ノ儀、大饗第一日ノ儀ニ召サレ大饗第二日ノ儀ニハ議長ノミ召サル

第三節　大喪儀及御弔詞

六六三　英照皇太后　崩御ニ付御弔詞

第十回議會　明治三十年一月十二日議長(鳩山和夫君)ハ會議ニ先チ報道スヘキコトアリト告ケ總議員ノ起立ヲ求メ「諸君ニ御報道申上ゲルモ誠ニ畏多キ次第デゴザイマス　皇太后陛下ニ於カセラレマシテハ豫テ御不例ニアラセラレ既ニ本院ニ於テハ昨日モ恐懼ノ意ヲ表シ休會ヲ爲シ謹ンデ御本復ヲ祈リ奉リマシタ然ルニ今朝ニ至リ內閣總理大臣ヨリ　皇太后陛下昨十一日午後六時崩御遊バサレタリト云フ通牒ニ接シマシテゴザイマス國民一般震驚痛悼ノ至、何トモ恐入ッタル次第デゴザイマス謹ンデ報道致シマス」ト報告シタルニ元田肇君ハ「本院ハ謹ミテ哀痛悲悼ノ誠意ヲ表シ本日ヨリ七日間議事ヲ遏メ議長ハ本院ヲ代表シ直ニ御所ニ伺候シ弔禮ヲ上聞シ奉ルヘシ」トノ動議ヲ提出シ本院ハ全會一致ニテ之ヲ可決シタルヲ以テ議長ハ院議ニ諮ヒ左ノ弔禮ヲ上聞シ奉リタリ

皇太后陛下ニ於カセラレテハ豫テ御不例ノ趣拜承シ本院ニ於テハ旣ニ昨日議事ヲ休止シ謹テ御本復ヲ祈奉リシ處遂ニ昨十一日午後六時ヲ以テ　御登遐遊ハサセラレタル御次第國民一般震驚痛悼何ヲ以テ之ニ比セム洵ニ恐懼ノ至ニ甚ヘス本院議員ハ恭ク國民ノ至誠ヲ代表シ悲痛哀悼ノ弔意ヲ上聞シ奉ル

六六四　明治天皇　崩御ニ付御弔詞

明治四十五年七月三十日　天皇陛下崩御アラセラルルヤ議長(大岡育造君)ハ同日午前八時參內敬テ弔意ヲ表シ尙同日午後三時在京議員ヲ代表シ宮內大臣ヲ經テ御弔詞ヲ申上ケタリ(在京議員ヲ代表シタルハ當時總選擧後ニ係リ在京議員ノ協議會ニ於テ決定シタルヲ以テナリ)而シテ第二十九回(臨時)議會大正元年八月二十三日開院式　勅語ニ對スル奉答文ニ於テ　先帝ノ盛德大業ヲ頌シ謹テ弔意ヲ表シ奉リタリ

又議員ハ各自參內シテ御弔詞ヲ申上ケタリ

六六五　昭憲皇太后　崩御ニ付御弔詞

大正三年四月十一日　昭憲皇太后崩御アラセラルルヤ議長（奥繁三郎君）ハ同日敬弔ノ意ヲ表スル爲宮城竝青山御所ヘ參內尚十三日議院ヲ代表シ宮內大臣ヲ經テ特ニ御弔詞ヲ申上ケタリ而シテ第三十二回（臨時）議會大正三年五月五日開院式　勅語ニ對スル奉答文ニ於テ　皇太后陛下ノ坤德惠澤ヲ頌シ謹テ弔意ヲ表シ奉リタリ

又議員ハ各自參內シテ御弔詞ヲ申上ケタリ

六六六　大喪儀ニ議長、副議長及議員參列被仰付

明治三十年二月二日　英照皇太后大喪儀ニ付青山假停車場迄、同七日大宮御所ヨリ月輪山御陵所マテ議長ハ供奉被仰付議員ハ青山假停車場及月輪山御祭場ヘ參列セリ

大正元年九月十三日、十四日、十五日　明治天皇ノ大喪儀ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ其ノ前日殯宮ニ拜禮シ大喪儀ニ供奉被仰付尚議長ハ第一供奉列車ニテ桃山御陵所ニ供奉竝山陵百日祭ノ御式ニ參列シ在京議員ハ皇居ヨリ青山葬場殿マテ其ノ他ノ議員ハ桃山御陵ニテ奉送セリ

大正三年五月二十四日、二十五日、二十六日　昭憲皇太后ノ大喪儀ヲ行ハセラルルニ付議長副議長及議員ハ其ノ前日若ハ前々日殯宮ニ拜禮シ大喪儀ニ供奉被仰付議長ハ第一供奉列車ニテ桃山御陵所ニ、副議長ハ桃山假停車場ニ先著シ同所ヨリ御陵所ニ供奉在京議員ハ青山御所ヨリ代々木葬場殿マテ其ノ他ノ議員ハ桃山御陵所ニテ奉送セリ尚議長ハ權殿百日祭ニ、副議長ハ山陵百日祭ノ御式ニ孰レモ參列シタリ

六六七　明治天皇　崩御ニ際シ列國議會ノ弔意竝之ニ對スル本院ノ表謝

明治天皇　崩御ニ際シ智利國議會、土耳其代議院、英國上下兩院（皇帝勅答）、白國上下兩院、「ニユージランド」上下兩院南濠洲聯邦議會、伯國上下兩院、衞國上院ハ決議ヲ以テ弔意ヲ表明セルニ對シ第三十回議會（大正二年二月五日）ニ於テ尾崎行雄君ヨリ列國議會ノ弔意ニ對スル表謝ノ決議案ヲ提出シ院議議事日程ヲ變更シテ直ニ院議ニ付シ全會一致ヲ以テ之ヲ可決セリ

參看　附錄四ノ(二)

第四節　慰問

六六八　議院慰問ヲ爲ス

皇族、國務大臣、締盟國總理大臣ノ負傷又ハ締盟國ノ震災ニ對シ慰問ヲ爲シタリ

(一)　皇族御負傷ノ場合

明治三十七年八月十日旅順口沖ノ海戰ニ於テ伏見宮博恭王殿下御負傷アラセラレタル際ハ閉會中ナリシモ同月十七日議長(松田正久君)ハ議院ヲ代表シ山本海軍大臣ヲ經テ御見舞書ヲ奉呈セリ

右ニ對シ同宮殿下ハ同月二十九日眞木伏見宮別當ヲ議長邸ニ遣ハサレ御挨拶アリタリ

大正十二年四月一日(第四十六回議會閉會後)佛國ニ於テ北白川宮成久王殿下同妃殿下竝朝香宮鳩彥王殿下奇禍ニ罹ラセラレタルニ付同月四日議長(粕谷義三君)ハ議院ヲ代表シ外務省ヲ經在巴里日本大使館ヘ御見舞電報ヲ發送シテ夫々言上ヲ乞ヘリ

右ニ對シ朝香宮殿下ヨリ五月四日附ヲ以テ御謝電ヲ受領セリ

(二)　國務大臣負傷ノ場合

第四回議會　明治二十五年十一月二十九日議長(星亨君)ハ伊藤內閣總理大臣ノ負傷セラレタルコトヲ報道シ院議議院ヨリ慰問ヲ爲スコトトナリシヨリ議長ハ卽日議院ヲ代表シテ其ノ官邸ニ慰問シタリ

右ニ對シ同大臣ハ使者ヲ以テ挨拶ヲ爲シタリ

又同二十六年二月七日同大臣本院ニ出席シ感謝ノ意ヲ表シタリ

(三)　締盟國首相遭難負傷ノ場合

第四十一回議會　大正八年二月二十五日議長(大岡育造君)ハ佛國首相「クレマンソー」氏遭難負傷ニ付慰問ノ決議ヲ爲サムコトヲ發議シ滿場異議ナク議長指名十八名ノ委員ニ付託シテ決議案ヲ起草セシメ委員ハ直ニ起草シ成案ヲ得テ報告シ全會一致之ヲ可決シタリ

右ニ對シ三月四日同氏ヨリ謝辭ノ電報ヲ受領セリ

(四)　締盟國ニ於ケル震災ノ場合

第二十五回議會　明治四十二年一月二十一日會議ノ始ニ於テ議長(長谷場純孝君)ハ「伊太利國ノ大地震ノ報ニ接シマシタカラ休會中(年末年始ノ爲)デハアリマスガ議長ハ慰問ヲ致スノヲ當然ト心得テ議院ヲ代表シテ其手續ヲ致シマシタ其電報ノ要領ハ「日本帝國衆議院ハ貴帝國ニ於ケル悲慘ナル震災ノ報ニ接シ痛嘆ノ至ニ堪ヘス茲ニ本院ヲ代表シテ同情ノ誠ヲ致ス衆議院議長長谷場純孝」是ニ付テ追認ヲ求メマス」ト諸ヒ守屋此助君ノ

質疑ニ對シテハ「法律規則ニ慶賀ノ事ヲ掲ゲタモノハゴザイマセン人道ノ上ニ於テ相當ノ事ト議長ガ認メマシタカラ尚念ノ爲……各派ノ重ナル諸君ト御協議ヲ願ッテサウシテ一同ガ異議ナク御同意ノ上ニ手續ヲ計ヒマシタ將來ニ於テハ必ズ議院ノ開ケテ居リマストキハ各議員ニ御諮リヲ致シテサウシテ諸君ノ御議定ニヨッテ行フツモリデアリマス――議會閉會中ニヤッタラバ其時ハ議長ガ責任ヲ負フコトニナラウト思ヒマス」ト辯明シ「異議ナシ」ノ聲アリタルニ依リ「別ニ御異議ガゴザイマセンナラバ追認ヲ得タモノト決シマス」ト告ケタリ

右ニ對シ在伊太利林大使ヨリ一月十五日ヲ以テ外務省ニ宛テ本院ノ慰弔轉達方ニ付回答アリ又石井外務次官ヨリ三月三日附ヲ以テ林田書記官長ニ宛テ伊國外務大臣ヨリノ感謝ニ付テノ通牒ヲ受領セリ

參看　附錄六ノ(四)

六六九　議院軍隊ニ慰問品ヲ贈リ又ハ慰問使ヲ派遣ス

第二十一回議會　明治三十八年二月中旬日露戰役ノ際、出征陸海軍傷病者慰問ノ爲本院議員一同ノ名ニ於テ慰問品(手拭及朝鮮飴)ヲ贈リ尚釀金ノ一部ヲ陸軍恤兵部ヘ寄贈セリ

右ニ對シ明治三十八年六月二十七日大給賞勳局總裁ヲ經テ金杯一個、同年十月一日千家東京府知事ヲ經テ木杯一個下賜セラレタリ

第三十四回議會閉會後各派協議會ノ議ヲ經テ當時青島ニ出征セル我カ陸海軍隊ヲ慰問セシムル爲慰問使ヲ派遣スルコトニ決シ議員川原茂輔君外五名書記官一名大正三年十月二十九日宇品出帆、勞山灣著、陸海軍ヲ慰問シ約一週日戰地ニ滯在シ十一月中旬歸京セリ

第四十回議會閉會後各派協議會ノ議ヲ經テ當時西伯利ニ駐屯セル我カ浦潮派遣軍隊竝在西伯利各國軍隊ヲ慰問セシムル爲慰問使ヲ派遣スルコトニ決シ議員望月圭介君外四名、書記官、屬各一名大正七年九月二十一日東京出發浦潮ヨリ烏蘇里、黑龍、後貝加爾、東支鐵道ノ沿線ニ駐屯セル陸海軍ノ合部隊ヲ慰問シ十月三十日歸京セリ

第四十一回議會閉會後再ヒ我カ浦潮派遣軍隊ヲ慰問セシムル爲議員ヲ派遣スルコトトナリ議員東武君外七名、書記官、屬各一名大正八年六月十日東京出發前回ト同一旅程ヲ終リ七月十六日歸京セリ

參看　附錄五ノ(二)

六七〇 聯合與國ニ對シ慰問ヲ爲ス

第三十八回議會　大正六年一月二十三日會議ノ始ニ於テ議事日程ヲ變更シ尾崎行雄君外七名提出決議案ヲ院議ニ付シ武富時敏君ハ「聯合諸國ニ對スル慰問ノ趣旨ハ決議案ニテ明瞭ノ通リ戰爭以來既ニ三歲莫大ナル犧牲ヲ拂ヒツツアル聯合諸國ニ對シ同情ニ堪ヘザル次第ナリ云々」ト述ヘ全會一致該決議案ヲ可決シタリ

參看　附錄六ノ(五)

第五節　弔詞

六七一 議院弔意ヲ表ス

第十五回議會　明治三十四年一月二十九日鳩山和夫君外三名ヨリ衆議院ハ深ク大不列顛國皇帝ヴヰクトリヤ陛下ノ崩御ヲ哀悼ストノ決議案ヲ提出シ同年二月二日議院ハ之ヲ修正議決シ又議長(片岡健吉君)ハ議院ヲ代表シ築地三一教會ニ於テ執行ノ同陛下ノ弔祭式ニ參列シタリ

右ニ對シ加藤外務大臣ヨリ同三十四年二月十四日及五月二十七日附ヲ以テ議院ニ宛テ英國外務大臣ヨリノ謝電及在本邦英國公使ヨリノ謝意ニ付テノ通牒ヲ受領セリ

參看　附錄七ノ(二)

六七二 議院弔詞ヲ贈ル

(一)　議員ノ死去ニ對シ弔詞ヲ贈ル

議員ノ死去シタルトキハ議院ノ開會、休會、閉會中ナルト召集前ナルトヲ問ハス其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈ルヲ例トシ而シテ第三回議會迄ハ閉會中ニ死去シタル者ニ對シテハ開會ヲ待チ院議ニ諮ヒ之ヲ贈リタルモ第四回議會ヨリハ閉會中ナルトキハ議長ヨリ弔詞ヲ贈リ第十回議會ニテハ休會中議長ニ於テ取計ヒ又第十四回議會ヨリハ開會中ト雖院議ニ諮フコトナク之ヲ贈ルノ例トナレリ

今各種ノ場合ヲ沿革的ニ例示スレハ左ノ如シ

第一回議會　明治二十三年十二月法貴發君死去シタルヲ以テ議長ハ二十四年一月十日其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈ルノ可否ヲ院議ニ諮ヒシニ院議之ヲ可決シタリ

第二回議會　第一回議會閉會ノ後小林雄七郎君、山際七司君死去シタリ議長ハ第二回議會ノ開會ヲ待チ院議ニ諮ヒテ弔詞ヲ贈レリ

明治二十五年八月長井松太郎君及藤田茂吉君死去シタル時適々議會閉會中ナリシヲ以テ議長ハ兩君ノ遺族ニ弔詞ヲ贈リ第四回議會ニ際シ議長(星亨君)ハ「先例ニ依リマスト、議員中ニ死亡セラレタ方ガアッタ時分ニハ閉會中ニ於テハ、別ニ弔詞ヲ遣ラナイコトニナッタ、開會ノ後ニ弔詞ヲ其ノ會議ノ上、遣ルコトニナッテ居リマシタガ私ノ考ニ於テハ閉會中デアレ、其閉會中ニ死亡サレタモノニハ、其當時ニ當ッテ、弔詞ヲ遣ルノヲ正當ト考ヘマシタカラ、卽チ先例トハ違ヒマスケレドモ閉會中デゴザリマシタカラ、卽チ諸君ヲ代表シテ議長ノ名ヲ以テ追悼ノ言葉ヲ送リマシタ、別ニ御議論ガナケレバ之ヲ以テ將來ノ例ト致シマス」院議異議ナク之ヲ可決シタリ

第十回議會　明治三十年二月四日山本三太郎君死去スルヤ適々休會中ナリシヲ以テ議長(鳩山和夫君)ハ其ノ遺族ニ弔詞ヲ贈リ開會ニ際シ山本三太郎君死去ノ當時ハ休會中且當分開會ナキ都合ナリシニ依リ取敢ヘス此ノ取計ヲ爲シタル旨ヲ告ケ其ノ承認ヲ請ヒタルニ院議異議ナク之ヲ是認シタリ

第十四回議會　明治三十三年二月十九日議長(片岡健吉君)ハ岡野寛君死去ニ付弔詞ヲ贈ルコトヲ院議ニ諮ヒ次テ「是マデ議員ノ死亡ニ付キマシテ遺族ヘ弔詞ヲ贈ルコトハ閉會中ハ議長ニ於テ取計ヒ及開會中ハ唯今ノ通諸君ニ御諮リ致スコトニナッテ居リマスガ將來ハ開會中ト雖モ議長ヨリ直チニ弔詞ヲ贈ルコトニシテ御異議アリマセヌカ」ト諮ヒ異議ナカリシヲ以テ「御異議ガナケレバ將來其通取計ヒマス」ト告ケタリ

明治三十四年六月二十一日星亨君刺客ノ爲斃レシトキ議長(片岡健吉君)ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リ第十六回議會ノ始ニ於テ之ヲ議院ニ報告シタリ

明治三十六年十月三十一日議長片岡健吉君死去セシトキ副議長(杉田定一君)ハ弔詞ヲ贈リ第十九回議會ノ始ニ於テ議院ニ報告シテ曰ク「本院ノ議長片岡健吉君ハ、御承知ノ通、第十八議會ノ頃ヨリ病氣ニ罹ラレマシテ、去ル十月下旬ニ至リマシテ、甚ダ憂慮ニ堪ヘナイ容體ニ陷ラレマシタノデゴザイマス、議長ノ病氣ノコトガ　天聽ニ達シマシテ、十月三十一日、特ニ正四位勳三等ニ叙セラレ旭日中綬章ヲ授ケラレ、尙　聖上ヨリ御見舞ヲ賜ハレマシタノデゴザイマス、因テ事務局カラ其旨ヲ直チニ議長ノ方ニ電報ヲ發シ又一面ニ於キマシテハ、本院書記官長ハ高知ニ急行ヲ致シマシテ、此恩命ヲ傳ヘマシタノデゴザイマス、然ルニ議長ハ同夜十一時、療養ノ甲斐ナク遂ニ逝去セラレマシテ、實ニ痛嘆ノ至リニ堪ヘマセヌ次第デゴザイマス、因テ本職ハ議院ヲ代表致シマシテ、翌日一ノ弔詞ヲ贈リマシタノデゴザイマス、其弔詞ハ唯今書記官長ガ朗讀ヲ致シマス」依リテ林田書記官長ハ之ヲ朗讀シタルニ出席年長議員對馬嘉三郎君ハ議員總代トシテ哀悼ノ辭ヲ述ヘタリ

明治四十四年十月四日前議長タリシ鳩山和夫君死去ニ付議會閉會中ナルニ拘ラス副議長（肥塚龍君）ハ議院ヲ代表シテ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第三十一回議會　大正三年三月十七日副議長（關直彥君）ハ會議ヲ開キ「諸君本職ハ玆ニ再ヒ悲痛ニ堪ヘヌ御報告ヲ致サネバナラヌ事ニナリマシタ本院議長長谷場純孝閣下ハ一昨十五日俄ニ薨去セラレマシタノデゴザイマス諸君御承知ノ通リ閣下ハ第一回ノ總選擧以來每回ノ選擧ニ當選セラレマシテ第十三回第十四回議會ニハ全院委員長ニ第二十五回議會ニハ議長ニ擧ゲラレ最モ公平ニ最モ誠實ニ其職責ヲ完ウセラレタルコトハ諸君ノ御記憶ニ新ナル所デアリマス今回大岡氏ノ補闕トシテ大患後ニ拘ラス閣下ヲ推薦シタルハ時局ノ困難ナル閣下ヲ以テ議場ヲ整理スルニ最モ適當トセラレタノデアリマス閣下平素人事ヲ盡シテ天命ヲ俟ツノ覺悟アリ薨去ノ前日マデ病軀ヲ提ゲ劇務ニ膺ラレタルハ實ニ感嘆措ク能ハザル所デゴザイマス願フニ憲政ノ爲ニ身ヲ殉ズルハ男兒ノ本分ニハ相違ゴザイマセヌガ這般ノ選擧ガ閣下ノ天命ヲ縮メタルコトヲ思ヒマスレバ實ニ悚然タラザルヲ得ナイノデアリマス我衆議院ハ開設以來會期中斯カル不幸ニ遭遇シマシタノハ初メテデゴザイマス依テ君ノ葬式ノ當日ニハ休會ヲ致シマシテ敬弔ノ意ヲ表シ且鄭重ナル哀悼ノ文ヲ議決シテ之ヲ靈前ニ捧ゲント欲スルノデゴザイマス玆ニ本職ノ手許ニ於キマシテ草案ヲ作ッタノガゴザイマスカラ之ヲ朗讀シテ御參考ニ供シマス幸ニ滿場ノ御贊成ヲ得マスレバ光榮ノ至リト存ジマス」ト告ケ弔詞案ヲ院議ニ付シ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決セリ

第四十回議會　大正七年三月二十三日議長（大岡育造君）ハ「請願委員長板東勘五郎君ハ職務ニ勵精シテ將ニ委員長ノ報告時間ニ接近シ議場ニ於テ病ニ罹ラレマシタ、唯今ヨリ危篤ノ儘退出セラレマス、十分間休憩シテ送リタイト存ジマス」ト告ケ休憩シテ之ヲ見送リ、越エテ同月二十五日議長ハ「議員板東勘五郎君、去十六日本院内ニ發病セラレ、療養其效無ク遂ニ二十三日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、例ニ依リ遺族ニ對シ弔詞ヲ贈リマシタ」ト告ケタリ

第四十三回議會　大正九年七月八日前田兵郎君ニ對シ同一ノ事例アリ

大正十二年十一月十四日前議長タル島田三郎君死去ニ付議院閉會中ナルニ拘ハラス議長（粕谷義三君）ハ議院ヲ代表シテ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

第四十八回議會　大正十二年十二月三十日前議長河野廣中君薨去ニ付休會中議長（粕谷義三君）ハ普通ノ文例ニ依ラス弔詞ヲ贈リタリ

臨時總選擧後議會召集前ニ議員死去シタルトキハ第二臨時總選擧ノ際ヨリ書記官長ノ名ヲ以テ弔詞ヲ贈ルヲ例トス

第三回議會召集前　（第二臨時總選擧後）明治二十五年三月十三日是恒眞楫君死去シタルトキ
第十八回議會召集前　（第八臨時總選擧後）明治三十六年三月三十日西村規矩君死去シタルトキ
第三十六回議會召集前　（第十二臨時總選擧後）大正四年四月二十五日村上太三郎君死去シタルトキ
第四十三回議會召集前　（第十四臨時總選擧後）大正九年六月二十八日森岡京次郎君死去シタルトキ

（二）皇族王族薨去ニ付弔詞ヲ捧呈ス

（イ）開會中ニ於ケル例

第八回議會　明治二十八年一月二十四日議長（楠本正隆君）ハ「議長ハ極メテ悲シムベキ御報道ヲ申サネバナリマセヌ、議長ハ唯今陸軍大將大勳位熾仁親王殿下御薨去ノ報ニ接シマシテゴザイマス」（此ノ時議員一同起立シテ敬禮ヲ表ス）「抑々親王殿下ガ維新ノ大業ヲ翼贊シ給ヒ、其ノ遺蹟ノ大ナルコトハ國民擧ゲテ仰慕ニ堪ヘザル次第デゴザイマス、曩ニ清國征討ノ戰ガ起リマスヤ、常ニ大纛ノ下ニ駐箚ヲ致サレ、帷幄ニ參與シ給ヒ國光大ニ擧リツツアル所中途ニシテ此ノ凶報ニ接シマスルハ、國家ノ爲メニ極メテ痛嘆ニ堪ヘザル次第デゴザイマス、是ニ依ッテ議長ハ追悼ノ意ヲ表スルコト且ツ敬禮ヲ表スルガタメニ、差向第一要件ヲ掲ゲテ諸君ニ御諮リヲ申シマスル、第一ニ弔詞ノ議決ヲ致シ本日ハ是ニテ閉會ヲ爲シ、議決ヲシテ參殿ノ上、右ノ弔詞ヲ奉呈セシムル事是レ一ツ、第二ハ御葬儀ノ當日ハ議院ハ特ニ休會ヲ爲シテ哀悼ノ意ヲ表シ及議長ハ議院ヲ代表シテ靈柩ヲ奉送スル事……」竝弔詞ヲ議院ニ諮ヒ院議之ヲ可決シタリ

第四十一回議會　大正八年一月二十五日李太王殿下薨去ニ際シ元田肇君外十三名ヨリ哀悼ニ關スル決議案ヲ提出シ同日日程ヲ變更シテ院議ニ付シ院議全會一致ヲ以テ之ヲ可決シタリ尙議長（大岡育造君）ノ發議ニ依リ本日竝御葬儀當日休會ノコトヲモ可決シタリ

右決議ハ內閣總理大臣ヨリ李王職長官ニ傳達シ長官ハ直ニ李王殿下ニ言上シタルニ衆議院ノ好意ヲ深ク感謝セラルル旨ノ電報アリタリ

第四十六回議會　大正十二年二月四日伏見宮貞愛親王殿下薨去アラセラレタルニ付議長（奧繁三郎君）ハ院議ニ依リ弔詞ヲ贈レリ

（ロ）閉會中ニ於ケル例

明治二十八年十一月五日能久親王殿下薨去ノ際ハ議會閉會中ナリシモ議長（楠本正隆君）ハ弔詞ヲ奉呈シ第九回議會開會ノ初ニ於テ之ヲ議院ニ報告シタリ

明治四十二年十二月十二日賀陽宮殿下薨去ニ付テハ議長ヨリ弔詞ヲ奉呈シタリ

大正二年七月十日威仁親王殿下薨去ニ付議長（大岡育造君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ奉呈セリ

大正十一年六月二十七日東伏見宮依仁親王殿下薨去ニ付議長（奥繁三郎君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十二年四月一日北白川宮成久王殿下佛國ニ於テ薨去ニ付議長（粕谷義三君）ハ議院ヲ代表シテ弔電ヲ贈レリ

（三） 元勳其ノ他ノ死去ニ付弔詞ヲ贈ル

（イ） 開會中ニ於ケル例

第一回議會　明治二十四年二月十九日議長（中島信行君）ハ内大臣公爵三條實美公ノ薨去ノ報ニ接シ之ヲ議院ニ報告シ且弔意ヲ表スルカ爲ニ休會シ自ラ公爵ノ邸ヲ訪ヒ弔詞ヲ呈シタリ

第八回議會　明治二十八年二月二十二日江原素六君ハ陸軍少將大寺安純君戰死ニ付弔詞ヲ贈ルノ動議ヲ提出シ院議之ヲ可決シタリ

第十三回議會　明治三十二年一月二十五日片岡健吉君外七名提出伯爵勝安房君薨去ニ付弔詞ヲ贈ルノ件ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

第十五回議會　明治三十四年二月七日片岡健吉君外六名提出決議案（福澤諭吉君逝去ニ付哀悼ノ件）ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

第二十一回議會　明治三十八年二月四日大岡育造君外七名提出決議案（伯爵副島種臣君薨去ニ付弔意ノ件）ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

同　明治三十八年二月十四日江原素六君外八名提出決議案（陸軍中將松村務本君薨去ニ付弔意ノ件）ヲ院議ニ付シ院議之ヲ可決シタリ

右ハ卽日寺内陸軍大臣ニ通牒シタルニ同月十六日同大臣ヨリ通知書ヲ以テ嗣子松村操君ヨリノ謝辭ヲ送付アリタリ

第三十一回議會　大正三年三月七日司法大臣正二位勳一等男爵松田正久君薨去ニ付副議長（關直彥君）ハ院議ヲ以テ弔詞ヲ贈レリ

第四十五回議會　大正十一年一月十日從一位大勳位侯爵大隈重信君薨去ニ付休會中議長（奥繁三郎君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

同　大正十一年二月一日議定官樞密院議長元帥陸軍大將從一位大勳位功一級公爵山縣有朋君薨去ニ付議長（奥繁三郎君）ハ院議ニ依リ弔詞ヲ贈レリ

（ロ） 閉會中ニ於ケル例

明治四十二年十月二十六日樞密院議長從一位大勳位公爵伊藤博文君薨去ニ付議長（長谷場純孝君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈リ第二十六回議會開會ノ始ニ之ヲ議院ニ報告シタリ

大正四年九月四日維新史料編纂會總裁臨時編修局顧問貴族院議員從一位大勳位侯爵井上馨君薨去ニ付議長（島田三郎君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正五年十二月十日議定官内大臣元帥從一位大勳位功一級公爵大山巖君薨去ニ付議長（島田三郎君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正八年七月十九日從一位勳一等伯爵板垣退助君薨去ニ付議長（大岡育造君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十年十一月四日正二位大勳位衆議院議員内閣總理大臣原敬君薨去ニ付議長（奥繁三郎君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

大正十二年八月二十五日元帥海軍大將正二位大勳位功二級子爵内閣總理大臣加藤友三郎君薨去ニ付議長（粕谷義三君）ハ議院ヲ代表シテ弔詞ヲ贈レリ

參看　附錄七ノ（一三四）

六七三　議長若ハ議員一同ヨリ生花ヲ贈ル

大正元年九月十三日陸軍大將乃木希典君薨去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花（眞榊）一對ヲ贈リタリ

大正二年三月二十八日陸軍中尉德田金一君、同木村鈴四郎君軍用飛行機ヨリ墜落死去ニ付議長ノ名ヲ以テ生花（眞榊）一對ヲ贈リタリ

大正十二年六月八日北白川成久王殿下御葬儀ニ付生花（眞榊）一對ヲ贈リタリ

第三章　恩賞、待遇

第一節　敍位敍勳其ノ他ノ恩賞

六七四　議長及副議長ニ對スル敍勳

第九回議會　明治二十九年三月十四日議長勳二等楠木正隆君ハ明治二十七八年事件ノ功ニ依リ勳一等瑞寶章ヲ副議長島田三郎君ハ同上勳四等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

第二十二回議會閉會後卽チ明治三十九年四月一日前議長松田正久君ハ明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勳一等旭日大綬章ヲ、議長杉田定一君ハ同上勳四等旭日小綬章ヲ、副議長箕浦勝人君ハ同上勳二等旭日重光章ヲ授ケラレタリ（明治四十年九月二十三日官報揭載）

第三十七回議會閉會後卽チ大正五年四月一日議長勳二等島田三郎君ハ大正三四年事件ノ功ニ依リ旭日重光章ヲ、前議長勳四等奧繁三郎君ハ同上勳二等旭日重光章ヲ、副議長勳四等早速整爾君ハ同上勳三等旭日中綬章ヲ、前副議長勳三等花井卓藏君同勳三等關直彥君ハ各旭日中綬章ヲ授ケラレタリ（大正五年八月二十一日官報揭載）

六七五　議長ニ對シ特旨ニ依ル敍位敍勳竝勅使

第十八回議會閉會後明治三十六年十月上旬議長片岡健吉君ノ病氣甚タ憂慮ニ堪ヘサル容體ニ陷ラレタル事　天聽ニ達スルヤ同月三十一日特ニ正四位勳三等ニ敍シ旭日中綬章ヲ授ケラレ尚　聖上ヨリ御見舞トシテ御菓子料ヲ賜ハリタリ又死去ノ際祭祀料ヲ下賜セラレタリ

第三十一回議會　大正三年三月十五日議長正四位勳三等長谷場純孝君病氣危篤ノ報　天聽ニ達スルヤ特ニ從三位勳二等ニ敍シ旭日重光章ヲ授ケラレ尚葬儀當日勅使ヲ同邸ニ差遣シ幣帛ヲ下賜セラレタリ

第四十六回議會　大正十二年二月十六日議長勳二等奥繁三郎君病氣辭職ノ際特ニ勳一等瑞寶章ヲ授ケラレタリ

六七六　議員ニ對スル恩賞、敍勳

第九回議會　明治二十九年三月二十九日明治二十七八年戰役ノ行賞ニ際シ各議員ニ第七回（臨時）帝國議會召集ノ際勵精ニ付銀盃壹組宛ヲ賜ハリタリ

第二十二回議會閉會後即チ明治三十九年四月一日各議員ニ明治三十七八年事件ノ功ニ依リ勳四等旭日小綬章ヲ授ケラレタリ尤モ既ニ位勳ヲ有スル者ハ右ニ準スヘキ恩賞トシテ勳二等瑞寶章、旭日中綬章、旭日小綬章ヲ授ケラレタルモノ各一名アリ（明治四十年九月二十三日官報揭載）右ニ依リ四十年十月一日議院ニ於テ議長副議長以下議員ハ勳章拜受ノ手續ヲ了セリ

第三十七回議會閉會後即チ大正五年四月一日各議員ニ大正三四年事件ノ功ニ依リ勳四等瑞寶章又ハ勳四等旭日小綬章ヲ授ケラレタリ但シ現ニ勳四等以上ノ勳章ヲ有スル者ニハ上級勳章ヲ授ケラレ又ハ金員ヲ賜ハル（大正五年八月二十一日官報揭載）

第四十三回議會閉會後即チ大正九年十一月一日大正四年乃至九年事件ノ功ニ依リ議長（奥繁三郎君）ハ金杯一組副議長（粕谷義三君）ハ金杯一箇議員大岡育造君ハ金杯一組其ノ他ノ各議員ハ金杯一箇若クハ銀杯一組ヲ賜ハリタリ

第四十四回議會閉會後即チ大正十年七月一日第四十回第四十一回第四十三回議會ニ在職シ國勢調査費豫算及同關係法案ノ審議ニ參與シタル議員一同ヘ第一回國勢調査紀念章ヲ賜ハリタリ

第四十八回議會閉會後即チ大正十三年二月十一日皇太子殿下御結婚ニ際シ三十年以上在職議員元田肇君尾崎行雄君犬養毅君箕浦勝人君井上角五郎君武富時敏君ハ孰レモ金杯一組ヲ賜ハリタリ

六七七 第一回議會以來勤續議員ニ對スル敍勳

第三十三回（臨時）議會前即チ大正三年六月十八日第一回帝國議會以來引續キ議員ノ職ニ在リタル者ニ對シ恩賞ノ御沙汰アリ而シテ本院議員ニ於テ元田肇君ハ從三位ニ、箕浦勝人君ハ正四位ニ、尾崎行雄君、犬養毅君、島田三郎君、河野廣中君、井上角五郎君ハ孰レモ勳三等ニ敍シ瑞寶章ヲ授ケラレタリ

六七八 多年在職セル議員ニ對スル敍勳

第四十一回議會　大正八年二月十一日憲法發布三十年記念祝賀會ニ際シ多年衆議院議員ノ職ニ在リテ勳勞不勘ノ故ヲ以テ副議長勳三等濱田國松君及勳三等ヲ有スル議員二十三名ニ旭日中綬章ヲ、勳四等ヲ有スル議員二十九名ニ旭日小綬章ヲ賜ハリ、勳一等、二等及三等、四等ヲ有スル議員二十一名ニ金杯ヲ賜ハル（大正八年三月十四日官報掲載）

六七九 議長、副議長及議員ニ對スル定例敍勳

第四十一回議會　大正八年二月十二日議長副議長及議員敍勳ノ件裁定セラレ（大正八年三月一日賞勳局總裁ノ通牒）議長副議長議員ハ文武官敍勳內則中官吏ノ定期敍勳ニ關スル規定ヲ準用セラルルコトトナリ議長ハ親任官ト同一、副議長ハ高等官一等ト同一、議員ハ名譽官タル高等官二等ト同一ニ取扱フコト定メラレ其ノ結果同年三月十三日ヲ以テ議長勳三等大岡育造君ハ勳二等ニ、同年十月二十五日ヲ以テ勳四等ヲ有スル議員七名ハ勳三等ニ、勳五等ヲ有スル議員四名ハ勳四等ニ、勳六等ヲ有スル議員九名ハ勳五等ニ、勳七等ヲ有スル議員六名ハ勳六等ニ、勳八等ヲ有スル議員二名ハ勳七等ニ孰レモ陞敍セラレタリ爾來此ノ規定ニ依リ事務局ニ於テ上申ヲ爲スコトトナレリ

第二節　宮中ニ於ケル席次、待遇及賜宴

六八〇 議長、副議長及議員ノ宮中席次

議長、副議長及議員ニ對シ從來宮中ニ於テ定マリタル席次ナカリシカ第二十六回議會ヨリハ議長

ハ親任官待遇ノ取扱副議長ハ勅任官ノ取扱トシテ其ノ位列ハ高等官一等ノ次席ト定メラレ第三十回議會閉會後卽チ大正二年七月ヲ以テ宮中儀式上席次中御改定アリ議長ハ陸海軍大將ノ次席トセラル卽チ樞密院議長、貴族院議長、衆議院議長、親任官(任命ノ前後ヲ以テ席次トス)トシ副議長ハ高等官一等ノ次侯爵ノ前議員ハ高等官二等ノ上席(卽チ貴族院議員、衆議院議員「相互ノ席次ハ隨時之ヲ定ム」次ニ高等官二等)トセラレ席次中ニ定メラル次テ大正四年二月皇室令第一號ヲ以テ宮中席次令ヲ公布セラレ議長ハ第一階ノ第十二(卽チ親任官ノ次席)副議長ハ第二階ノ第二十(卽チ高等官一等ノ次席)議員ハ第四階ノ第二十九(卽チ高等官三等ノ上席)ト定メラル

六八一　宮中ニ於ケル議長、副議長ノ待遇

議長副議長ノ宮中ニ於ケル身分取扱ハ第一回議會卽チ明治二十三年十二月以來議會ノ開會中ニ限リ議員ト倶ニ新年ハ拜賀、紀元節、天長節ニハ參賀仰付ラレ且其ノ院ニ於テ酒饌ヲ下賜セラレ一定ノ準據スル所ナカリシニ第十三回議會ヨリ開會中ニ限リ議長ハ三大節ノ御宴會ニ召サセラレ第二十回(臨時)議會後ヨリ其ノ任期間ハ閉會中ト雖召サセラレ議長辭職又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ闕位ノ場合ニハ副議長ヲ召サセラルルコトトナリ第二十七回議會卽チ明治四十四年以降其ノ任期中三大節ノ宴會ニ召サセラルルコトニ定メラレ議長及副議長ハ三大節以外ノ宮中恒例諸祭典ニモ參列スル第二十一回議會　明治三十七年十二月三日會議ニ先チ議長(松田正久君)ハ左ノ演說ヲ爲シタリ

一昨日諸般ノ報告中(開院式臨御ノ節本院議長ヘモ拜謁仰付ケラル、三大節御宴會ニ召サセラル、議員菊花拜觀夫人同伴差許サルルコトヲ指ス)議長副議長及議員ニ對スル宮中御待遇ノ厚キコトハ既ニ諸君ノ聽取ラレタコト思ヒマスルガ誠ニ　陛下ノ優渥ナル御思召ニ出デタルモノト存ジマスレバ感激ノ至リニ堪ヘヌ次第デゴザリマス此國家大難ノ時局ニ當リマシテ此ノ如キ事柄ニマデ殊恩ヲ蒙リマスルノハ畢竟國民ヲ重ンジ給フノ御叡慮ニ出デタルコトト思ヒマシテ我國民ノ忠君愛國ノ情ヲシテ益〻切ナラシムルニ至ル者ト思ヒマス吾〻議員ハ新陳交代移動ノ多キニ致セ本院トシテハ此一事ニ於テ永遠無窮ニ記憶スベキコトト存ジマスカラ議長ハ茲ニ一言ヲ致シテ置キマス

又任期滿限ニ達セル議長副議長ハ從來宮中ノ諸式典ニ參列スルコトナカリシモ第二十八回議會閉會後卽チ明治四十五年七月二十九日以降ハ現任ノ議長副議長ト同一ニ取扱ハルルコトニ定メラル

六八二　宮中ニ於ケル議員ノ待遇

從來議員ノ宮中ニ於ケル取扱トシテ開會中ハ新年拜賀（議長列立）及三大節ニ參加仰付ラレ議院ニ於テ酒饌ヲ賜ハル

六八三　議員觀櫻觀菊ノ御宴ニ召サル

第十五回議會ヨリ觀菊會後別日ヲ以テ議員ニ菊花拜觀差許サレ、第二十回議會ヨリ夫人同伴ニテ拜觀差許サルルコトトナリ第三十一回議會閉會後（大正三年四月）ヨリ議員在京者三分ノ一（別ノ資格ニテ召サルヘキ勅任官竝從四位以上勳三等以上ノ者ヲ除ク）ハ夫人ト共ニ觀櫻菊花ノ御宴ニ召サレ尚觀菊ノ御宴ニ召サレサル在京議員ハ觀菊會後別日ヲ以テ夫人同伴菊花拜觀ヲ差許サルルコトトナレリ

六八四　宮中其ノ他ノ議式ニ議長、副議長、議員總代參列

第三十一回議會　大正三年一月十七日ニ於テ賢所皇靈殿神殿ニ卽位禮及大嘗祭期日奉告ノ儀ヲ行ハセラルル際本院議員總代三名（全院委員長年長者年少者）參列シタリ

大正七年十一月二十八日（第四十回議會閉會後）　皇室典範增補制定奉告ノ儀被爲行ニ付議長（大岡育造君）副議長（濱田國松君）及議員總代三名（各派）參列シタリ

第四十三回（特別）議會　大正九年七月二日宮中ニ於テ平和克復ノ儀行ハセラルルニ付議長（奥繁三郎君）副議長（粕谷義三君）及議員總代三名（各派）參列シタリ

第四十三回（特別）議會　大正九年七月四日ヨリ八日ニ至ル四日間平和克復ニ付豐受大神宮、皇太神宮、神武天皇山陵、明治天皇山陵へ奉告ノ儀行ハセラルルニ付副議長（議長副議長ノ內一人）及議員總代二名（各派）參列シタリ

大正九年十一月二日（第四十三回議會閉會後）　明治神宮鎭座祭翌日　天皇陛下皇后陛下皇太子殿下明治神宮御參拜被爲在ニ付當日議長（奥繁三郎君）及議員總代一名（年長者）參列シタリ

大正十年十一月二十六日（第四十四回議會閉會後）　皇太子殿下攝政就任ニ付賢所ノ儀、皇靈殿神殿ニ奉告ノ儀被爲行ニ付議長（奥繁三郎君）副議長（粕谷義三君）議員總代二人（各派但一名缺）參列セリ

大正十一年七月三十日（第四十五回閉會後）　明治天皇十年式年祭皇靈殿ノ儀被爲行ニ付議長（奥三郎君）參列シ又同日明治天皇十年式年祭山陵ノ儀被爲行ニ付副議長（粕谷義三君）及在桃山議員參列セリ

第四十八回議會　大正十三年一月二十六日皇太子殿下裕仁親王殿下賢所大前結婚ノ禮ヲ被爲行ニ付議長（粕谷義三君）（同夫人ハ不參）、副議長（松田源治君）及議員總代三名（全院委員長、年長者及年少者）參列シタリ

六八五　立太子禮及皇太子殿下ノ御成年式ニ於ケル賜饌

大正五年十一月三日立太子禮ヲ行ハセラレタル節正副議長、書記官長ハ宮中ノ賜宴ニ召サレ在京議員竝奏任官ニハ酒饌料ヲ下賜セラル又議長ハ宮中ニ於ケル二十七日ノ饗宴及二十九日ニ於ケル霞ケ關離宮ニ於ケル午餐ニ召サレタリ

大正八年五月七日皇太子殿下ノ成年式ヲ行ハセラレタル節翌八日正副議長ハ宮中ノ賜饌ニ召サレ議員ニハ酒饌料ヲ賜ハル

六八六　任期滿了後又ハ戰時議會閉會ノ際兩院議員及高等官一同ヘ賜宴

第二十回（臨時）議會閉會後（明治三十七年三月三十一日）及第二十一回議會閉會後（明治三十八年三月一日）霞ケ關離宮ニ於テ、第二十二回議會閉會後（明治三十九年三月三十一日）濱離宮ニ於テ、第二十八回議會閉會後（明治四十五年三月二十七日）及第三十四回（臨時）議會閉會式當日（大正三年九月十日）新宿御苑ニ於テ兩院議員竝同高等官一同ヘ立食下賜ノ御沙汰アリ御名代宮殿下御臨席相成リタリ

第四章　雜

第一節　徽章

六八七　議員ハ開會中一定ノ徽章ヲ付ス

議員ノ徽章ハ事務局ニ於テ之ヲ造リ總選擧後ノ召集當日各議員ニ配付シ爾後每會期召集日ヨリ之ヲ佩用ス

【參照】

事務局員、政府委員、政府委員附各省高等官及判任官、新聞記者、通信社員、各團體書記ノ徽章ハ別ニ之ヲ造リ會期中佩用セシム

參看　附錄一三ノ(三)

六八八　議員徽章ハ宮城出入ノ御門鑑ニ代用セラル

議員トシテ參內スル場合ハ議員徽章佩用ヲ以テ宮城諸門ノ出入ヲ許サルルヲ例トス

第七回（臨時）議會開會中ハ此ノ徽章ヲ佩用シ廣島大本營ニ出入スルコトヲ許サレタリ

六八九　會期中ハ徽章ヲ付スルニ非サレハ議院ニ出入スルコトヲ得ス

從來會期中議院ニ出入スル者ニハ徽章ヲ付シ又ハ入場券通院券ヲ交付シタルモ第十九回議會ヨリハ院內警察上ノ必要ニ依リ總テ徽章ヲ付スルコトト爲シ政府委員附各廳吏員ハ官吏院內通行徽章ヲ、新聞記者通信社員ニハ記者徽章ヲ、各團體ノ書記等ニハ院內通行徽章ヲ付シ之ヲ佩用セサル者ハ一切出入スルコトヲ許ササルコトト爲レリ

參看　五七二號、附錄一三ノ(三)

第二節　議員控室

六九〇　各議員ノ控室ハ黨派別ニ依リ之ヲ定ム

第十五回議會ヨリ議員控室ヲ設ケ黨派別ニ依リテ之ヲ分チ第一憲政本黨（二室）、第二帝國黨（一室）、第三無所屬（一室）、第四立憲政友會（二室）、第五三四倶樂部（一室）ノ八室ヲ置キタリ爾來黨派及其ノ所屬議員數ノ異動ニ依リ控室ヲ變更スルヲ例トス

六九一　各控室ニ文書函ヲ備付ク

各控室ニハ其ノ所屬議員ノ便ニ供スル爲文書函ヲ設ク文書函ニハ一々函側ニ氏名ヲ記載セル木札ヲ揭ケ議案其ノ他ノ書類配付ノ用ニ供ス

參看　一八八號

第三節　衆議院公報參考圖書

六九二　衆議院公報ハ公示、議事日程、委員會開會、議事經過其ノ他諸般ノ事項ヲ揭載ス

從來議事日程、委員會ノ開會其ノ他諸般ノ通知ハ一々書面ヲ以テ發送シタルモ多年ノ經驗上不便

勘カラサルニ依リ第十四回議會明治三十二年十一月二十二日開院式ノ當日奉答文案議了ノ後議長（片岡健吉君）ハ「今般衆議院ヨリ衆議院公報ナルモノヲ發刊致シマシテ議事日程及委員會ノ開會其他ノ通知ヲ總テ此公報ノ紙面ニ掲載シテ自今右等ノ事項ヲ一々書面デ發スルコトヲ廢スルコトニ致シタイ、尤モ特別至急ヲ要スルコトハ例外デアリマスガ、ソレデ是ハ其日ノ夜カ或ハ遲クトモ翌日早朝マデニ諸君ノ御手許ニ達スルヤウニナルノデアリマス、是ハ從來ニ比スレバ餘程煩雜ヲ避ケテ諸君ノ御便利ニナラウト考ヘマスガ、別ニ御異議ハアリマスマイカ」ト諮ヒ異議ナキヲ以テ直ニ之ヲ實行シタリ其ノ體裁ハ略官報ト同一ニシテ掲載事項ヲ概ネ勅語、詔勅、公示、議事日程、委員會開會、兩院協議會、部長選定、議案、議事經過、部會經過、委員會經過、政府委員、質問、答辯、請願書、貴族院、配付、法律、豫算ノ公布、雜報、廣告ニ分テリ

六九三　衆議院公報ハ必要ノ場合ニハ閉會中ト雖發刊ス

衆議院公報ハ閉會中ト雖議員ニ通報スヘキ須要ノ事項ヲ生スルトキハ號外トシテ臨時ニ發刊ス

六九四　參考圖書ヲ發刊シ議員ニ配付ス

本院ニ於テ發行スル重ナル參考圖書ハ左ノ如シ

衆議院報告　第三十七回議會ヨリ每會期終了後其ノ會期ニ於ケル經過ノ大要ヲ輯錄シ之ヲ各議員ニ配付ス

衆議院議事摘要　每會期終了後其ノ會期ニ於ケル議事（議案ニ付テハ特ニ各案每ニ）ノ經過ヲ輯錄シ之ヲ次會期ノ召集日ニ配付ス

衆議院要覽　每總選擧每ニ編纂シ總選擧後ノ第一議會ノ召集日ニ配付スルヲ例トス

衆議院先例彙纂　隨時改訂印刷シ之ヲ配付ス

衆議院議員黨籍錄　隨時增訂印刷ニ付シ特ニ希望者ニノミ之ヲ頒ツ

衆議院議員總選擧一覽　隨時增訂印刷ニ付シ特ニ希望者ニノミ之ヲ頒ツ

以上ノ外參考ノ爲隨時圖書ヲ發刊シ之ヲ議員ニ配付ス

第四節　各派協議會ヲ開ク

六九五　各派協議會ヲ開ク

第二十一回議會ヨリ特殊事項ノ議決、議院規則ノ改正、議事及發言ノ順序、儀式ニ關スル案件其ノ他諸般ノ事項ニ渉リ必要ト認ムルトキ議長ハ各派所屬議員ノ代表者ヲ議長室ニ參集セシメ豫メ之カ打合セ又ハ協議決定ヲ爲シ其ノ院議ヲ經ヘキモノハ之ヲ院議ニ付シ否ラサルモノハ議長ニ於テ實行スルノ例ヲ開キタリ而シテ開會中ハ勿論閉會中ト雖之ヲ開クコト尠シトセス

六九六　所屬議員二十五名未滿ノ黨派ハ交涉團體ト認メス

從來常任委員及特別委員ハ各黨派所屬議員數ニ比例シテ割當テ第二十六回議會ニ於テハ又新會十八名無所屬十五名ノ團體ナリシモ常任委員特別委員共之ヲ割當選出シタリ而シテ第二十七回乃至第二十九回議會ハ無所屬ニ至ル迄凡テ二十五名未滿ノ團體ナカリシカ第三十回議會大正元年十二月二十七日ノ各派協議會ニ於テ右ノ協議ヲ爲シタリ

常任委員ノ選擧ハ所屬議員二十五名未滿ノ團體ヲ除キ各部ヲ基礎トシテ其所屬議員數ニ應シテ按分選出スルコト

又大正二年一月二十一日ノ各派協議會ニ於テ左ノ協議ヲ爲セリ

二十五名未滿ノ團體ニ對シテハ特別委員ヲ割當テサルコト

此ノ如クニシテ第三十回議會以後ハ每議會ノ始ニ於ケル各派協議會ニ於テ從前通二十五名未滿ノ團體ハ交涉團體ト認メサルコトヲ協議シ常任委員特別委員ノ割當ヲ爲ササルノミナラス其ノ他ノ交涉案件ニモ參加セシメサルヲ例トス

第五節　列國議會同盟及萬國商事會議

六九七　議員有志團體ヲ組織シ列國議會同盟ニ加盟ス

列國議會同盟會議ハ千八百八十八年（明治二十一年）英佛兩國ノ代表者會合シテ各國國會間ノ關係ヲ改良セムコトヲ決議シ翌年巴里ニ開會セルヲ始トス而シテ我カ議會議員ニ正式ノ招待狀ヲ受ケタルハ千九百六年（明治三十九年）ニシテ當時開催地タル英國倫敦ニ滯在中ノ竹越與三郎君ハ一箇議員ノ資格ヲ以テ參列シ千九百八年（明治四十一年）獨國伯林ニ開會ノ通牒ニ接スルヤ有志議員會

同シテ議員全體ヲ有志團體トシ團體ノ代表者ハ正副議長ヲ以テ之ニ充ツルコト等ヲ議決シ長島鷲太郎君渡歐ノ序ヲ以テ團體ノ承認ヲ經テ參列シ千九百十年（明治四十三年）白耳義「ブルユッセル」ニ開會ノ際ハ尾崎行雄君外十名ト書記官一名參列シ千九百十一年（明治四十四年）伊太利羅馬ニ開會ノ際ハ宮古啓三郎君外六名參列ノ筈ナリシモ羅馬ニ流行病發生ノ爲會議延期トナリ參列ヲ中止セリ但シ同會ノ評議員會ニハ宮古啓三郎君渡邊千冬君ノ兩名出席セリ此ノ年日本議員團規約ヲ設ケ第十一回總選擧選出議員ハ有志者ノミ團員ニ加入ノコトトシ、千九百十二年（大正元年）瑞西「デネユープ」ニ開會ノ場合ハ御大喪ノ爲參列ヲ遠慮シ千九百十三年（大正二年）和蘭海牙ニ開會ノ際ハ清水市太郎君外四名參列シ又千九百十四年（大正三年）瑞典「ストックホルム」ニ開會ノ際ハ石橋爲之助君外六名參列ノ爲出發シタルモ歐洲動亂勃發シ該會議ハ延期トナレルヲ以テ中途ヨリ引返シ歸朝シタリ而シテ歐洲大戰中ハ一時中止セラレシカ千九百二十年（大正九年）三月列國議會同盟幹事長ヨリ四月若ハ八月ニ招集セラルヘキニ依リ日本議員團委員參列ノ勸誘ヲ受ケタリシモ解散ノ爲參列スル能ハス千九百二十一年（大正十年）八月十七日瑞典「ストックホルム」ニ開會ノ際ハ歐米視察旅行中ノ中西六三郎君外三名及書記官一名參列シ千九百二十二年（大正十一年）墺國維納ニ開會ノ際ハ今泉嘉一郎君外四名及書記官一名參列シ千九百二十三年（大正十二年）丁抹「コペンハーゲン」ニ開會ノ際ハ高橋光威君外四名及書記官一名參列セリ

六九八　萬國商事會議ニ參列ス

第四十一回議會閉會後大正八年四月白耳義國「ブラッセル」市ニ於テ開會セル萬國商事會議ニ列席ノ爲議員林毅陸君外二名ヲ派遣ス

第六節　雜件

六九九　議院土耳其帝國議會ノ開設ニ對シ祝電ヲ發ス

第二十五回議會　明治四十一年十二月二十六日會議ノ始ニ於テ議長（長谷場純孝君）ハ「諸君ニ御諮リヲ致シタイコトガゴザリマス、御承知ノ如ク土耳其帝國ハ曩ニ憲法ヲ發布サレテサウシテ議會ヲ開カレマシタガ此君斯丁堡ノ議會ニ向ッテ祝電ヲ發シテハ如何カ……」ト諮ヒタルニ拍手起リ異議ナキニ依リ「ソレデハ滿場一致ヲ以テ祝電ヲ發スルコトニ確定サレマシタ而シテ其電文及發送等ノ手續ハドウゾ議長ニ一任ヲ請ヒタイモノデゴザイマス」ト告ケ卽日議長ヨリ土耳其帝國議會議長ニ宛テ祝電ヲ發シタリ

參看　附錄四ノ（一）

七〇〇　聯合軍ノ戰捷ニ對シ各國ヨリノ祝電及之ニ對スル答電

大正七年十一月十九日聯合軍ノ戰捷ニ對シ「ブラジル」國下院議長及南米「ボリビヤ」代議院ヨリ議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十二日議長ヨリ謝電ヲ發送セリ

又同年十一月二十二日聯合軍ノ戰捷ニ對シ中華民國參議院議長竝衆議院議長及廣東支那議會ヨリ貴衆兩院議長宛祝電ヲ寄セラレタルニ對シ同月二十五日兩院議長ノ名ニ於テ謝電ヲ發送セリ

七〇一　講和成立ニ際シ西班牙國上下兩院ヨリノ祝意表明及之ニ對スル答電

大正八年七月九日西班牙國公使ヨリ外務大臣ヲ經テ貴衆兩院議長宛西班牙國元老院及代議院ニ於テ講和條約ノ成立ニ關シ聯合諸國ニ對シ祝意ヲ表スル旨ノ議決ヲ爲セシ趣通牒ニ接シタルヲ以テ同月十日貴衆兩院議長ヨリ西班牙國兩院議長宛謝電ヲ發送セリ

七〇二　大喪費協贊ノ臨時議會ニ於ケル議員ハ喪裝シ文書ハ黑枠黑印ヲ用ウ

明治四十五年七月三十日　明治天皇崩御遊ハサレ大喪費豫算ヲ付議セラルル爲大正元年八月二十一日ヲ以テ臨時議會（第二十九回）ヲ召集セラル本院ニ於テハ各派協議ノ末議員ノ服裝ハ「シルクハツト」「フロックコート」「チヨツキ」ズボン、手袋、襟飾總テ黑色（但シ手袋ニ限リ鼠色ヲ用キルコトヲ得）ヲ著用スルコトニ定メ成規ノ喪章ヲ附シ各議員ハ同會期中之ヲ著用セリ議場ニ出入スル事務局員ノ服裝亦之ニ準ス

大正三年四月十一日　昭憲皇太后崩御遊サレ大喪費豫算ヲ付議セラルル爲大正三年五月四日ヲ以テ臨時議會（第三十二回）ヲ召集セラレシトキニ於テモ前例ニ據レリ

又本院ヨリ內閣、貴族院等ヘノ通牒文書ニハ總テ用紙ニ黑枠ヲ附シ黑印ヲ押捺セリ

七〇三　議員ヲ海外ニ派遣ス

列國議會同盟又ハ商事會議ニ參列ノ爲或ハ出征軍隊ノ慰問ノ爲議員ヲ海外ニ派遣スルノ外視察ノ爲海外ニ派遣シタルコトアリ

第二十七回議會閉會後明治四十四年十一月朝鮮支那視察ノ爲松本君平君外五名ヲ派遣ス

第二十九回議會閉會後大正元年十月朝鮮哈爾賓支那視察ノ爲齋藤珪次君外十四名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第三十六回議會閉會後大正四年九月朝鮮哈爾賓支那視察ノ爲村松龜一郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第三十九回議會閉會後大正六年九月北米合衆國視察ノ爲政尾藤吉君外四名ヲ派遣ス

第四十回議會閉會後大正七年五月臺灣香港支那視察ノ爲澤來太郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

同月朝鮮滿洲支那視察ノ爲副議長濱田國松君外十名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第四十一回議會閉會後大正八年六月臺灣香港廣東東印度諸島及暹羅視察ノ爲政尾藤吉君外五名ヲ派遣シ書記官一名同行ス

第四十四回議會閉會後大正十年五月北米合衆國視察ノ爲中西六三郎君外八名ヲ派遣シ書記官一名及本院囑託一名同行ス

同年十月朝鮮滿洲支那視察ノ爲小田切磐太郎君外十三名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第四十五回議會閉會後大正十一年十月朝鮮滿洲支那視察ノ爲廣岡宇一郎君外九名ヲ派遣シ書記官屬各一名同行ス

第二十四回議會　明治四十一年三月二十二日貴衆兩院議員有志者相謀リ憲法發布二十年記念祝賀會ヲ開催シ公爵伊藤博文君始メ各國務大臣及樞密顧問官ヲ招待セリ式場（貴族院談話室）ニ於テ貴族院議長公爵德川家達君ハ左ノ式辭ヲ述ヘ　陛下ノ萬歲ヲ奉唱ス

維時明治四十一年三月二十二日兩院議員會同シテ憲法發布記念ノ祝典ヲ擧ク恭シク惟ミルニ叡聖文武天皇陛下中興ノ偉業ヲ開キ經國宏圖ヲ立テタマヒ大憲宣布以來茲ニ二十年屢〻外事ノ艱難ヲ經ト雖モ內政ノ基礎益固ク列國競進ノ日ニ當リ武威寰宇ニ輝キ國運隆昌ニシテ臣民慶福ヲ蒙ル家達等員ニ議政ノ職ニ備ハリ恩榮ヲ叨リニシ郅隆ノ治化ヲ贊翼ス豈ニ盛世ノ餘澤ニアラスヤ今日此ノ祝典ニ當リ立制ノ深意ヲ思ヒ聖謨ノ宏遠ナルヲ仰キ欣幸感奮ノ至ニ任ヘス顧フニ方今文明日ニ進ミ施政多端ニシテ皇猷贊襄ノ任亦將ニ益〻重キヲ加ヘントス豈ニ黽勉努力以テ憲政有終ノ美ヲ成シ聖化ノ萬一ニ裨補センコトヲ期セサル可ケンヤ謹テ祝意ヲ表ス

衆議院議長杉田定一君ハ左ノ式辭ヲ述ヘ大日本帝國憲法ノ萬歲ヲ唱ヘリ

憲法發布第二十周年ニ當リ本員等幸ニ議會ニ位列シ茲ニ兩院相會シテ其記念祝典ヲ擧クルヲ得タルハ最モ光榮トスル所ナリ

惟フニ始メテ憲政ヲ布クヤ我帝國ノ如ク和氣靄々國民ノ歡呼ノ裡ニ行ハレタルモノ宇内曾テ其比ヲ見ス是レ洵ニ　聖德ノ致ス所ニシテ臣民ノ慶福焉ヨリ大ナルハ莫シ爾來帝國議會ハ回ヲ重ヌル二十四大憲ノ運用亦見ルヘキモノナシトセス特ニ彼二大戰役ニ於テ擧國一致ノ實ヲ擧ケタルカ如キ其ノ顯著ナルモノトス然レトモ我憲政ノ前途尙遼遠ナリ本員等滿堂ノ諸公ト共ニ宏謨ニ遵ヒ輿論ニ聽ヘ切瑳勵精能ク其有終ノ美果ヲ收メムコトヲ期ス之ヲ式辭ニ代フ

式畢テ開宴（貴族院大食堂）貴族院議長ハ伊藤公爵及來賓ノ萬歲ヲ唱ヘ伊藤公爵西園寺内閣總理大臣ハ挨拶ノ辭ヲ述ヘ兩院ノ爲祝杯ヲ擧ケ當日參列シタル貴族院議員ハ二百五十六名ニシテ貴衆兩院書記官長、書記官參列ス又兩院事務局ニ於テハ記念繪葉書ヲ調製シ來賓及參列者一同ニ之ヲ配付セリ

七〇五　兩院議員合會シテ憲法發布三十年記念祝賀會ヲ擧行ス

第四十一回議會　大正八年二月十一日貴衆兩院議員合會ノ上青山權田原ナル憲法記念館ニ於テ憲法發布三十年記念祝賀會ヲ擧行スルニ決シ同月十日ノ會議ニ於テ議長（大岡育造君）ノ發議ニ依リ當日賀表ヲ捧呈スルニ決シ起草委員ヲ設ケ賀表ヲ起草シ全院一致之ヲ可決シ十一日祝賀會場ニ於テ議長朗讀捧シタリ其ノ賀表左ノ如シ

衆議院議長　臣大岡育造誠恐誠懼謹テ言ス

伏シテ惟ニ

皇朝萬世一系列聖承繼德化洋溢百姓其澤ニ浹洽シテ新附欣戴セサルナシ而シテ維新ノ始首トシテ宏謨ヲ萬機公論ニ決スルニ定メ漸次立黨爲治ノ基ヲ立テ竟ニ帝國憲法ヲ發布シタマヘリ是ニ於テ臣民大政ニ獻替スルコトヲ得テ　皇國ノ丕基更ニ隆固ヲ加フ洵ニ是レ萬代ノ徽範タリ爾來茲ニ三十年　皇威四表ニ廣被シ國運八紘ニ遐暢ス而シテ今ヤ歐洲戰亂ノ慘禍方ニ殄熄シテ世界平和ノ休祥將ニ光熙セムトシ帝國ノ光榮益宣揚ス　臣等幸ニ此昭代ニ遭逢シ欣歡已ムナシ茲ニ嘉辰ヲトシ憲法發布三十年記念祝賀ノ典ヲ擧ケ上ハ以テ

聖德ノ日ニ躋ルヲ頌シ下ハ以テ奉祝ノ微悅ヲ攄フ誠ニ歡抃欣躍ノ至ニ任ルナシ乃チ虔ミテ表ヲ捧ケ恭ク　寶祚ノ無疆ヲ祝シ　皇威ノ益寰表ニ耀カムコトヲ禱リ奉ル　臣育造誠恐誠懼謹テ言ス

同日ハ　天皇陛下ノ臨御ヲ奉請シ允裁ヲ賜ハリタリシモ御風氣ノ爲俄ニ御沙汰止トナリ御名代トシテ閑院宮載仁親王殿下ヲ差遣セ給ヒタリ又祝賀會ニ招待シタルハ各宮殿下ヲ始メ奉リ大勳位、國務大臣、宮内大臣、大臣禮遇、前官禮遇、樞密院議長、同副議長、同顧問官、憲法署名者（大臣）、憲法

發布當時ノ樞密顧問官、貴衆兩院前正副議長ニシテ式後右ノ諸員竝兩院議員、書記官長、書記官ニ銀杯ノ御下賜アリタリ、又當日ノ經費ハ大正七年度追加豫算ニ計上セラレタリ尙貴族院議長ノ捧呈セル貴族院ノ上奏文左ノ如シ

貴族院議長　臣德川家達　誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ奏ス伏シテ惟ルニ

先帝仁聖ノ德ヲ以テ世局ノ進運ニ鑑ミタマヒ我カ臣民ノ康福ヲ增進シ其ノ懿德良能ヲ發達セシメ又其ノ翼贊ニ依リ帝國ノ丕基ヲ永久ニ鞏固ニスルノ叡旨ヲ以テ帝國憲法ヲ制定シ朝野和氣藹藹ノ中ニ之ヲ發布シタマヘリ

謹テ案スルニ我カ

皇祖

皇宗國ヲ肇メ基ヲ建テタマヒシ以降

列聖其ノ緒ヲ纘キ國家統治ノ天職ヲ盡サセラレ王道ヲ本トシ覇術ヲ斥ケ君民ノ關係常ニ親密ニシテ義ハ則チ君臣情ハ則チ父子ノ如ク以テ萬國無比ノ國體ヲ成ス其ノ由來スル所誠ニ久遠ナリ憲法ノ條章ハ歐洲諸國ノ成例ニ參酌セラルル所アリト雖其ノ理義ニ於テハ前烈ヲ追ヒ懿訓ヲ弘メ臣民遵由ノ道ヲ示シタマヒシモノナリ古來ノ美風良俗ハ是ニ由リテ益〻宣明セラレ大ニ其ノ

光華ヲ發スルニ至レリ

陛下

先帝ノ遺範ヲ紹述シタマヒ前後三十年其ノ間屢〻國家內外ノ多艱ニ遭遇セシモ憲法ノ運用順調ニ進ミ其ノ效果煥然トシテ觀ルヘキモノアリ綱紀益〻張リ庶績維レ熙マル臣等益〻奮勵努力各其ノ本分ヲ盡シテ以テ隆治ノ萬一ニ裨補セムコトヲ期ス玆ニ恭ク

皇恩ノ優渥ヲ謝シ

寶祚ノ無窮

聖壽ノ萬歲ヲ祈リ奉ル

七〇六　兩院議員合會シテ尼港殉難者追悼會ヲ催ス

大正九年六月二十四日貴衆兩院議員合會ノ上兩院ノ中央玄關ニ祭場ヲ設ケ尼港殉難者追悼會ヲ催シタリ午前十時式ヲ始メ遺族五十三名來賓三十二名(四皇族殿下台臨)兩院議員三百七十三名參列シ其ノ他一般有志ノ參拜アリテ午後二時式ヲ終レリ

七〇七　英國皇太子殿下ノ御來朝ヲ歡迎ス

大正十一年四月十二日英國皇太子殿下御來朝ニ付翌十三日議長（奧繁三郎君）副議長（粕谷義三君）及歡迎委員十六名ハ第四十五回議會大正十一年三月二十五日ノ英國皇太子殿下歡迎ニ關スル決議ニ基キ赤坂離宮ニ伺候シ歡迎文ヲ捧呈ス

七〇八　米國議員東洋視察團ヲ歡迎ス

大正九年八月北米合衆國立法部議員東洋視察團來朝ニ付貴衆兩院主催トナリ之カ接伴ノ衝ニ當リ朝野協力シテ是等外賓ニ對シ國民的歡迎ヲ爲スコトトナリ同年七月二十一日及八月九日貴衆兩院聯合小委員會ヲ開キ歡迎ニ關スル案件ヲ議決シ之ニ基キ八月二十三日一行ノ奉天ニ著シテヨリ九月十三日横濱出帆歸國ノ途ニ就ケル迄終始熱誠ナル歡待ヲ爲シ一行ヲシテ善ク視察ノ目的ヲ遂ケシメ且國民トノ接觸ヲ圖リタリ

七〇九　議院ニ對スル犯罪

第一回議會　明治二十四年三月三日傍聽席ヨリ議場ニ馬糞ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衞ニ命シテ犯罪者ヲ引致セシメ明治二十二年法律第二十八號第一條（法律ヲ以テ組織シタル議會ニ對シ公然誹毀侮辱シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス但議會ノ告訴ヲ待チ其罪ヲ論ス）ニ依リ院議ニ諮ヒ之ヲ當該官署ニ告訴シタリ（被告松本九一ハ明治二十四年四月十四日重禁錮二月罰金十圓ニ處セラル）

第四回議會　明治二十五年十二月十六日黒田綱彦君ハ「明治二十五年十二月十日發兌東京日日新聞第六千三百五十二號帝國議會紀要ト題スル欄頭ニ二號活字ヲ以テ記載シタル記事ハ我衆議院ヲ侮辱シタルモノトス依テ議長ヨリ告訴ノ手續ヲ爲スモノトス」ノ緊急動議ヲ提出シ多數ヲ以テ可決シタルニ依リ議長ハ其ノ翌十七日東京地方裁判所檢事局ヘ告訴シタリ（被告山崎與助ハ明治二十五年十二月二十三日重禁錮一年罰金五十圓ニ處セラル）

大正九年六月二十九日（第四十三回特別議會前）午後十時本院正門北側ノ小門轟然タル爆發ト共ニ炸裂シ破片四周ニ散亂シ門柱ノ電球門衞番所ノ硝子戸正玄關硝子戸及正門向側ノ洋館二棟ノ硝子戸ヲ粉碎シタリ此ノ椿事ニ付其ノ筋ヨリ臨檢アリタルモ犯人未タ檢擧スルニ至ラス

第四十五回議會　大正十一年二月二十三日衆議院議員選擧法中改正法律案ノ會議中傍聽席ヨリ議場ニ三尺許ノ生蛇ヲ投入シタル者アリ議長ハ直ニ守衞ニ命シテ犯罪者ノ一人ヲ取押ヘ日比谷警察署ニ引渡シタリ（後日審理ノ結果著述業栗原彦三郎ノ教唆ニ依リ椿利夫、中村良英及堀川久七